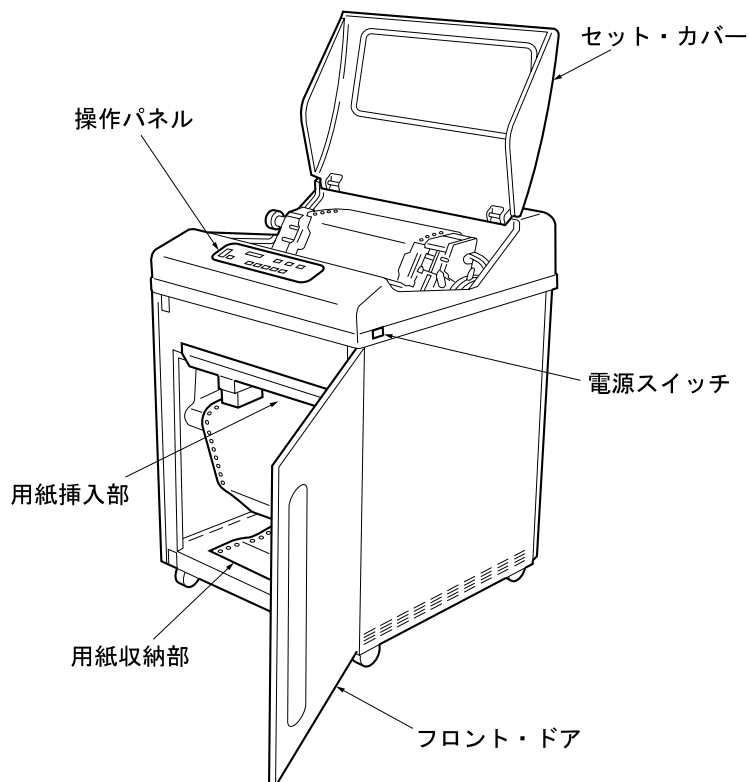


第2章 操作手順

2.1 各部の名称と機能

IBM 5400-006印刷装置の各部の名称とその機能は次のとおりです。

2.1.1 前面



電源スイッチ

(|) 側に倒すと電源が入ります。5400-006に電源が入ると電源ライトがつき、自己診断テストが開始されます。自己診断テストが正常に終了すると、次の状態になります。

- AS/400とシステム・ボード接続およびTelnet5250接続の場合: 操作パネル上の印刷スイッチを押すと、印刷ライトが点灯して印刷が可能になります。
- PCとパラレル・ポート接続の場合: 印刷ライトが点灯して、印刷が可能になります。

() 側に倒すと電源が切れ、電源ライトが消えます。

- LPR接続の場合: 初期値設定によって印刷中断状態または印刷可能状態のどちらかになります。工場出荷時は印刷中断状態になるように設定されています。初期設定については、2-66ページの2.12、『初期設定』を参照してください。印刷中断状態のときは、操作パネル上の印刷スイッチを押すと、印刷ライトが点灯して印刷が可能となります。

操作パネル

印刷操作およびモード設定などに使用します。12個のスイッチと9個の表示ライトおよびメッセージ表示部で構成されています。各スイッチとライトの働きは2-5ページの2.1.5、『操作パネル』を参照してください。

セット・カバー

用紙やリボンの取り替えのときなどに上方に持ち上げて開けます。

フロント・ドア

用紙をセットするときに手前に開けます。前面図は右側に開くようになっていますが、設置場所の環境によって開閉方向を変更できます。詳細は、2.11、『ドア開閉方向の変更』を参照してください。

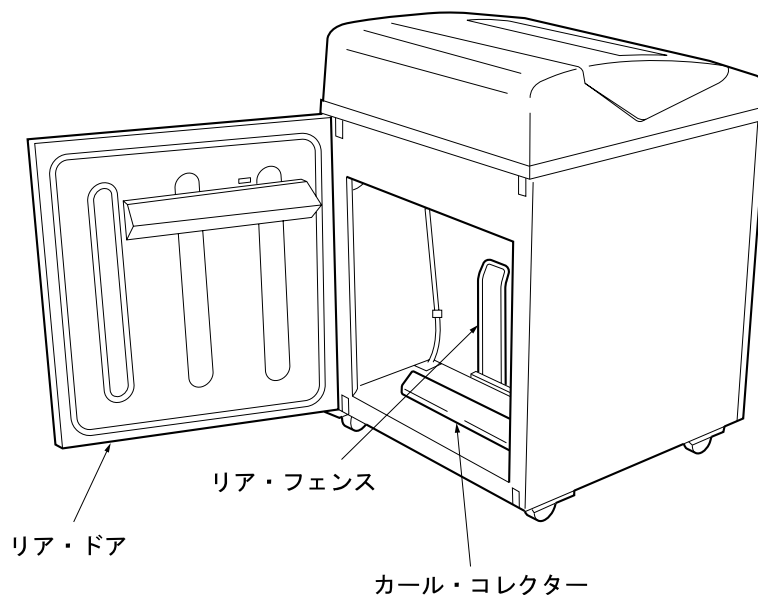
用紙収納部

印刷用紙を入れる場所です。用紙は必ず箱から出してここに入れてください。

用紙挿入口

印刷用紙をここから挿入し、トラクターにセットします。

2.1.2 背面



リア・ドア

フロント・ドアと同様に開閉方向を変更できます。詳細については、2.11、『ドア開閉方向の変更』を参照してください。

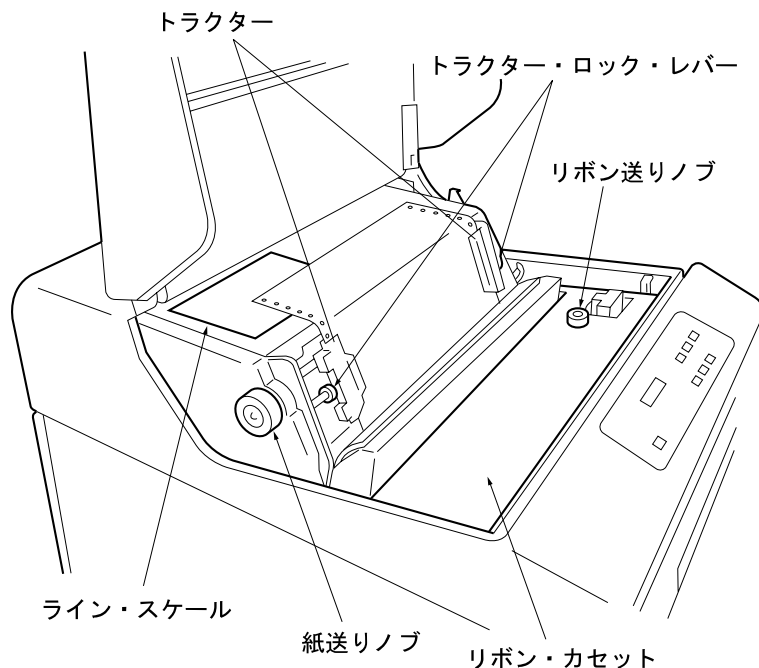
カール・コレクター

印刷された用紙がきちんと折り畳まれるように、用紙の長さに応じて位置を調整します。

リア・フェンス

カール・コレクターと共に用紙の長さに応じて位置を調整します。

2.1.3 印字機構部（左側面）



ライン・スケール

印刷用紙の上下位置を調整するとき、先頭行位置（1行目の印字行）を用紙の長さに応じて合わせます。調整方法については、2-50ページの2.9.2、『上下位置の調整』を参照してください。

紙送りノブ

用紙を手動で送るために使用します。

トラクター

セットされた用紙を送るための機構です。トラクターはロック・レバーを下側にすると左右に移動できます。

トラクター・ロック・レバー

用紙幅に合うようにトラクターを左右に動かすとき、手前に倒してロックを解除します。

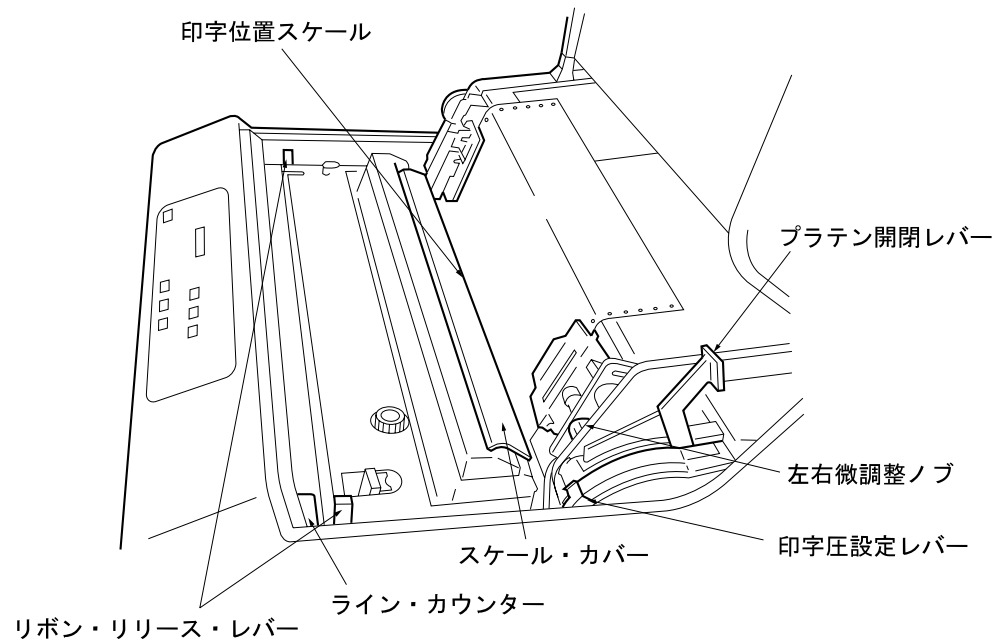
リボン送りノブ

インク・リボンを手動で送る場合に、このノブを時計方向に回します。反時計方向には回さないでください。

リボン・カセット

リボン・カセットの中には、インク・リボンが収納されています。インク・リボンはIBM指定のものを使用してください。（商品番号については、2-9ページの2.2.1、『消耗品について』を参照してください。）

2.1.4 印字機構部（右側面）



印字位置スケール

印刷用紙の左右位置を調整するとき、この目盛りを参考にして調整します。目盛り1のところ、最初の文字が印字されます。調整方法については、2-51ページの2.9.3、『左右位置の調整』を参照してください。

スケール・カバー

このカバーが開いているとエラー状態になります。

リボン・リリース・レバー

リボン・カセットを交換するとき、このレバーを後方に押し、リボン・カセットは外れます。

ライン・カウンター

印字した行数をカウントし、縦方向24ドットの文字の場合、100行で1カウントされます。

プラテン開閉レバー

用紙をセットしたり、リボンを交換するとき、このレバーを後方に押し紙送り部を開いてください。このレバーを手前に引くと、紙送り部はロックして閉じます。

注：レバーを後方に押し「開」の状態になります。さらにレバーを右に押しながら後方に押し「全開」の状態になります。用紙ジャムの除去、プラテンの点検のときだけ「全開」の状態にします。この場合以外では「全開」の状態にしないでください。

左右微調整ノブ

用紙位置を左または右に微調整する場合に用います。調整範囲は約5 mmです。

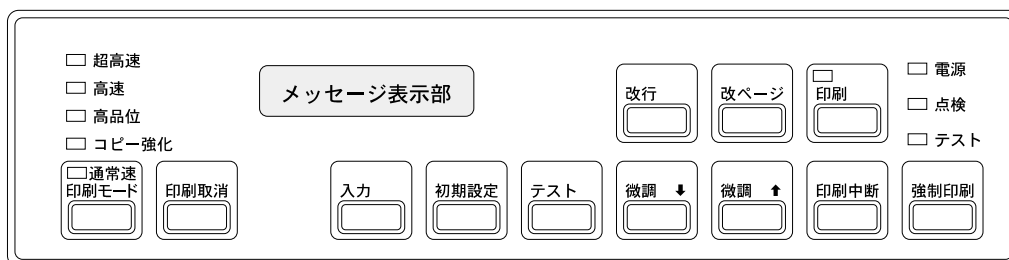
印字圧設定レバー

用紙の厚さに応じて印字ヘッドとプラテンの間隔を設定するために使用します。

用紙の厚さに応じて調整してください。詳細については、2-48ページの2.9.1、『印字圧の調整』を参照してください。

2.1.5 操作パネル

操作パネルには、12個のスイッチと9個の表示ライトおよびメッセージ表示部があります。下図は操作パネルのレイアウトを示しています。ライトは□で示します。



操作パネル上の各スイッチと表示ライト、メッセージ表示部の働きは次のとおりです。

スイッチ

スイッチ名	機能
印刷	<p>IBM 5400-006を印刷可能状態にします。印刷ライトが点灯し、印刷が可能になります。</p> <p>このスイッチが機能するのは、IBM 5400-006が印刷中断状態にあり、かつエラー状態がない場合に限りです。</p>
改ページ	<p>用紙を次のページの先頭行位置まで送ります。</p> <p>注: AS/400とシステム・ボード接続または、Telnet5250接続の場合では、1ページの長さは適用業務プログラムで設定する必要があります。設定しない場合は、1/6インチ用紙を送ります。</p> <p>PCとパラレル・ポート接続の場合では、初期設定およびコマンドによります。</p>
改行	<p>用紙を1行分送ります。押し続けると連続的に用紙を送ります。</p> <p>注: AS/400に接続の場合では、1行の送りは標準で6 lpi (4.2 mm)ですが適用業務プログラムによって変更できます。</p>
強制印刷	<p>印刷装置内の受信バッファに印字できるデータが残った状態で印刷が終了または中断したとき、このスイッチを押すと記憶域内に残ったデータを印刷します。</p> <p>印刷すべきデータがないときには、メッセージ表示部に「インサツデータハアリマセン」を表示します。</p> <p>事前印刷、印字位置調整時などに、1行試し印字する場合にも使用できます。</p>

スイッチ名	機 能
印刷中断	<p>IBM 5400-006を印刷中断状態にします。印刷中にこのスイッチを押すと、そのとき印刷が行われている行を印刷した後、印刷中断状態に入ります。</p> <p>また、IBM 5400-006にエラーが発生したことを知らせるアラーム音を止めるときもこのスイッチを使います。</p> <p>印刷中断状態から再び印刷可能状態へ復帰するときは、印刷スイッチを押します。</p> <p>注： 電源スイッチと印刷中断スイッチを除くスイッチはすべて印刷中断状態でないと、すなわち印刷中断スイッチを押してからでないと機能しません。</p>
微調	<p>約0.14 mm (1/180インチ)ずつ用紙を順方向に送ります。押し続けると連続的に紙送りされます。いずれの場合も行番号は変わりません。また、初期設定のときにも使用します。</p>
微調	<p>約0.14 mm (1/180インチ)ずつ用紙を逆方向に送ります。また、初期設定のときにも使用します。</p>
テスト	<p>IBM 5400-006の印刷機能や印字品質を確認するために使用します。</p> <p>このスイッチを押すと、操作パネルのメッセージ表示部に「テストモード」が表示され、あらかじめ記憶されているテスト・パターンを印刷するテスト・モードに入ります。</p> <p>テスト・モードを終了させるには、印刷取消スイッチを押します。</p>
初期設定	<p>このスイッチは、初期設定するために使用します。詳細は、2-66ページの2.12、『初期設定』を参照してください。</p>
入力	<p>初期設定スイッチによって設定された初期値の書き込みを決定するのに使用します。</p> <p>また、このスイッチと印刷取消スイッチによって、リボン寿命カウンタをリセットすることができます。(2-34ページの2.8、『インク・リボンの交換』を参照してください。)</p>

スイッチ名	機 能
	AS/400接続とPC接続とでは機能が異なります。
印刷取消	<ul style="list-style-type: none"> AS/400とシステム・ポート接続の場合、このスイッチを押すと、印刷取消要求がホスト・システムに送られ、IBM 5400-006の受信バッファーにある印刷データはすべて消去されます。AS/400 と LAN フィーチャー Telnet5250 接続の場合、このスイッチを押すと印刷取消要求がホスト・システムに送られ AS/400 からのデータ送信は終了しますが、IBM 5400-006 の受信バッファーの印刷データは印刷されます。また、テスト・モードおよび初期設定を終了するときにもこのスイッチを押します。 PCとパラレル・ポート接続の場合、このスイッチを押すと、ホスト・システムに印刷取り消し要求を知らせます。 LAN フィーチャー LPR 接続の場合、このスイッチによる影響は何もありません。印刷の取り消しは送信側で行ってください。 <p>注：印刷が取り消されるかどうかはアプリケーションによります。アプリケーションが取り消さない場合は、このスイッチによる影響は何もありません。</p>
印刷モード	印刷モードを変更するときに使います。（2-14ページの2.5、『印刷モードの変更』を参照）
ライト名	機 能
電源ライト	IBM 5400-006に電源を入れたときに点灯し、電源を切ると消えます。
点検ライト	<p>下記の状況が発生したとき、操作員の注意を促すためにアラーム音とともに点灯します。このライトが点灯したときは、メッセージ表示部にメッセージが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> IBM 5400-006で用紙切れなど操作員の介入が必要になったとき IBM 5400-006の内部機構にエラーが発生したとき ホスト・システムのプログラムにエラーが発生したとき
テスト・ライト	テスト・スイッチによってテスト・モードが設定されたときに点灯します。
印刷ライト	IBM 5400-006が印刷可能状態にあるときに点灯しています。 IBM 5400-006にエラーが発生したときや、印刷中断スイッチが押された場合は消えます。エラーの原因が取り除かれ、印刷スイッチが押されると再び点灯します。
超高速ライト	超高速モードが選択されたときに点灯します。
高速ライト	高速モードが選択されたときに点灯します。

ライト

各部の名称と機能

ライト名	機 能
高品位ライト	高品位モードが選択されたときに点灯します。
コピー強化ライト	コピー強化モードが選択されたときに点灯します。
通常速ライト	通常速モードが選択されたときに点灯します。

メッセージ表示部

状況コードまたはエラー・メッセージなどを英数・カナ文字で表示します。

2.2 IBM 5400-006使用上の注意点

IBM 5400-006を安全に、良好な状態でお使いいただくために次の点に注意してください。

- セット・カバーの上には何も置かないでください。また、印刷中はセット・カバーを閉めてお使いください。
- 印字圧設定レバーの位置は、お使いになる用紙の厚さに合わせて必ず設定してください。（2-48ページの2.9.1、『印字圧の調整』を参照してください。）
- 用紙は、送り穴にパンチくずが無いものを使用してください。
- 用紙およびリボンを交換するとき、必ずリボン送りが止まっていることを確かめてください。
- リボンは、毎日の業務を開始する前に点検してください。（2-32ページの2.7、『リボンの点検』を参照してください。）
- 点検および清掃をする前には、必ず電源を切ってください。

2.2.1 消耗品について

良好な印字品質の維持、および用紙やリボンのジャム防止のために、以下のことを守ってください。

用紙

用紙は決められた種類のものをご使用ください。IBM 5400-006は連続用紙を使用し、複写紙では最高8枚まで重ねて印刷できます。用紙の仕様など、用紙についての詳細は、付録A、『印刷用紙の規格』を参照してください。

注： コピー強化モードで最高8枚まで印刷できます。通常速モードでは最高5枚までです。

インク・リボン

インク・リボンは、IBM指定のリボン・カセット（商品番号 84G5349）、詰替えリボン（商品番号 09F4041）を使用してください。

消耗品保管上の注意

- 印刷用紙の保管場所は、できるだけIBM 5400-006の設置場所と同程度の環境に保ってください。別の場所に保管する場合は、印刷の前の1～2時間IBM 5400-006の設置場所の環境になじませてください。

保管場所として最適な環境は、温度20°C前後、相対湿度は40～60%です。高湿度の場所で保管された用紙を使用すると湿度により用紙が柔らかくなり用紙づまりが発生しやすくなりますので注意してください。

- インク・リボンは購入後なるべく6ヶ月以内に使用してください。

インク・リボンはインクの乾燥または変質を避けるため、高温および低湿度の場所での保管は避けてください。高温および低湿度の場所で保管したり、長期間保管したりするとリボンがインクむらを生じたり乾燥したりすることがあります。

2.3 電源オンと電源オフ

電源の入れ方と切り方の手順は次のとおりです。

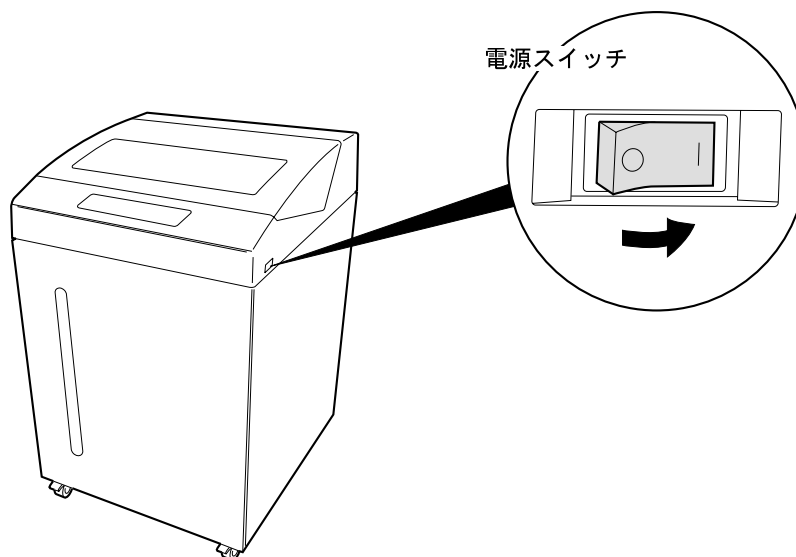
ご注意ください

プリンターの印刷動作中に電源オフしないでください。また、電源オフ後、電源オンする場合は、5秒以上経ってからにしてください。

2.3.1 電源オン

電源スイッチをオンにすると、自動的に印刷装置の自己診断テストが始まります。

1 電源スイッチを(|)側にしてください。電源が入ります。



メッセージ表示部が以下のように変わり、自己診断テストが始まります。



IBM 5400-006

Telnet5250接続の場合は以下のように続きます。

TELNETセツゾクチュウ

注: AS/400の状態によっては、Telnet接続が完了するまで、しばらく時間がかかる場合があります。

2 自己診断テストが終了すると、

- AS/400とシステム・ポート接続およびTelnet5250接続の場合:

初期設定の設定状態によって、メッセージ表示部が次のようになります。

インサツ チュウダン

「インサツ チュウダン」の場合は、ステップ3に進んでください。

- PCとパラレル・ポート接続の場合:

メッセージ表示部が次のようになり、印刷を始めることができます。

インサツ カノウ

- LPR接続の場合:

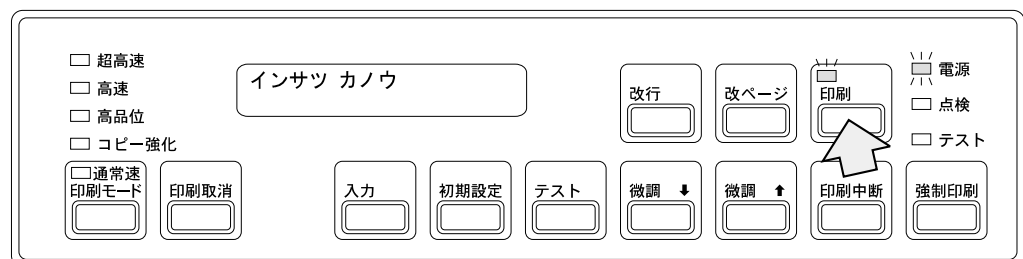
初期設定の設定状態によって、メッセージ表示部が次のようになります。

インサツ チュウダン

インサツ カノウ

「インサツ チュウダン」の場合は、ステップ3に進んでください。

- ### 3 「インサツ チュウダン」の場合、**印刷**を押してください。印刷ライトが点灯すると、メッセージ表示部が「インサツ カノウ」になり印刷を始めることができます。



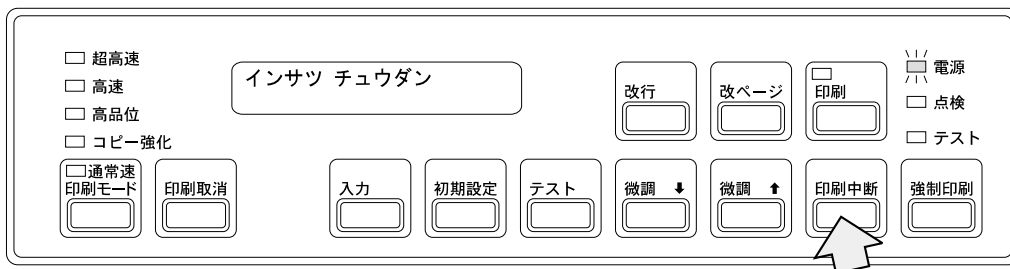
注:

- 電源投入時には、用紙の位置を確認してから印刷を開始してください。
- 点検ライトが点灯したり、上記以外のメッセージが表示された場合は、第3章、『故障回復手順』を参照してください。
- AS/400に接続の場合、ホスト・システムとの通信が行われていないときに**印刷**を押しても印刷可能にはなりません。

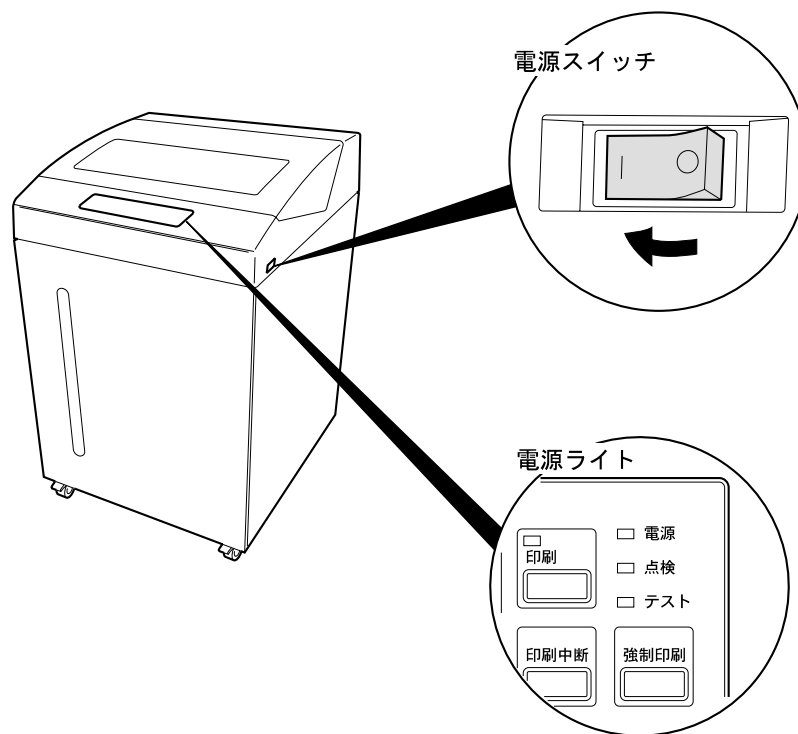
2.3.2 電源オフ

電源のオフの手順は次のとおりです。

1 **印刷中断** を押して、印刷ライトを消してください。



2 電源スイッチを () 側に倒し、電源ライトが消えたことを確かめてください。



2.4 印刷の中断と諸操作

テスト印字、印刷の取り消し、印刷モードの変更、初期設定または用紙およびリボンの交換などをする場合、IBM 5400-006を印刷中断状態にする必要があります。すなわち、印刷ライトがついている場合には、ほかのスイッチは有効ではありません。

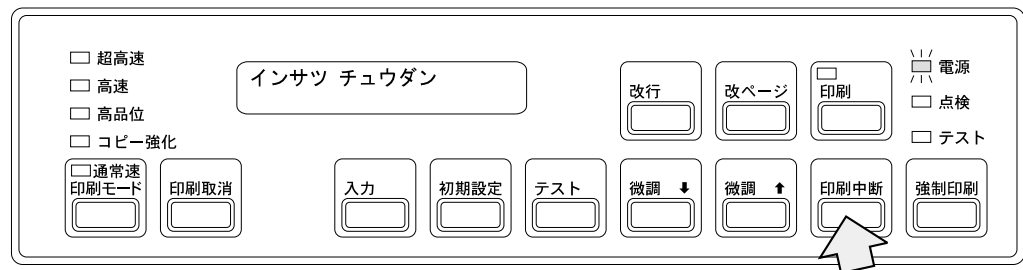
いったん、**印刷中断**を押すことによって、**印刷取消**をはじめ、そのほかのスイッチが働きます。

2.4.1 印刷の中断と再開

印刷を中断するには**印刷中断**を押してください。

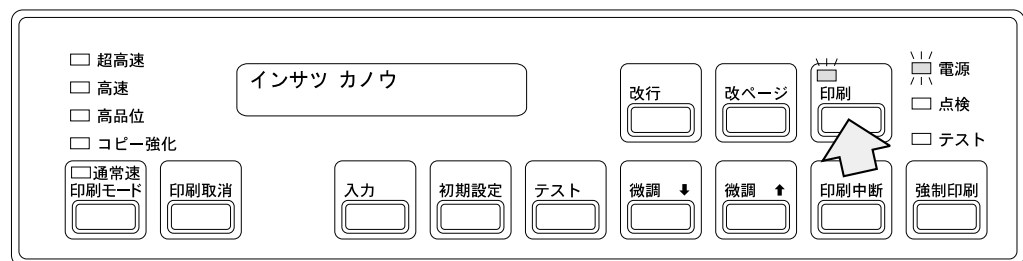
現在印刷している行を印刷し終えた後、印刷ライトが消えて印刷中断状態になります。また、アラームを停止する場合も、**印刷中断**を押します。

メッセージ表示部にエラーの表示がある場合には第3章、『故障回復手順』に従ってください。



印刷を再開するには**印刷**を押してください。

印刷を押しても印刷ライトが点灯しないときは、印刷中断状態での原因の解決が十分でない場合があります。第3章、『故障回復手順』に従って原因を取り除いてください。



2.5 印刷モードの変更

IBM 5400-006は、8種類の印刷モードを持っています。ご使用のアプリケーションに最適な印刷モードをお選びください。下表の印刷速度は、それぞれのモードでの最高速度です。

印刷モード	意味	印刷速度 (最大)
通常速	通常速印刷モード (高さ24 × 幅24ドット)	360 LPM 注2, 3
コピー強化	コピー強化印刷モード (高さ24 × 幅24ドット)	注4
高品位	高品位印刷モード (高さ24 × 幅24ドット)	180 LPM
高速	高速印刷モード (高さ24 × 幅16ドット: ドラフト文字) 注1	500 LPM
超高速	超高速印刷モード (高さ24 × 幅12ドット: ドラフト文字) 注1	600 LPM
コピー強化 + 高品位	コピー強化 + 高品位印刷モード (高さ24 × 幅24ドット)	
コピー強化 + 高速	コピー強化 + 高速印刷モード (高さ24 × 幅16ドット: ドラフト文字) 注1	
コピー強化 + 超高速	コピー強化 + 超高速印刷モード (高さ24 × 幅12ドット: ドラフト文字) 注1	

注:

1. 高速印刷モードおよび超高速印刷モードでは、文字フォントがドラフト文字になります。この場合のドラフト文字とは横方向にドット数を間引くフォントで、5327/5427プリンターの高速印刷モードで使われている高さ18ドットの文字フォントとは異なり、印刷される文字の大きさは通常速印刷モードと同じです。
2. LPM = Lines per Minute ; 1分当たりの印刷行数を表します。
3. 工場出荷時は、通常速印刷モードに設定されています。
4. コピー強化モードには次の5種類があり、初期設定で切り替えるようになっています。
 - 標準
 - 中
 - 強
 - 段差紙
 - 段差紙 強

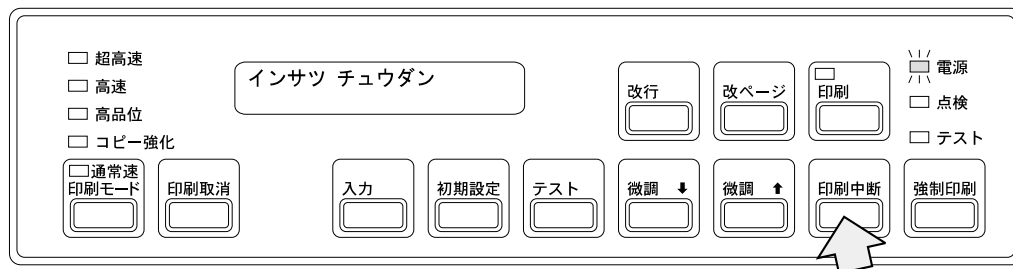
印刷モードの変更のしかたには、次の2通りの方法があります。

- 操作パネルの印刷モード・スイッチから行う方法
- 初期設定の変更で行う方法

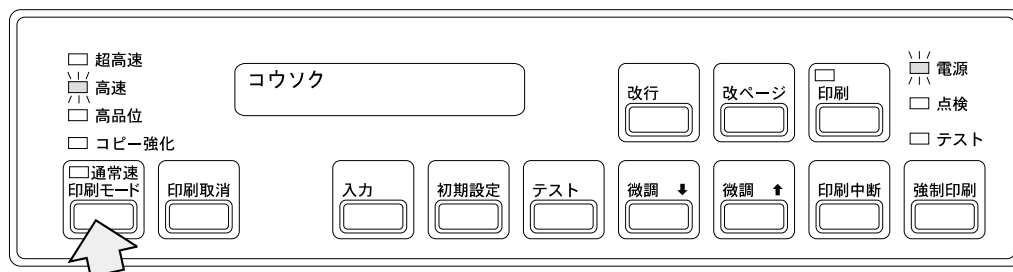
2.5.1 印刷モード・スイッチからの変更のしかた

一時的に変更する場合は以下の手順で行います。

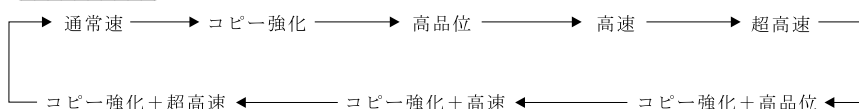
1 **印刷中断** を押して、印刷中断の状態にしてください。



2 **印刷モード** を押してください。

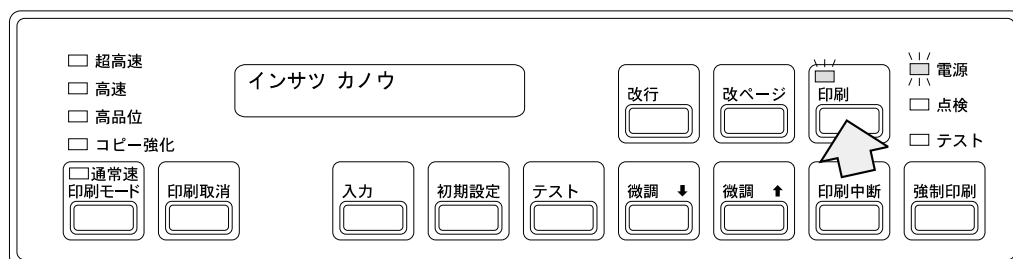


印刷モード を押すごとに、印刷モードが次のように変化していきます。



このとき、該当する印刷モードのライトが点灯します。たとえば、現在の印刷モードが高速の場合、高速のライトが点灯し、コピー強化+高速の場合はコピー強化ライトと高速ライトが点灯します。

3 選択したら、**印刷** を押してください。印刷ライトが点灯します。



注：印刷モード・スイッチで印刷モードを変更した場合、電源を一度切ってしまうと変更の内容が消えてしまいます。電源を立ち上げると初期設定で選択されている印刷モードでブ

リンターが設定されます。印刷モードを固定してお使いになる場合は、初期設定の変更をお勧めします。

2.5.2 初期設定からの変更のしかた

この場合、ほかの初期設定項目の変更と同じ操作となります。2.12, 『初期設定』をご参照ください。

2.5.3 印刷モード

各印刷モードの特徴は以下のとおりです。

通常速印刷モード

- 通常の24 × 24ドットの文字フォントで印刷するモードです。
- 5407/5417/5427 プリンターの通常速モードと同じモードです。
- 印刷速度は最大360 LPM (1 分間に360行印刷) です。
- このモードが設定されているときは通常速ライトが点灯しています。
- 工場出荷時は、このモードに設定されています。

コピー強化印刷モード

- 主に6枚以上の多部紙(8枚まで)をご使用になる場合に使うモードです。
- 24 × 24ドットの文字フォントで印刷するモードです。
- このモードが設定されているときはコピー強化ライトが点灯しています。

このモードはさらに下記の5つのモード(通常多部紙用の3つと段差紙用の2つ)に細分され、5つのモードの設定は初期設定項目の「コピー強化」で行います。出荷時は「中」に設定されています。

[通常多部紙用3モード]

標準: 印字力を強化したモードです。印刷速度は通常速印刷モードと同じ360 LPMです。ただし印字パターンによっては通常速印刷モード(360 LPM)より遅くなる場合があります。

中: 5417プリンターのコピー強化モードと同じで二重印刷されるモードです。コピー濃度は「標準」と同等です。印刷速度は通常速印刷モードの半分の180 LPMです。印字は通常速印刷モードの文字に比べて濃くなります。出荷時はこのモードに設定されています。

強: 印字力を強化し、さらに二重印刷されるモードです。コピー濃度は、「標準/中」に比べて約1枚分濃くなります。印刷速度は通常速印刷モードの半分の180 LPMです。ただし印字パターンによってはコピー強化印刷モード「中」(180 LPM)より遅くなる場合があります。印字は通常速印刷モードの文字に比べて濃くなります。

[段差紙用2モード]

段差紙 標準: 宅配便伝票のように厚みが均一でない用紙(段差紙)の場合に用いるモードです。「標準」を選択した場合と同じく、印字力が強化されます。印刷速度は通常速印刷モードより遅くなり310 LPMです。ただし印字パターンによっては310 LPMより遅くなる場合があります。

段差紙 強: 段差紙モードでさらに二重印刷させるモード(印字力+二重印刷)です。コピー濃度は、「段差紙」に比べて約1枚分濃くなります。印刷速

度は段差紙モードの半分の155 LPMです。、ただし印字パターンによっては155 LPMより遅くなる場合があります。印字は通常速印刷モードの文字と比べて濃くなります。

ご注意ください

- 段差紙モード/段差紙 強モードは、段差紙を使うときだけご使用ください。通常用の紙で使用すると機械の故障をまねくことがあります。
- 段差紙は、厚みの差が3枚以内までです。

高品位印刷モード

- 通常速印刷モードよりきれいに印刷したい場合に使用するモードで片方向印刷されます。
- バーコード印刷、OCR印刷などのご使用時にお勧めするモードです。
- 文字フォントは24 × 24ドットで、印刷速度は180 LPM（1分間に180行印刷）です。
- このモードが設定されているときは高品位ライトが点灯しています。

高速印刷モード

- 通常速印刷モードより速く印刷したい場合に使用するモードです。
- 文字フォントは24(高さ) × 16(幅)ドットのドラフト（横方向間引き）文字で印刷されます。
- 5327/5427 の高速文字フォントと異なり、文字の大きさは通常速印刷モードの24 × 24ドット文字と同じです。
- 印刷速度は最大500 LPM（1分間に500行印刷）です。
- このモードが設定されているときは高速ライトが点灯しています。

超高速印刷モード

- 高速印刷モードより更に速く印刷したい場合に使用するモードです。
- 文字フォントは24(高さ) × 12(幅)ドットのドラフト（横方向間引き）文字で印刷されます。
- 5327/5427 の高速文字フォントと異なり、文字の大きさは通常速印刷モードの24 × 24ドット文字と同じです。
- 印刷速度は最大600 LPM（1分間に600行印刷）です。
- このモードが設定されているときは超高速ライトが点灯しています。

コピー強化印刷 + 高品位印刷モード

- 通常速印刷モードよりきれいな文字で6枚以上の多部紙（8枚まで）をご使用になる場合に使用していただくモードです。
- 文字フォントは24(高さ) × 24(幅)ドットです。
- 印刷速度はコピー強化印刷モードの半分になります。「段差紙」が設定されている場合は155 LPMとなり、「段差紙 強」が設定されている場合は76 LPMとなります。
- このモードが設定されているときはコピー強化および高品位ライトが点灯しています。

コピー強化印刷 + 高速印刷モード

- 高速印刷モードで6枚以上の多部紙（8枚まで）をご使用になる場合に使用していただくモードです。

- 文字フォントは24(高さ) × 16(幅)ドットですが、印刷された文字は高速印刷モードの文字に比べて濃く、太くなります。
- 文字の大きさは、通常速印刷モードの24 × 24ドット文字と同じ大きさです。
- 印刷速度は500 LPM (1分間に500行印刷) です。

注: コピー強化印刷モードで「中」「強」が設定されている場合は、印刷速度は半分の250 LPMとなります。また「段差紙」が設定されている場合は420 LPMで、「段差紙 強」が設定されている場合は210 LPMとなります。

- このモードが設定されているときはコピー強化および高速ライトが点灯しています。

コピー強化印刷 + 超高速印刷モード

- 超高速印刷モードで6枚以上の多部紙 (8枚まで) をご使用になる場合に使用していただくモードです。
- 文字フォントは24(高さ) × 12(幅)ドットですが、印刷された文字は超高速印刷モードの文字に比べて濃く、太くなります。
- 文字の大きさは、通常速印刷モードの24 × 24ドット文字と同じ大きさです。
- 印刷速度は600 LPM (1分間に600行印刷) です。

注: コピー強化印刷モードで「中」「強」が設定されている場合は、印刷速度は半分の300 LPMとなります。また「段差紙」が設定されている場合は495 LPMで、「段差紙 強」が設定されている場合は248 LPMとなります。

- このモードが設定されているときはコピー強化および超高速ライトが点灯しています。

注: 6枚以上の多部紙は、裏カーボンのみ使用可能です。

印刷モード別の印刷速度 (最大値)

印刷モード	通常速	高品位	高速	超高速
印刷速度	360 LPM	180 LPM	500 LPM	600 LPM

コピー強化モード	コピー強化のみ	コピー強化 + 高品位	コピー強化 + 高速	コピー強化 + 超高速
標準 *	360 LPM	180 LPM	500 LPM	600 LPM
中	180 LPM	90 LPM	250 LPM	300 LPM
強 *	180 LPM	90 LPM	250 LPM	300 LPM
段差紙 *	310 LPM	155 LPM	420 LPM	495 LPM
段差紙 強 *	155 LPM	76 LPM	210 LPM	248 LPM

注: 表の値はあくまで最大値であり、接続しているホスト・システムや印字パターンなどによって変化します。

また、*を付けたモードは特に印字パターンによる影響を受けやすいモードです。

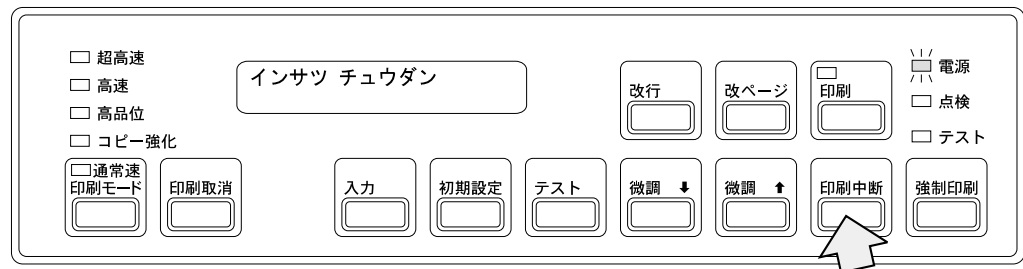
2.6 印刷用紙の取り外しとセット

2.6.1 印刷用紙の取り外し

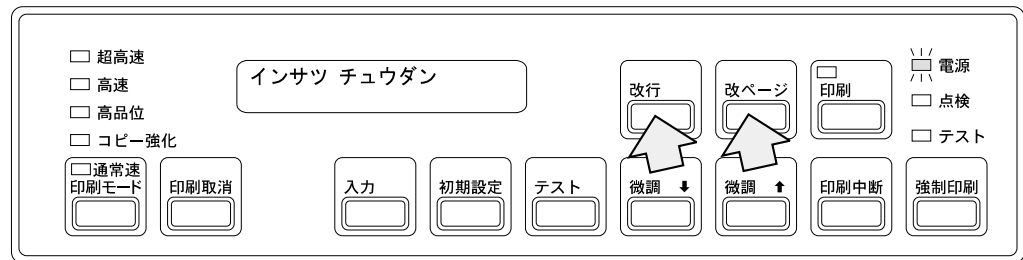
印刷用紙を取り外す手順は以下のとおりです。

注： EOF (End of Form : 用紙切れ) の場合は、ミシン目に一番近いライン・スケールの目盛の位置を用紙に記しておいてください。「印刷用紙のセット」の際に必要なになります。

1 **印刷中断** を押し、印刷中断状態にします。

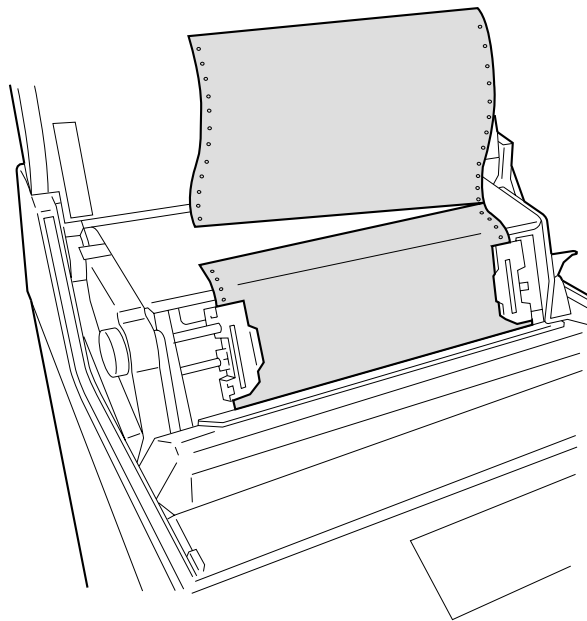


2 **改ページ** または **改行** で用紙を切り取りやすい位置まで送ってください。(紙送りノブを使って用紙を送っても構いません。)



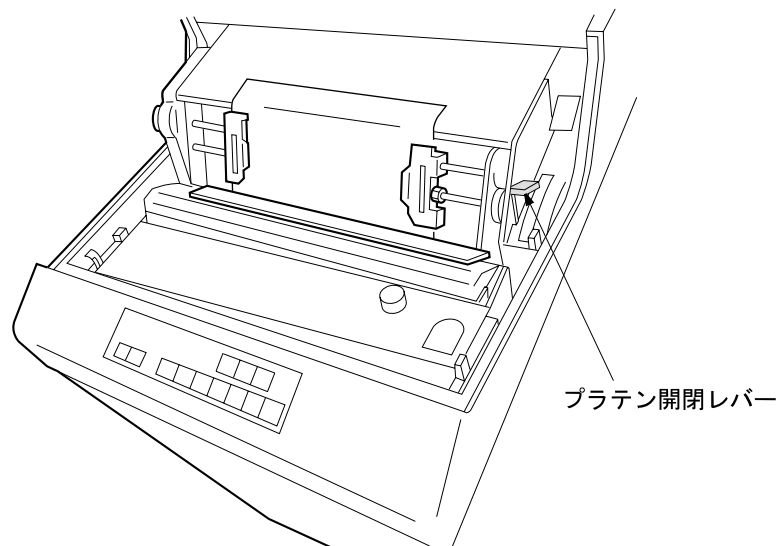
EOF (用紙切れ) の場合は、残りの用紙をスタッカー部に送り出し、ステップ9へ進んでください。

- 3** セット・カバーを開け、用紙をミシン目の部分で切り取ってください。

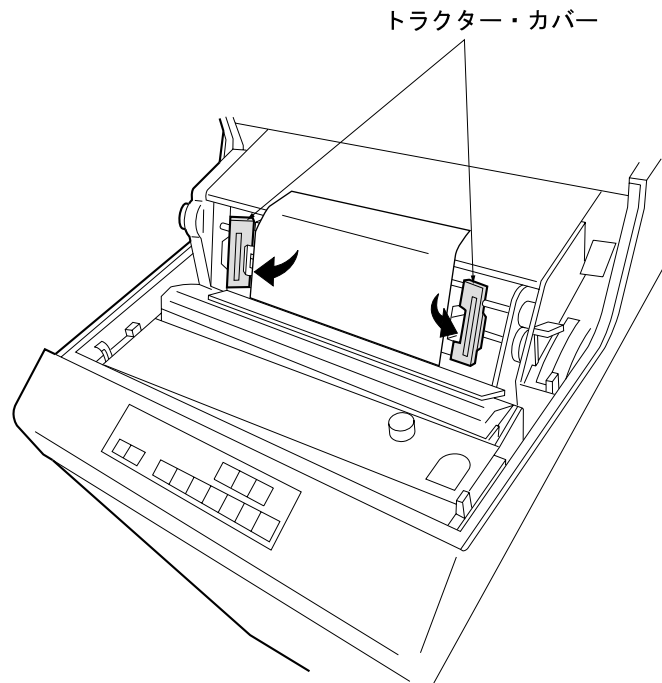


印刷用紙を取り外すだけで、用紙を取り換える必要のない場合は、ステップ9へ進んでください。

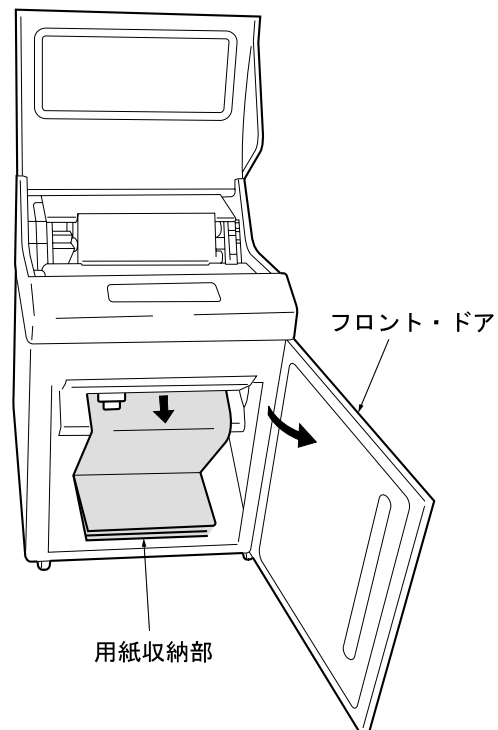
- 4** プラテン開閉レバーを後方へ押し、紙送り部を開けてください。



- 5 トラクター・カバーを開けて、用紙両側の送り穴をトラクターのピンから外してください。

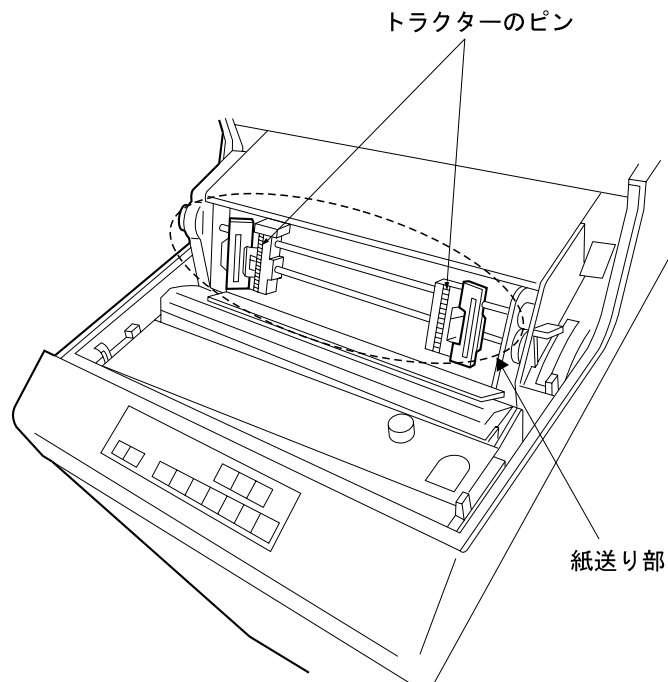


- 6 フロント・ドアを開け、用紙を挿入部から引っ張り出し、収納部から取り出してください。このとき、リボンの外側にある薄い金属板に用紙が引っかからないようにご注意ください。用紙収納部に用紙くずがたまっている場合は、掃除機で清掃してください。



7 フロント・ドアを開めてください。

8 用紙の走行路である紙送り部、左右トラクターのピンの周囲などを、ガーゼまたはブラシで清掃してください。



9 リア・ドアを開け、印刷済み用紙をスタッカーから取り出してください。このとき、スタッカー部に用紙くずがたまっている場合は、掃除機で吸い取ってください。

10 セット・カバーとリア・ドアを閉めてください。

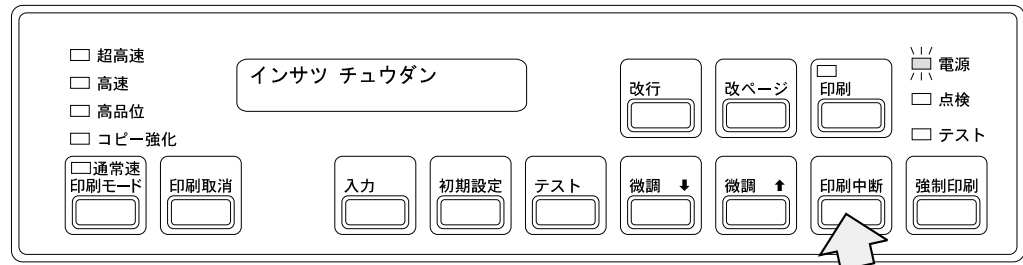
以上で用紙の取り外しは終了です。

2.6.2 印刷用紙のセット

印刷用紙をセットする場合の手順は以下のとおりです。用紙の仕様についての詳細は付録A、『印刷用紙の規格』を参照してください。

電源が切れている場合は、ステップ2から始めてください。

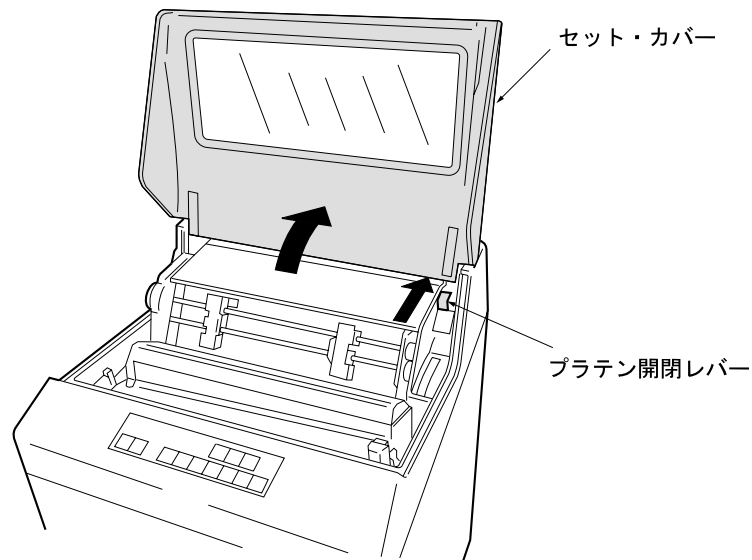
1 **印刷中断** を押し、印刷ライトを消してください。



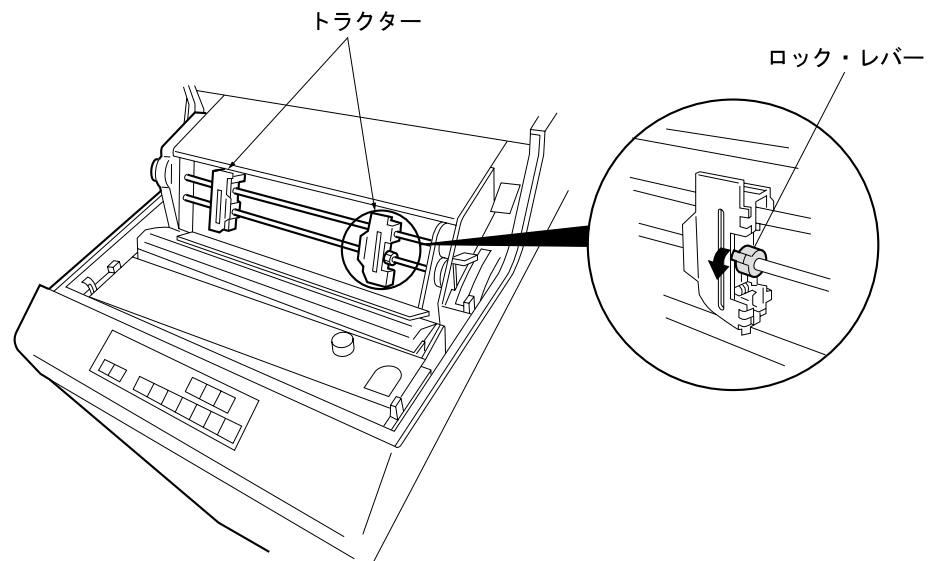
2 セット・カバーを開けて、プラテン開閉レバーを後方へ押し、紙送り部を開けてください。

注:

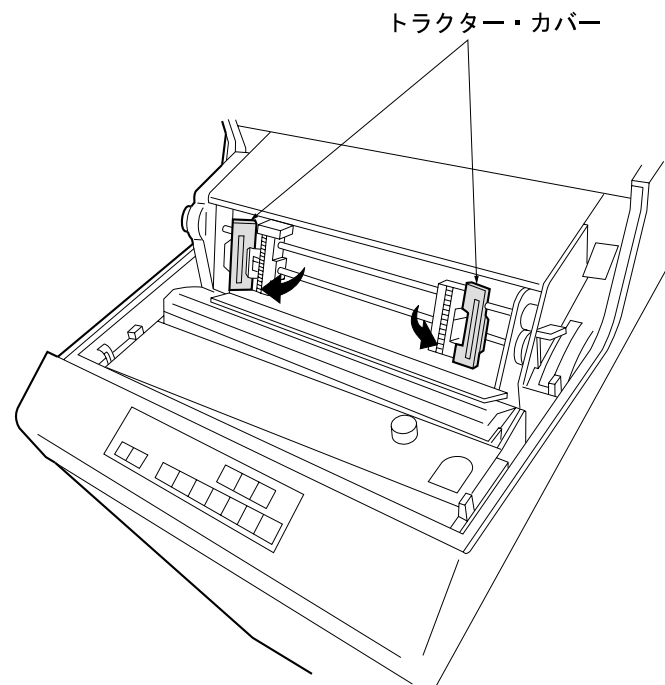
- a. 紙送り部を開けずに用紙をセットすると、用紙端面が痛み用紙づまりの原因となりますし、ほかの誤動作の原因ともなります。
- b. 紙送り部を開いた状態（「開」の状態）からさらにプラテン開閉レバーを右に押しながら後方に押しすと「全開」の状態になりますが、用紙をセットする場合は、「全開」の状態にはしないでください。用紙の先端位置にずれが生じます。



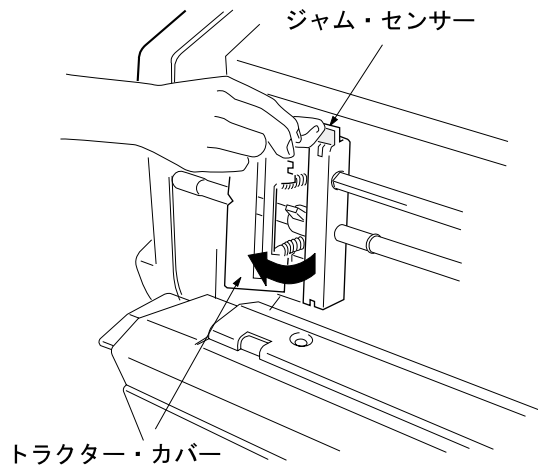
- 3** 左右トラクターわきのロック・レバーを手前に倒して、ロックを解除してください。
トラクターは左右に移動できます。用紙幅に合うように移動させてください。



- 4** トラクター・カバーを開けてください。



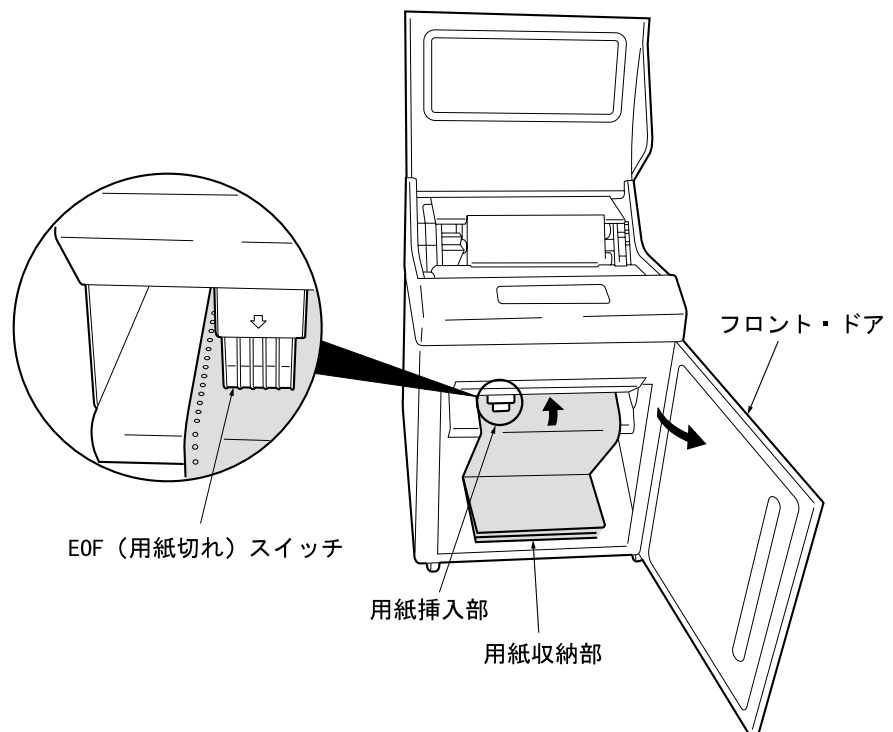
- 5 左側のトラクターに付いているジャム・センサーが汚れていないか点検してください。汚れているときは、柔らかい布（ガーゼなど）で清掃してください(3-15ページの3.3、『用紙づまりの除去』を参照)。



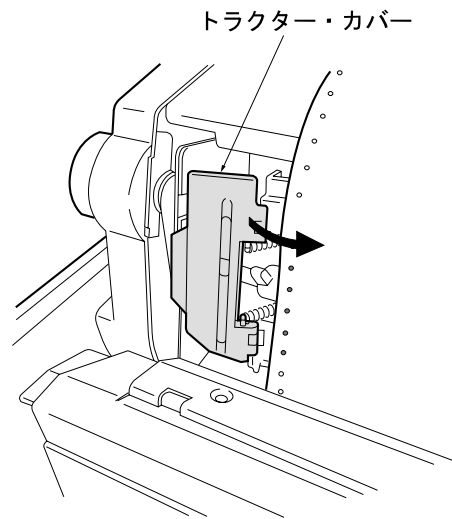
- 6 フロント・ドアを開けて、用紙の先端を用紙挿入部から挿入し、トラクターの高さの位置まで押し上げてください。

— ご注意ください —

- 用紙は必ず箱から出して用紙収納部へ入れてください。箱に入れたまま入れると用紙ジャムの原因になります。
- 用紙の左端が EOF (End of Form: 用紙切れ)スイッチ・ラベルより左側になるようにセットしてください。

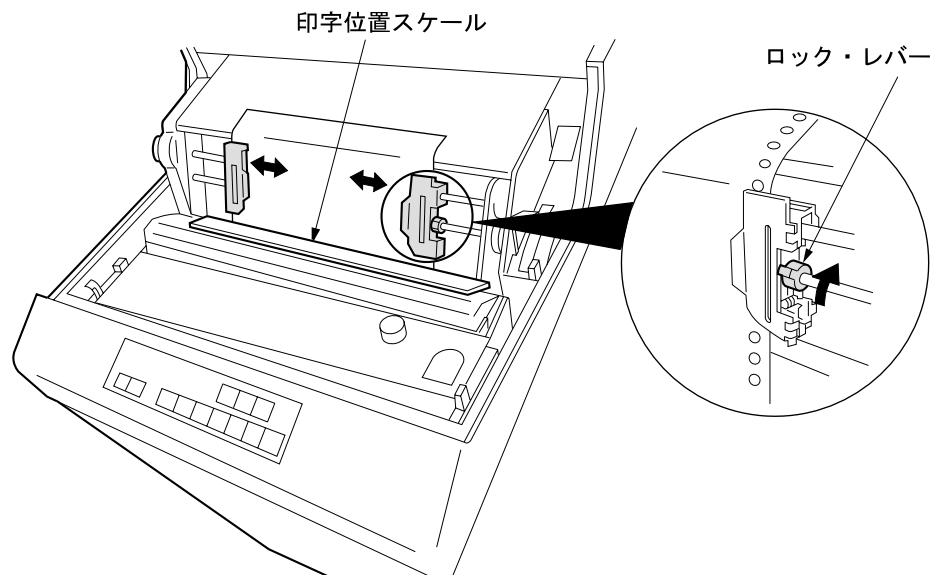


- 7 用紙両側の送り穴を左右のトラクターのピンに合わせ、トラクター・カバーを閉じてください。



- 8 印字位置スケール (1~136) を目安にトラクターを左右に動かして用紙の位置を決め、両方のロック・レバーを後方に倒してください。このとき、用紙はたるまないようにします。

注: スケール 1 の所に最初の文字が印刷されます。

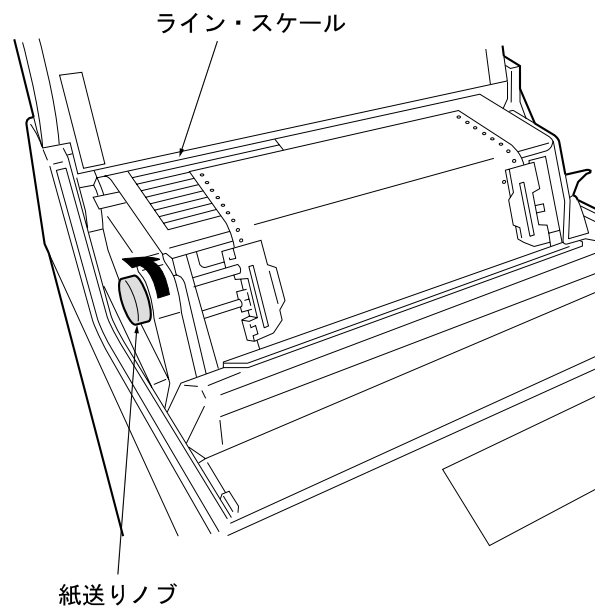


9 紙送りノブを回して用紙の先端をライン・スケールの目盛に合わせてください。

— ご注意ください —

プラテン開閉レバーが「全開」の位置でないことを確認してください。「全開」の位置にあると、用紙の先端位置にずれが生じます。

用紙長	目盛
8インチ (203 mm)	8
9インチ (229 mm)	9
10インチ (254 mm)	10
11インチ (279 mm)	11
12インチ (304 mm)	12

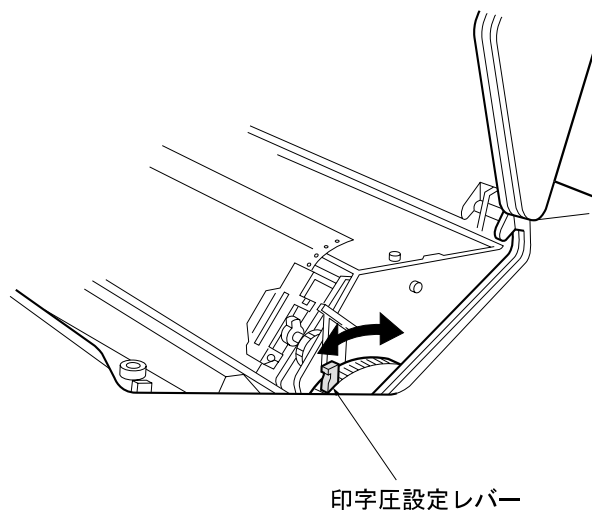


注: EOF (用紙切れ) の場合は、2-19ページの2.6.1、『印刷用紙の取り外し』のステップ1の注でつけておいた印を目安にして、新しい用紙をほぼその印の通りにライン・スケールに合わせてください。

10 印字圧設定レバーを用紙に合わせて調整してください。

注: 連量 55kg の一部 (1P) 用紙 (上質紙) では目盛「1」の位置に設定してください。その他の用紙については、下記の表を目安にしてセットする用紙に最適な位置に設定してください。(2-48ページの2.9.1、『印字圧の調整』を参照)

印刷用紙の種類		印字圧設定レバー位置
1P (1部紙)	55kg ~ 70kg	1 ~ 2
	90kg ~ 135kg	2 ~ 3
2P (2部紙)	30kg ~ 45kg	1 ~ 2
3P (3部紙)	30kg ~ 45kg	2 ~ 3
4P (4部紙)	30kg ~ 34kg	3 ~ 4
5P (5部紙)	30kg ~ 34kg	3 ~ 5
6P (6部紙)	30kg ~ 34kg	4 ~ 6
7P (7部紙)	30kg ~ 34kg	4 ~ 6
8P (8部紙)	30kg ~ 34kg	5 ~ 7



—— 印字圧設定レバー以外の調整について ——

用紙を交換したときは、下記の調整も必要になる場合があります。

- 上下位置の調整
- 左右位置の調整
- 用紙張力の調整

調整方法については、2.9、『調整』を参照してください。

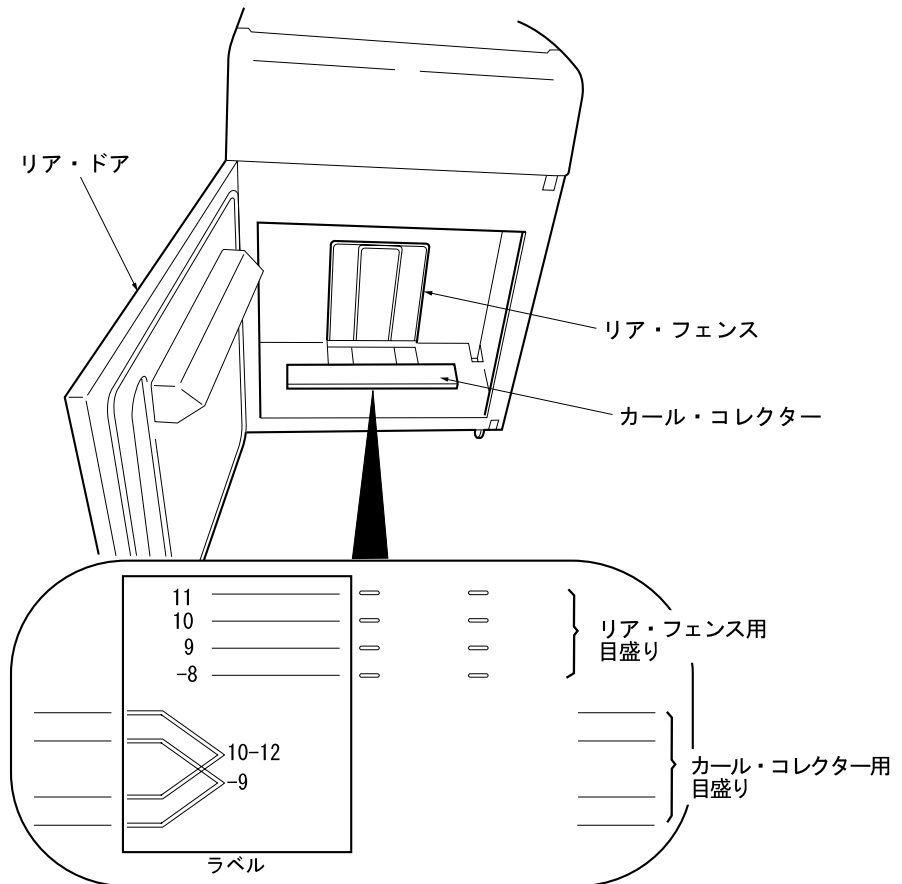
11 プラテン開閉レバーを手前に引いて、紙送り部を閉じてください。

12 セット・カバーとフロント・ドアを開めてください。

13 リア・ドアを開け、使用する用紙のページ長さに応じてリア・フェンスとカール・コレクターを指定の位置に置いてください。

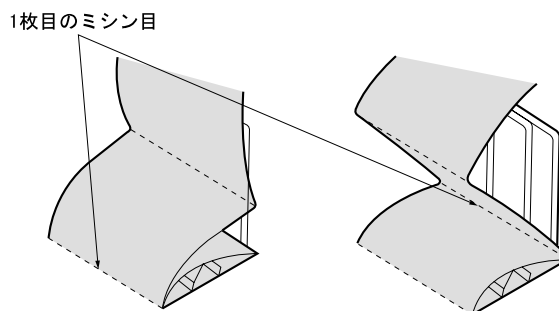
リア・フェンス位置	
用紙長	調整位置
8インチ以下	8
9インチ	9
10インチ	10
11インチ	11
12インチ	リア・フェンスを外す

カール・コレクター位置	
用紙長	調整位置
9インチ以下	9 以下
10~12インチ	10~12



注:

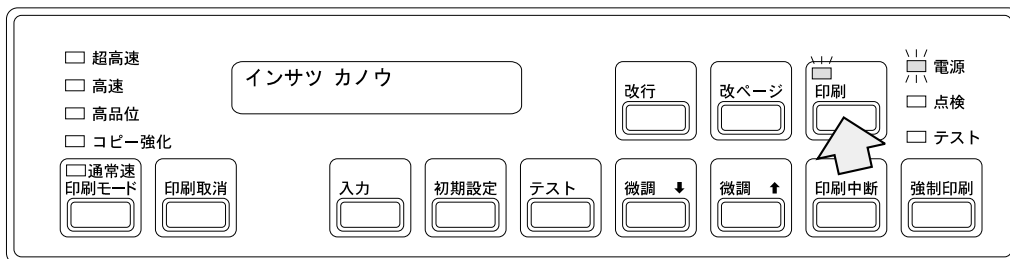
- a. 印刷を開始したとき、スタッカーにでてきた用紙の1枚目をミシン目の折りぐせどおりに折り曲げてください。(図参照)



- b. スタッカーにはできるだけ用紙をためないようにしてください。特に多湿時は、用紙(特に多部紙)が水分を吸って折りぐせが弱くなります。このような場合、スタッカーでジャムが発生しやすくなりますので、印刷した用紙は小まめに取り出すようにしてください。

14 リア・ドアを開めてください。

15 **印刷** を押し、印刷ライトが点灯すれば、印刷を開始することができます。



以上で用紙のセットは終了です。

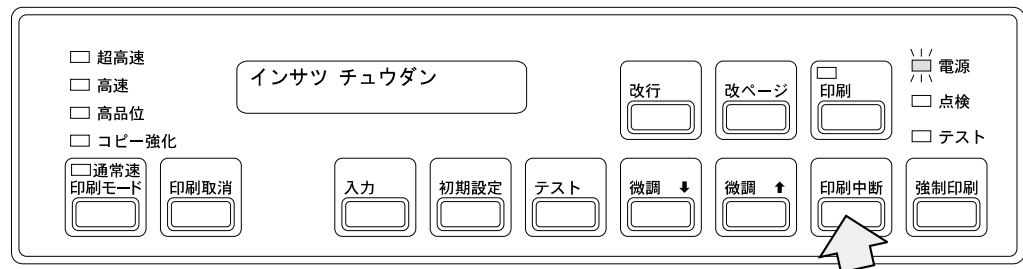
2.6.3 用紙切れのとき

次のメッセージが表示されアラームが鳴った場合は、EOFスイッチが用紙切れを知らせています。

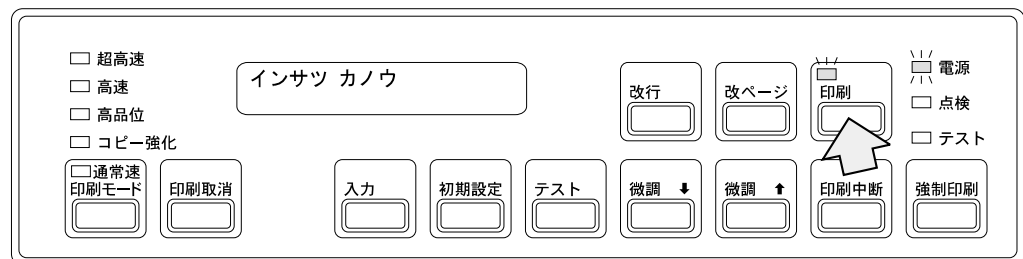
ヨウシガ アリマセン
ヨウシラ セットシテクダサイ

このとき、用紙は少なくとも1ページ以上残っています。次ページまで印刷する場合は次のようにします。

1 **印刷中断** を押すと、アラーム、点検ライトが消えます。



2 **印刷** スイッチを押します。印刷ライトが点灯し、再び印刷を開始します。



注： 次ページの再終行まで印刷した後、アラームが鳴り、次のメッセージを表示し、印刷を停止します。

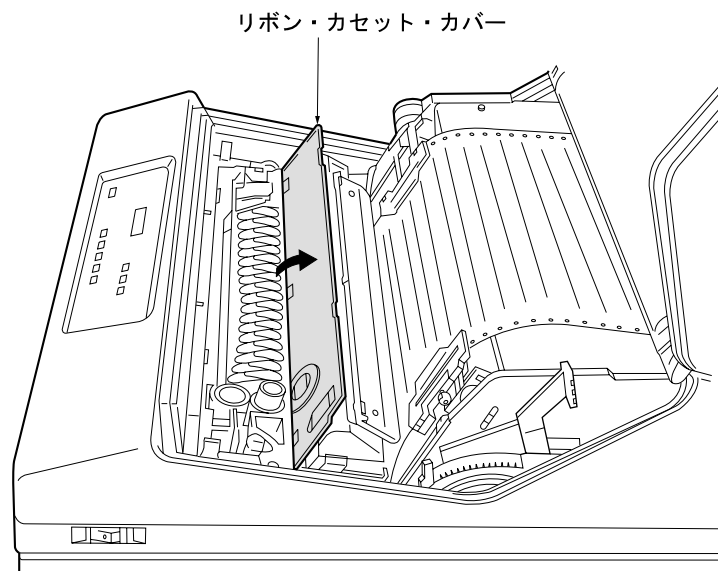
ヨウシガ アリマセン
ヨウシラ セットシテクダサイ

このとき、用紙が残っていても、これより先のページの印刷はできません。

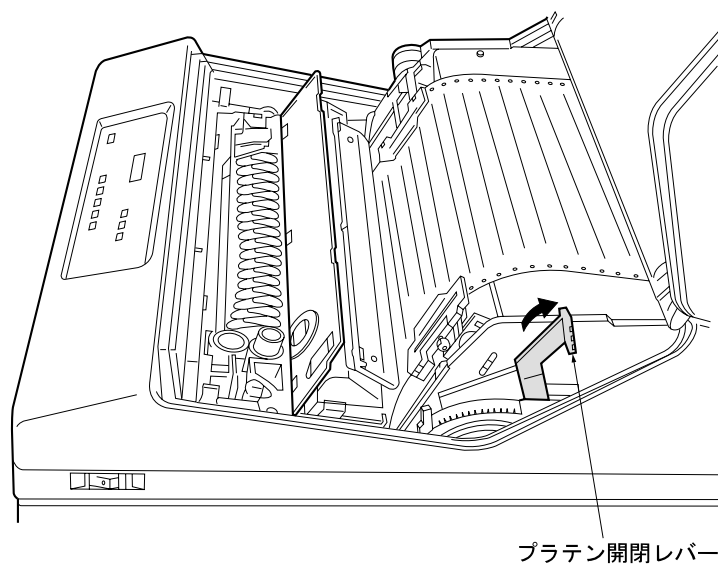
2.7 リボンの点検

毎日の業務を開始する前に次の手順でリボンの点検をしてください。

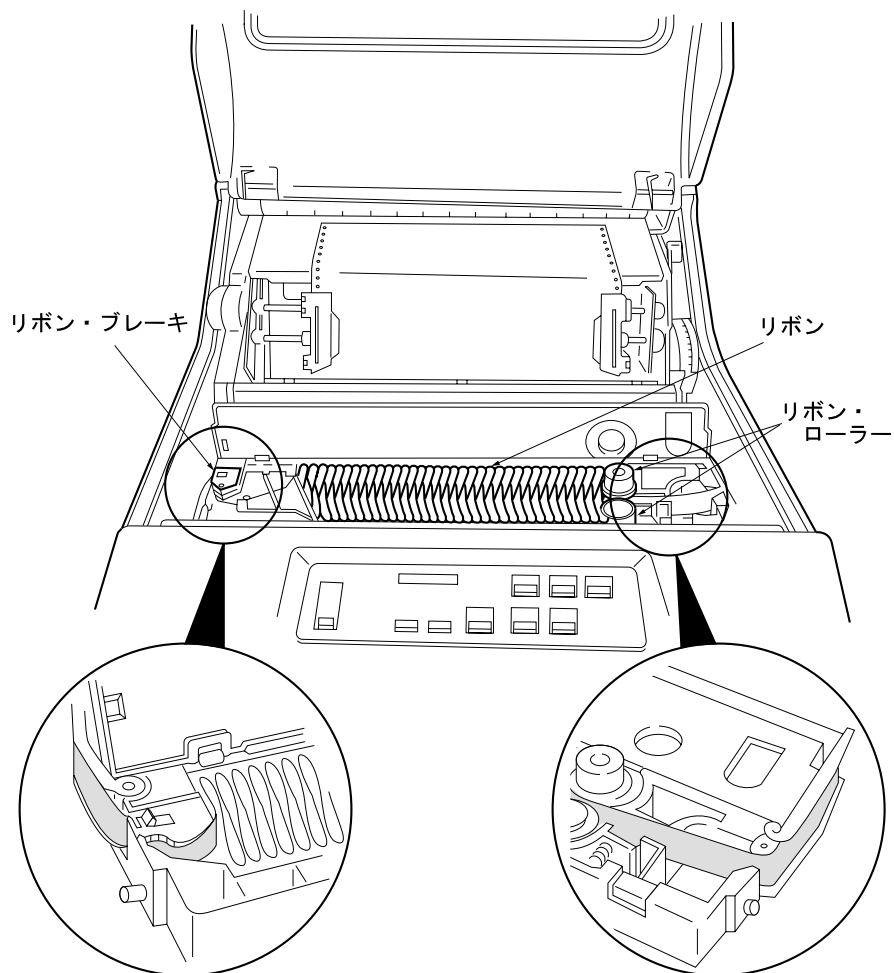
- 1 電源が切れていることを確認してください。
- 2 セット・カバーを開けてください。
- 3 リボン・カセット・カバーを開けてください。



- 4 プラテン開閉レバーを押して、紙送り部を開けてください。



- 5** リボンが破れたりねじれたりしてないか、またリボン走行路内に正しく収まっているかを点検してください。



- リボンが折れたり、たるんだり、ローラーなどに巻きついたりしている場合は正しくセットし直してください。
- リボンがリボン・ブレーキからはみ出している場合はしっかり収めてください。少しでもリボンがはみ出していると、印刷中にリボン走行路から外れてリボン・ジャムを起こします。
- リボンが破れていたり、古くなったりして交換する必要がある場合は、2-34ページの2.8、『インク・リボンの交換』にお進みください。

- 6** 点検後、リボン・カセット・カバーを閉じてください。
- 7** プラテン開閉レバーを手前に引いて、紙送り部を閉じてください。
- 8** セット・カバーを閉めてください。

以上でリボンの点検は終了です。

2.8 インク・リボンの交換

次のような状態のときは、早めにリボンを交換してください。

- 印字が薄くなったとき
- リボンが古くなり、ワカメ状によれよれになったとき
- リボンに損傷が発見されたとき
- リボン寿命を知らせるメッセージが表示されたとき
IBM 5400-006は印字した文字をカウントすることにより、リボンに寿命がきたことをメッセージで知らせます。

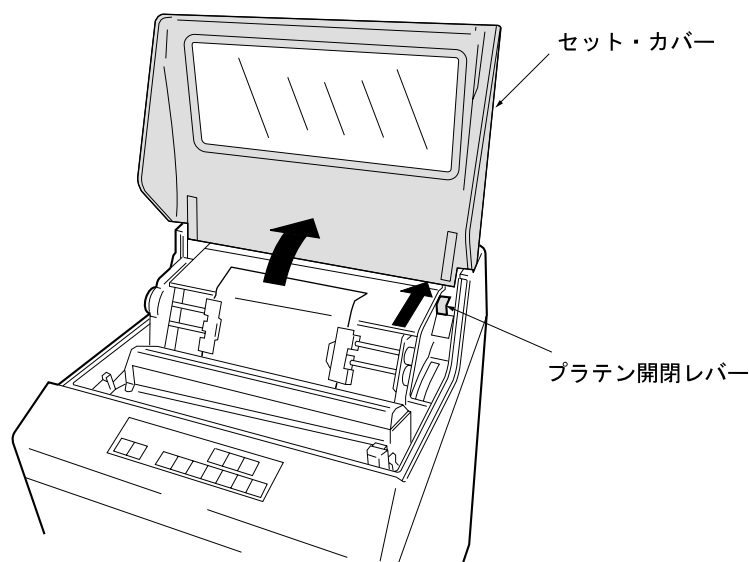
IBM 5400-006のリボンの交換には、リボン・カセットごとの交換と、詰替えリボンのみの交換とがあります。詰替えリボンのみを交換する場合は、2-41ページの2.8.3、『リボンの詰め替え』を参照してください。

注: リボンのインクで手が汚れることがあります。作業の際は手が汚れないように手袋を着用してください。

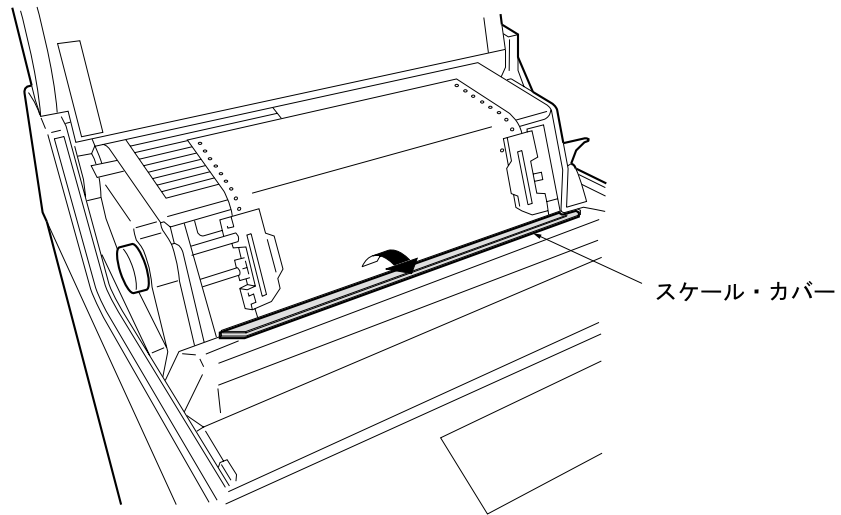
2.8.1 リボン・カセットの取り外し

電源が切れている場合はステップ3から始めてください。

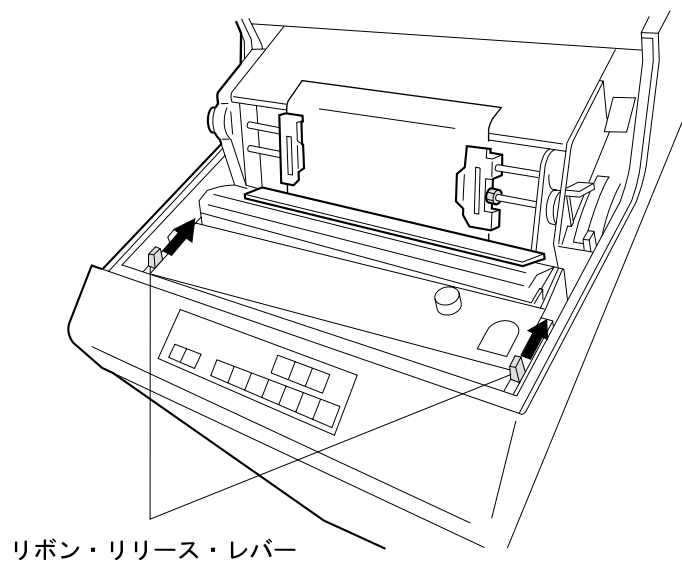
- 1** **印刷中断** を押し、印刷ライトを消してください。
- 2** 電源スイッチを切ってください。
- 3** セット・カバーを開けて、プラテン開閉レバーを後ろへ押し、紙送り部を開けてください。



4 スケール・カバーを開けてください。



5 リボン・リリース・レバーを矢印の方向に押した後、リボン・カセットを上方に取り外してください。



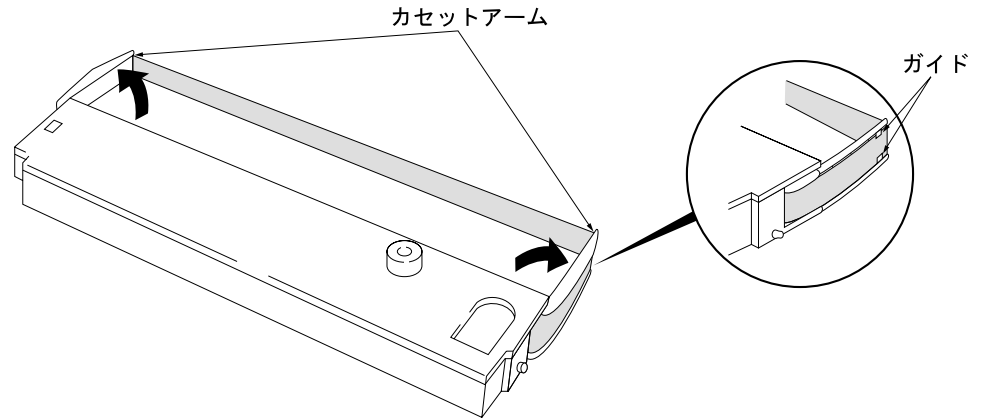
以上でリボン・カセットの取り外しは終了です。

2.8.2 リボン・カセットのセット

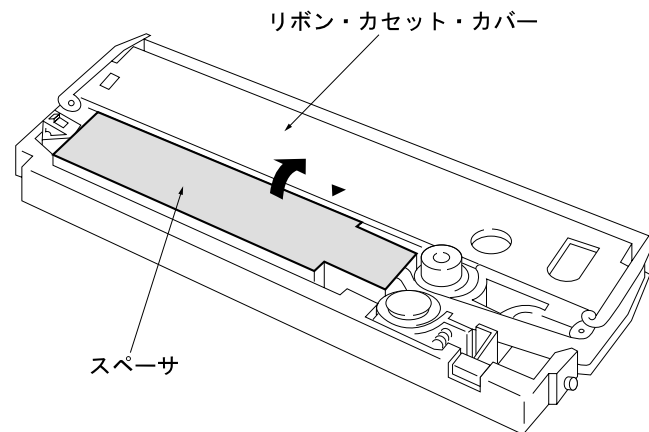
リボン・カセット自体をセットしてから、IBM 5400-006に取り付けます。（リボン・カセット自体のセットが終了している場合は、2-38ページの『リボン・カセットの取り付け』へ進んでください。）

リボン・カセット自体のセット

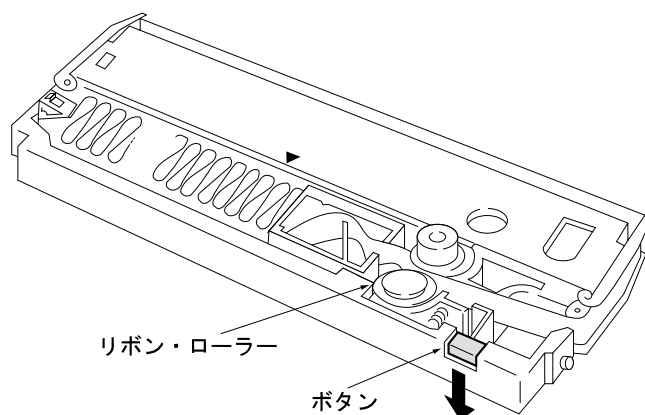
- 1 左右のカセット・アームを矢印の方向に開いてください。このとき、カセット・アームのガイドにリボンが通っていることを確認してください。



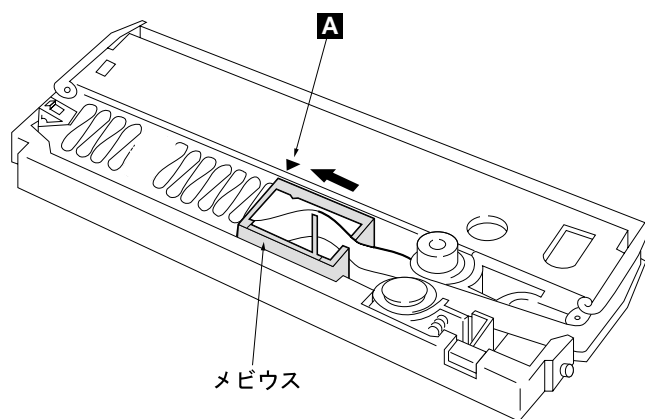
- 2 リボン・カセット・カバーを矢印の方向に開いて、紙でできたスペーサーを取り除いてください。



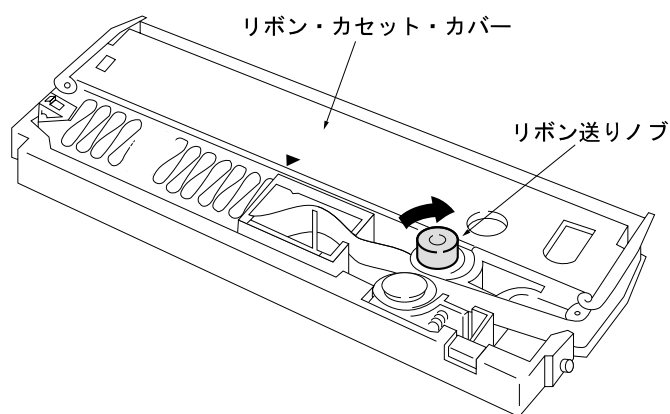
- 3** ボタンを矢印方向に押して、リボン・ローラーを閉じてください。



- 4** メビウスを“ ”マーク **A** まで移動してください。



- 5** リボン送りノブを時計回り方向に回して、リボンのたるみを取ってください。

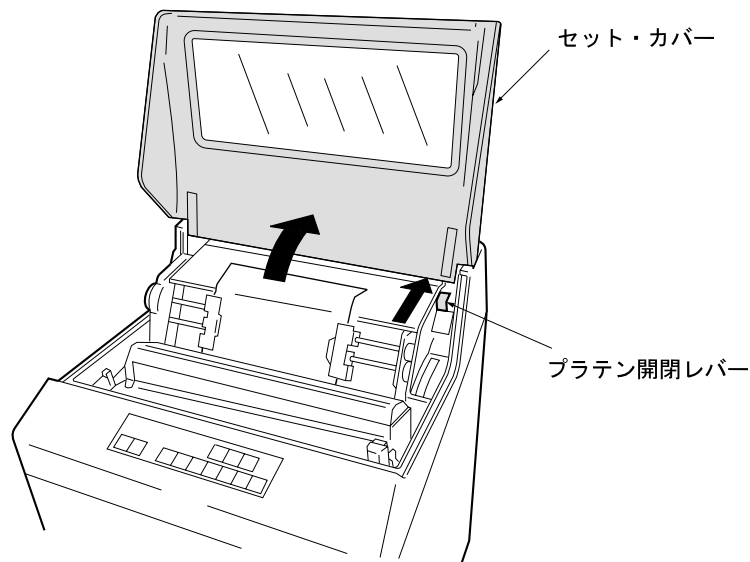


- 6** リボン・カセット・カバーを閉じてください。

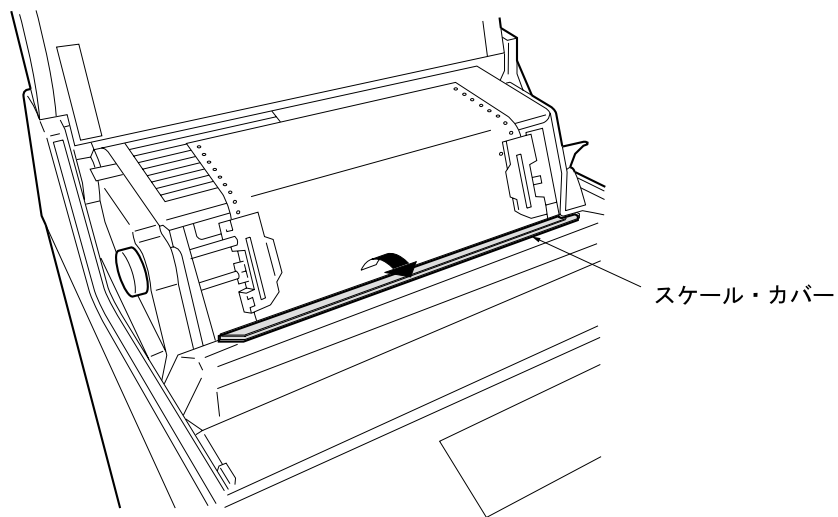
これでリボン・カセット自体のセットは終了です。次にリボン・カセットをIBM 5400-006に取り付けます。

リボン・カセットの取り付け

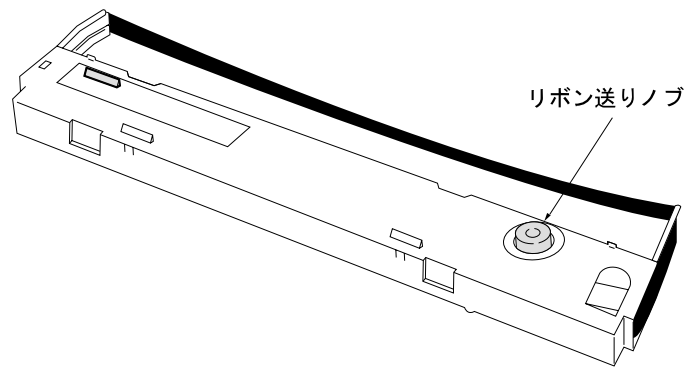
- 1 電源スイッチを切ってください。
- 2 セット・カバーを開けて、プラテン開閉レバーを後ろへ押し、紙送り部を開けてください。



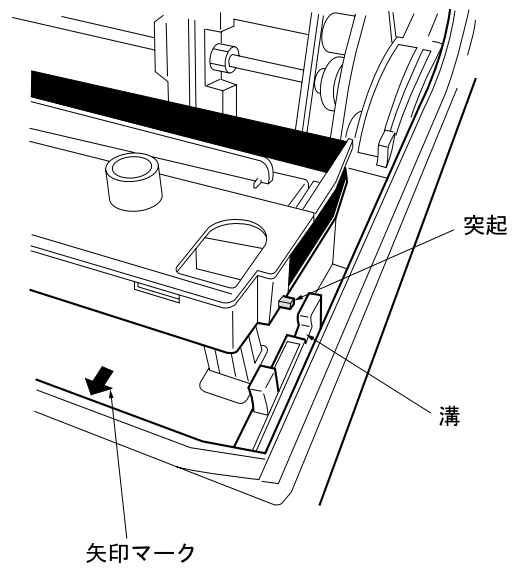
- 3 スケール・カバーを矢印の方向に開けてください。



- 4 リボン送りノブを時計回りに回して、リボンのたるみを取ってください。

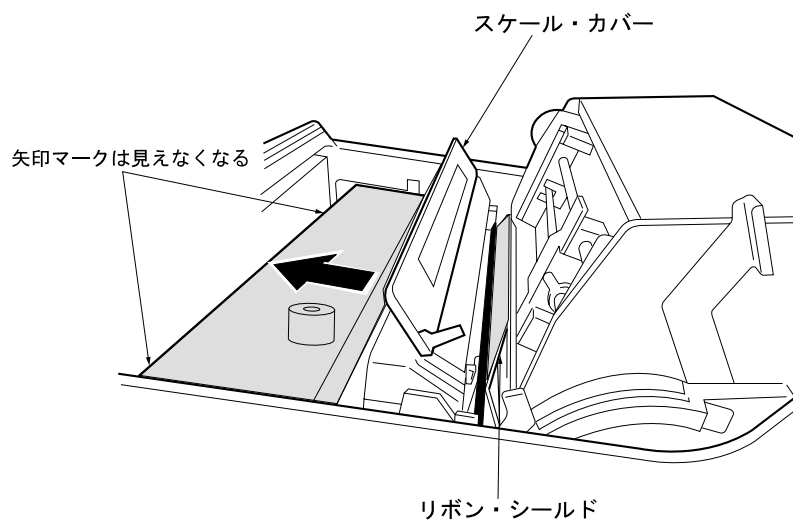


- 5 リボン・カセットの左右両側にある突起を溝に入れてください。



6 リボン・カセットをカチッとロックするまで手前に引いてください。このとき、次の2点を確認してください。

- リボンがリボン・シールド（穴付きの薄い金属板）の手前に入っていること。
- 矢印マークが左右とも隠れていること。



7 スケール・カバーを閉じてください。

8 プラテン開閉レバーを手前に引いて、紙送り部を閉じてください。

9 セット・カバーを開めてください。

リボン寿命カウンターのリセット

新しいリボン・カセットを取り付けた場合、**入力** を押しながら **印刷取消** を押して、リボン寿命カウンターをリセットしてください。

以上でリボン・カセットのセットは終了です。

2.8.3 リボンの詰め替え

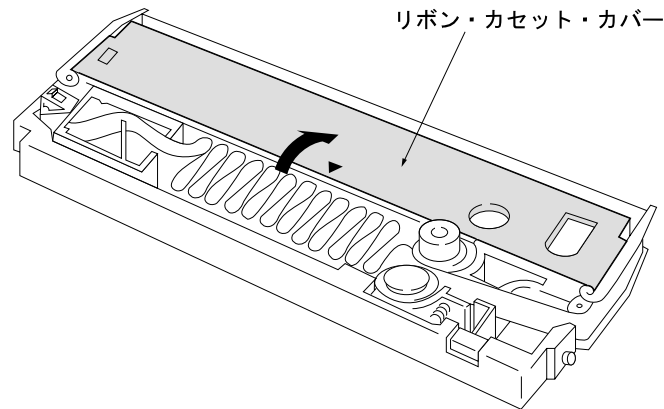
商品番号 09F4041 の詰め替えリボンをお使いください。

ご注意ください

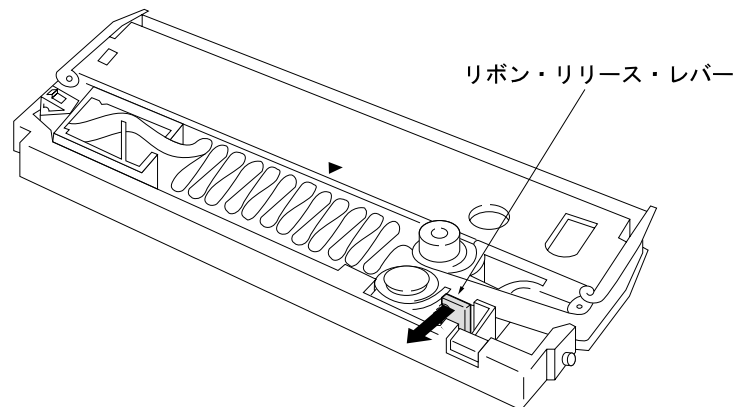
- リボンに触れると手が汚れますので手袋を着用してください。手袋は新しい詰め替えリボンに同梱されています。
- 同じリボン・カセットでの交換は 10回をめどにしてください。同じリボン・カセットを使用し続けると、リボン・ジャムまたは印字不良（印字かすれ）などの原因となります。リボン交換回数のチェック・ラベルを確認してください。

1 2-34ページの2.8.1、『リボン・カセットの取り外し』を参照して、リボン・カセットを取り外してください。

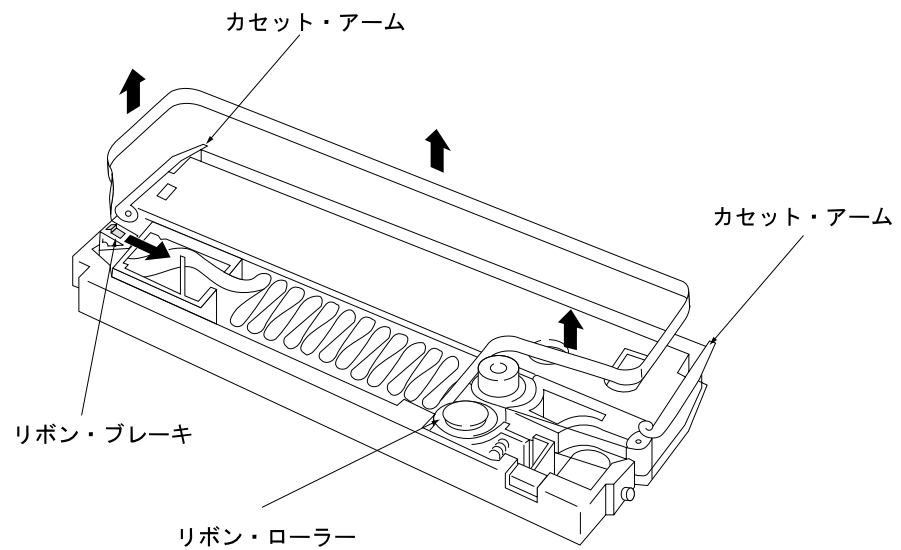
2 リボン・カセット・カバーを矢印の方向に開けてください。



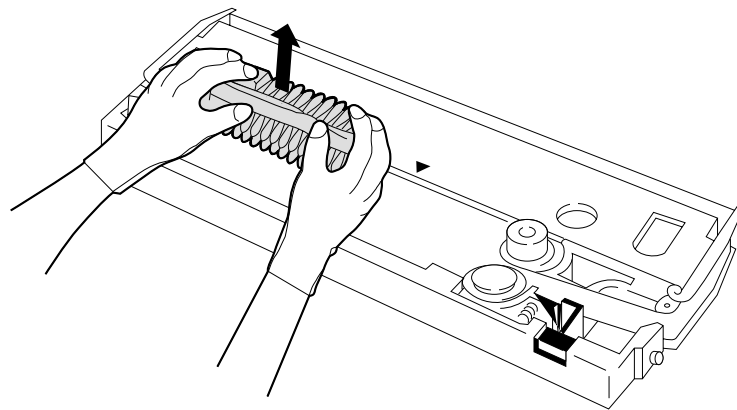
3 リボン・リリース・レバーをカチッとロックするまで手前に引いてください。



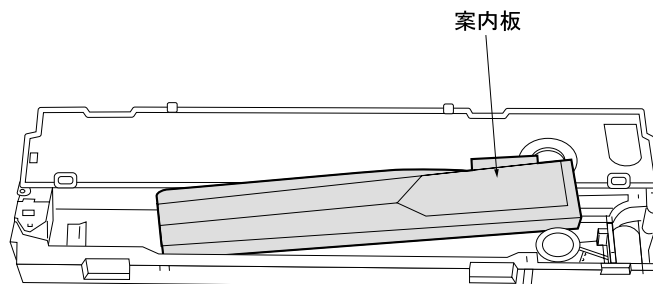
- 4** リボンをローラーと左右のカセット・アームからゆっくりと取り外してください。次に、リボン・ブレーキを矢印方向に押し、挟まれているリボンを取り外します。



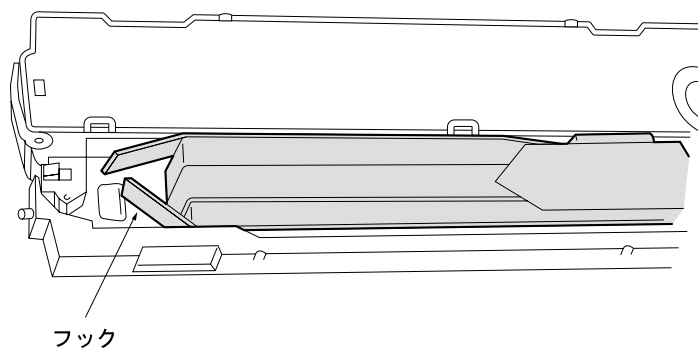
- 5** リボン・カセットからリボンとメビウス部を取り出してください。使用済みのリボンは、新しい詰替えリボンの空箱に移し入れてください。



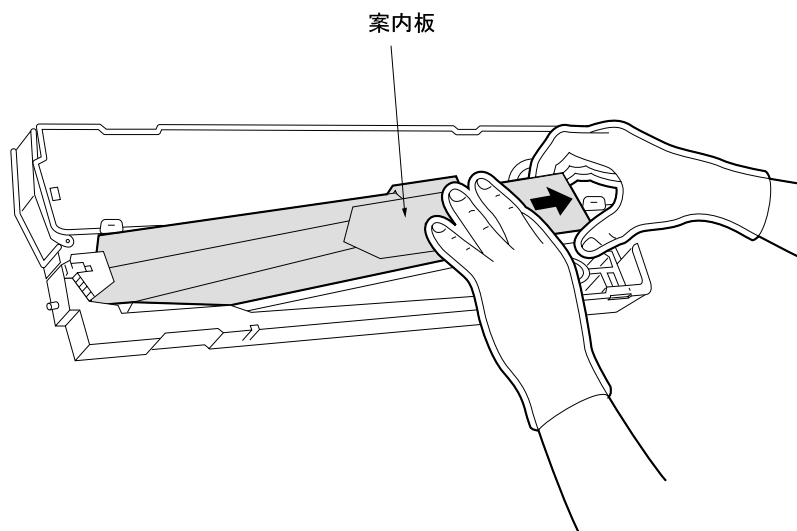
- 6 詰替えリボンの上ぶたを外して、案内板が右側になるようにリボン・カセット内に置いてください。



- 7 詰替えリボンの内箱の左側にあるフックを外してください。



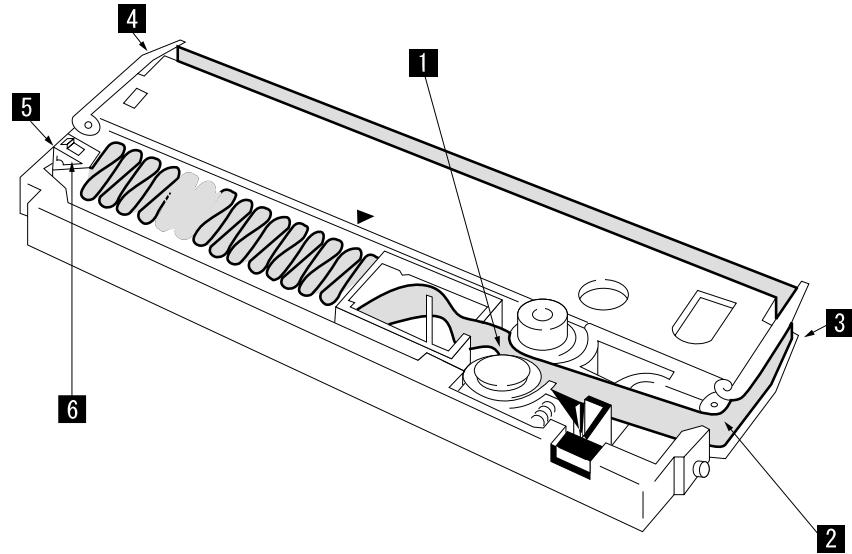
- 8 詰替えリボンの案内板を押さえながら、詰替えリボンの内箱を矢印方向に引き抜いてください。その後、案内板を取り除いてください。



9 リボンを **1** ~ **6** の順でセットしてください。(個所 **1** ~ **6** の詳細については次ページを参照してください。)

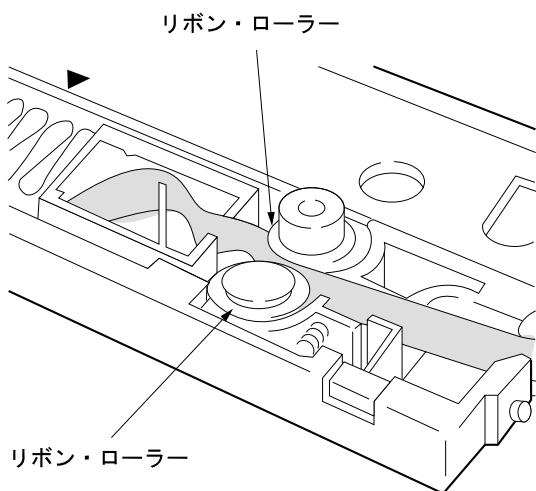
— ご注意ください —

- 倒れたリボンの上にリボンが乗り上げないようにしてください。
- リボンがよれたりねじれたりしないように注意してください。

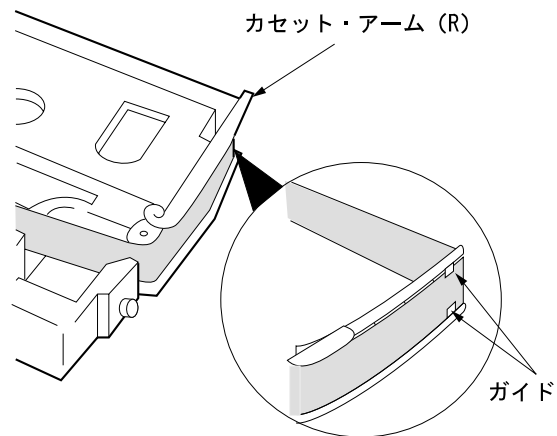


前ページの **1** ~ **5** の各個所の詳細図を以下に示します。

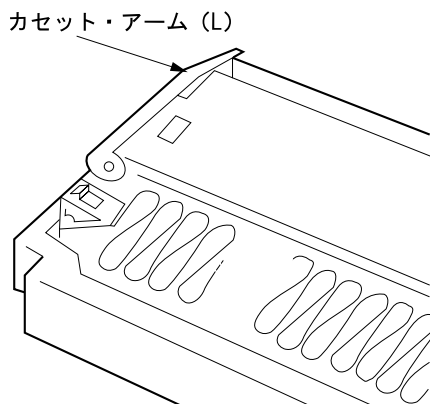
1 の個所: リボンがねじれないようにリボン・ローラーの間に入れます。



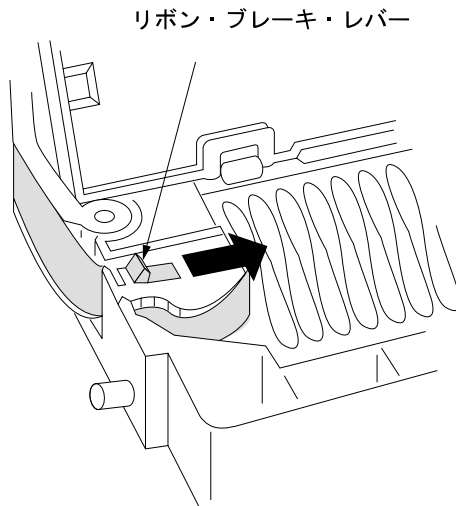
2 **3** の個所: 下図のようにリボンを通し、カセット・アーム (R) にリボンをかけます。このとき、カセット・アーム先端のガイドに正しくかけてください。



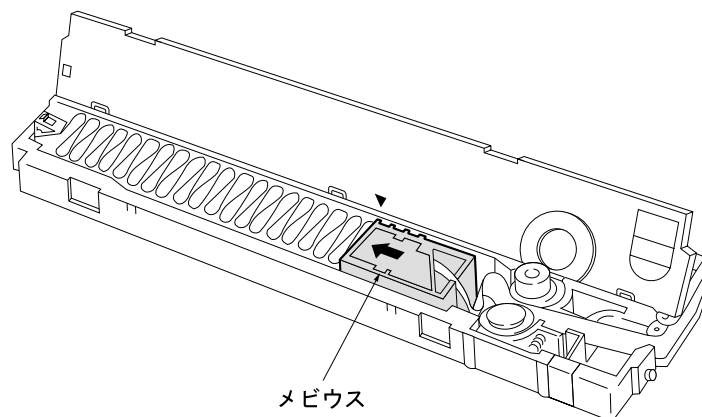
4 の個所: カセット・アーム (R) と同様にカセット・アーム (L) にリボンをかけます。



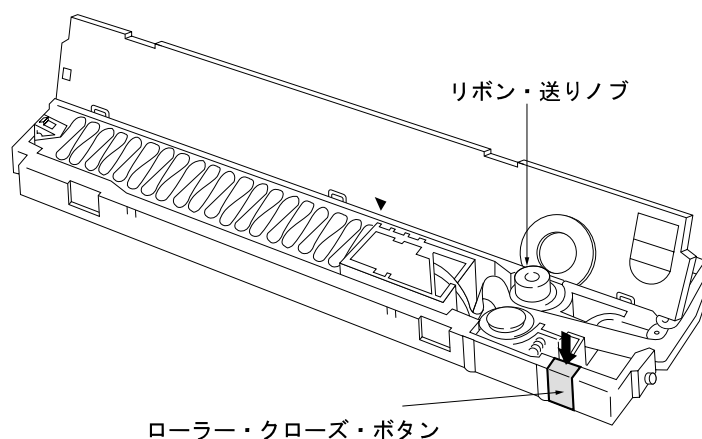
5 **6** の個所: リボン・ブレーキ・レバーを右へ押しながらリボンを通します。



- 10** メビウスの左側をリボン・カセット・カバーにある マークまで移動します。このとき、倒れているリボンがあったら起こしてください。



- 11** ローラー・クローズ・ボタンを押してローラーを閉じてください。



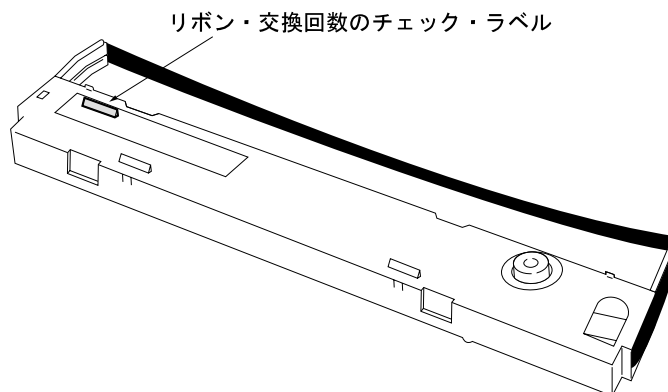
- 12** リボン送りノブを時計回りに回し、リボンのたるみを取ってください。

ご確認ください

- リボンがリボン走行路 **1** ~ **6** を正常に走行し、きちんとリボン・カセット内に収まること。
- リボン・カセット内に倒れているリボンがないこと。
- リボンがリボン走行路 **1** ~ **6** にたるみがないこと。

- 13** リボン・カセット・カバーを閉じてください。

14 最後にリボン交換回数のチェック・ラベルの数字をひとつ消してください。



リボン寿命カウンター

リボン・カセットをセットした後、**入力** を押しながら **印刷取消** を押して、リボン寿命カウンターをリセットしてください。

以上でリボンの詰め替えは終了です。

リボン・カセットのセットは2-36ページの2.8.2、『リボン・カセットのセット』を参照してください。

2.9 調整

IBM 5400-006を操作する前および用紙を交換したときには、印字圧および用紙の位置を調整する必要があります。

ここでは、次の調整方法について説明します。

- 印字圧の調整
- 用紙の上下位置の調整
- 用紙の左右位置の調整
- 用紙張力の調整

電源が入った状態で調整するときは、印刷中断状態にしてから調整を始めてください。

— ご注意ください —

印字中にプラテン開閉レバーを開けて、印字確認などを行った場合は、印刷を再開したときに用紙がたるみ最初の文字がつぶれることがあります。

2.9.1 印字圧の調整

用紙の厚さや複写枚数により印字圧の調整を行います。印字圧の調整には印字圧設定レバーを用います。（次ページを参照）

下表を参考にして、印字圧設定レバーの位置を用紙の種類に合わせて設定してください。

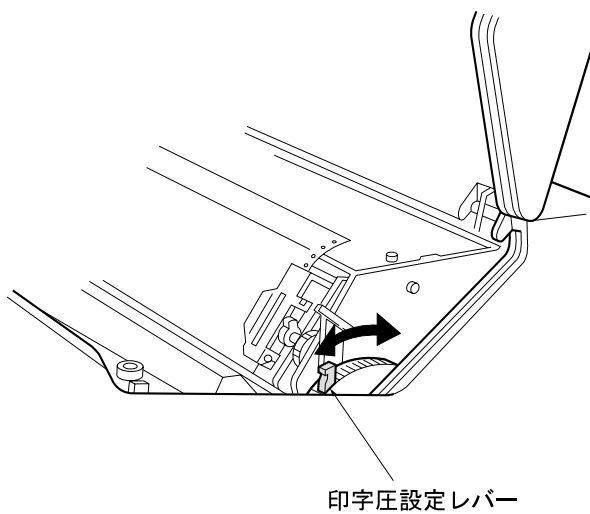
— お願い —

下の表は目安です。印刷の結果を見て良い印字品質が得られるように2-55ページの2.10、『テスト印刷』を行って最適な位置を決めてください。

印刷用紙の種類		印字圧設定レバー位置
1P (1部紙)	55kg ~ 70kg	1 ~ 2
	90kg ~ 135kg	2 ~ 3
2P (2部紙)	30kg ~ 45kg	1 ~ 2
3P (3部紙)	30kg ~ 45kg	2 ~ 3
4P (4部紙)	30kg ~ 34kg	3 ~ 4
5P (5部紙)	30kg ~ 34kg	3 ~ 5
6P (6部紙)	30kg ~ 34kg	4 ~ 6
7P (7部紙)	30kg ~ 34kg	4 ~ 6
8P (8部紙)	30kg ~ 34kg	5 ~ 7

— ご注意ください —

厚い用紙に対して設定レバーの位置が小さすぎると、印字機構部の障害の原因となりますので、必ず大きい方から調整するようにしてください。

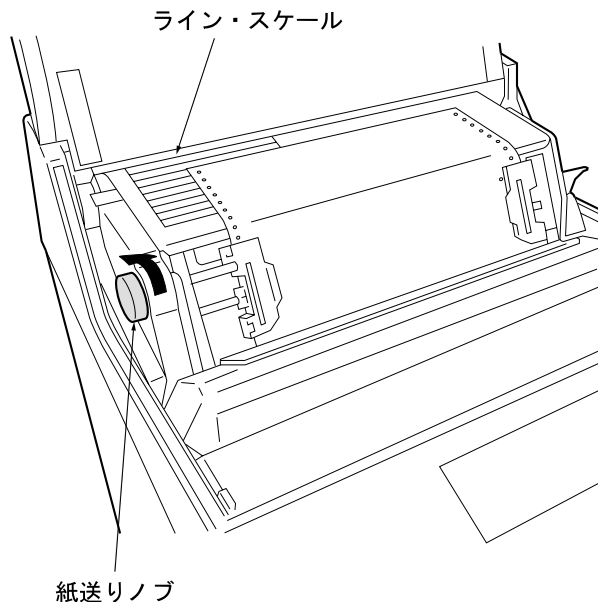


2.9.2 上下位置の調整

印刷用紙の上下位置の調整は次の手順で行います。

- 1 **印刷中断** を押し、印刷ライトを消してください。
- 2 セット・カバーを開け、紙送りノブを回して、先頭行（1行目の印字行）の文字の上端となる位置をライン・スケールのノッチに合わせてください。

注：紙送りノブを使って用紙を逆送りするときは、プラテン開閉レバーを後方に押して紙送り部を開けてください。



- 3 微調整は **微調** と **微調** で行います。
 - **微調** を押すごとに、用紙は約0.14mm (1/180インチ) 順方向に送られます。
 - **微調** を押すごとに、用紙は約0.14mm (1/180インチ) 逆方向に送られます。
 - **微調** を押し続けると、用紙は連続的に送られます。

注：用紙を **微調** で逆送りさせたときは、用紙がたるみます。

たるみをとるには：

- a. プラテン開閉レバーを後ろに押した後、フロント・ドアを開け、用紙を下から引っ張ってください。
- b. プラテン開閉レバーを元に戻し、フロント・ドアを閉めてください。

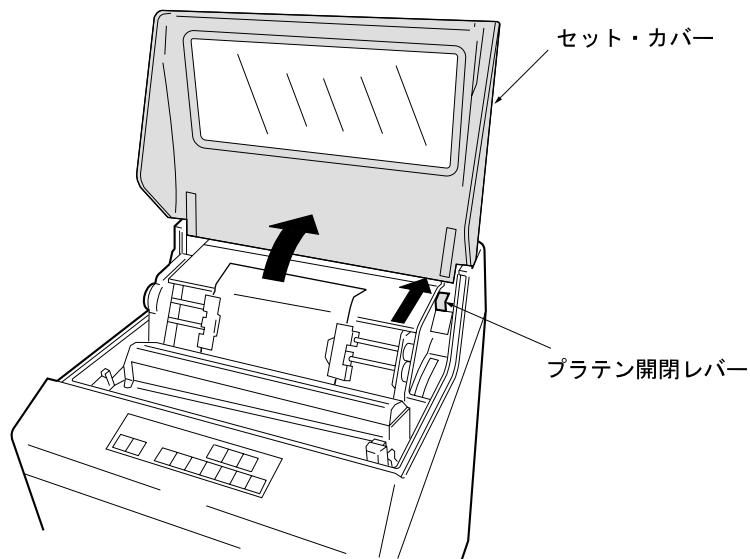
- 4 セット・カバーを閉めてください。

2.9.3 左右位置の調整

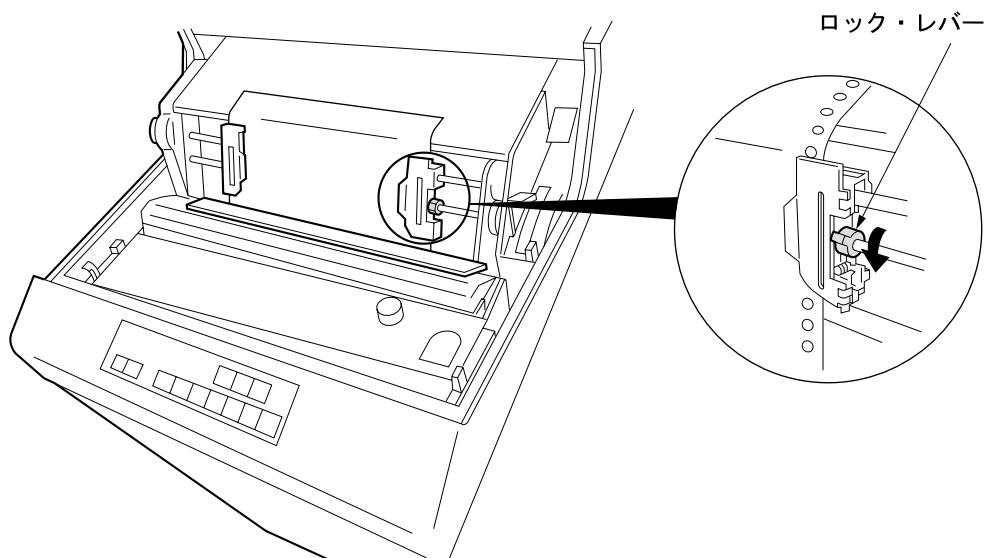
印刷用紙の左右位置の調整は次の手順で行います。

注：印刷用紙の左右の位置を大幅に移動した場合は、フロント・ドアを開け、トラクター部と用紙の左右位置を合わせます。ずれていると用紙づまりの原因となります。

- 1 **印刷中断** を押し、印刷ライトを消してください。
- 2 セット・カバーを開けて、プラテン開閉レバーを後ろに押し、紙送り部を開いてください。

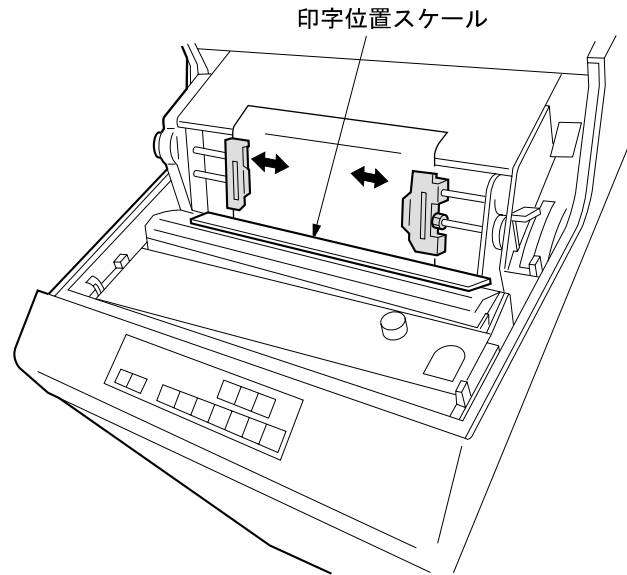


- 3 左右のトラクターのわきに付いているロック・レバーを手前に倒して、トラクターのロックを外してください。

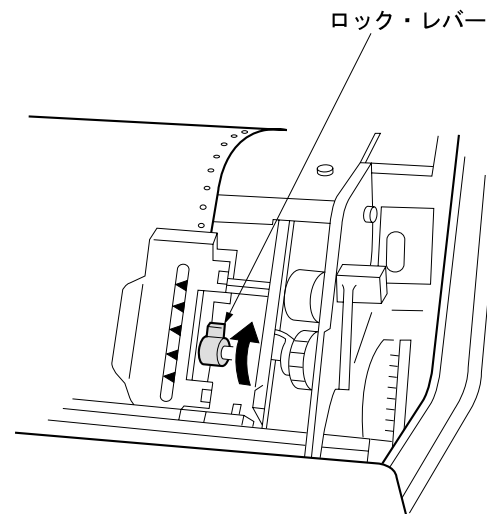


4 トラクターごと用紙をずらして位置を調整してください。

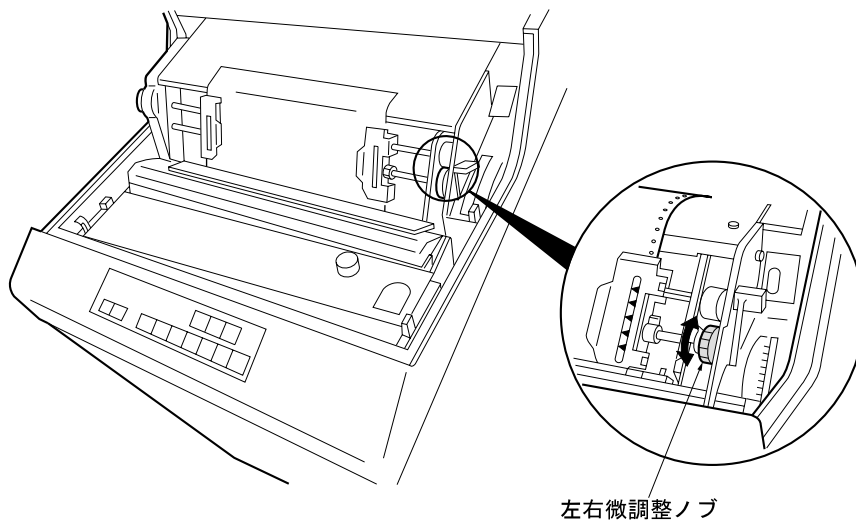
注： 印字位置スケールの目盛を参考にして用紙の位置を調整してください。目盛 1 の所に最初の文字が印字されます。



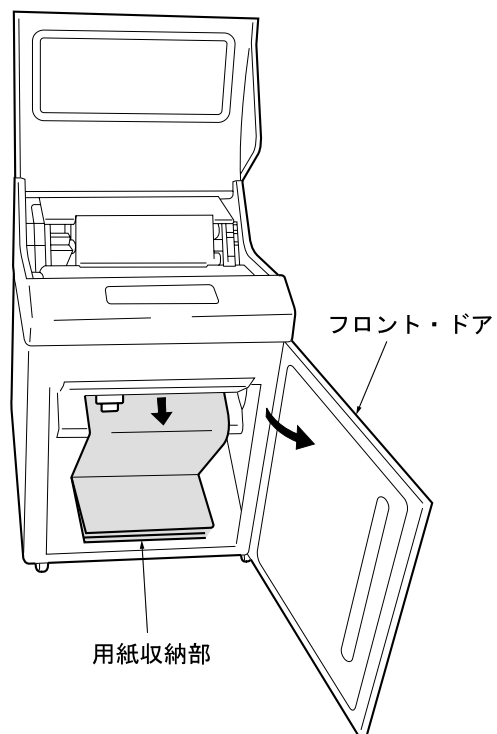
5 左右のトラクターのロック・レバーをロックしてトラクターを固定してください。このとき、用紙がたるまないようにします。



- 6** 左右微調整ノブを回して用紙位置の微調整をしてください。このノブを回すと用紙が左右約5mmまで移動できます。



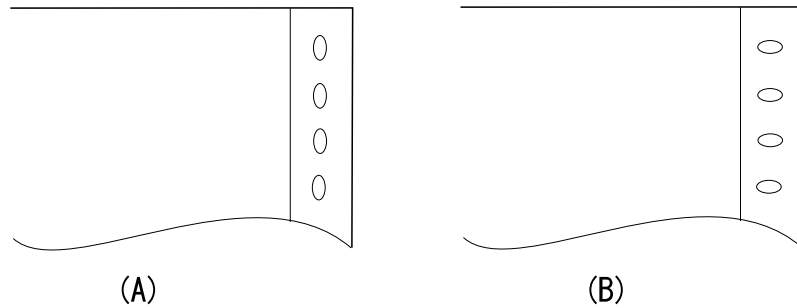
- 7** フロント・ドアを開けて用紙を矢印方向に引っ張り、用紙のたるみを取り除いてください。



- 8** 用紙の調整が完了したら、プラテン開閉レバーを手前に引いて紙送り部を閉じ、セット・カバーとフロント・ドアを閉めてください。

2.9.4 用紙張力の調整

用紙張力が適切かどうかは、印刷済み用紙の送り穴の形状で判断できます。印刷済み用紙の送り穴が以下の(A)または(B)の形状であるか調べてください。



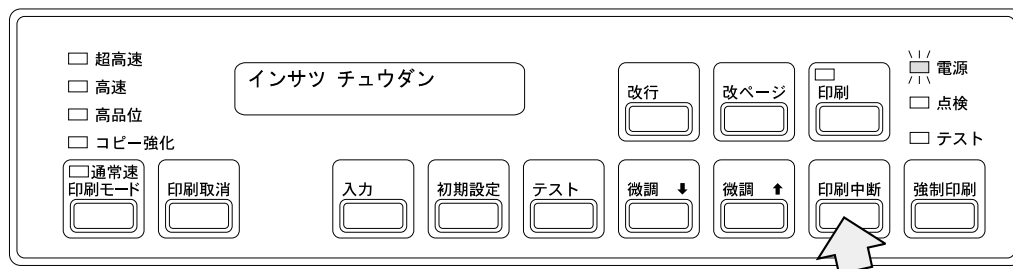
- A. 用紙送り穴が(A)のように縦に広げられている場合は、縦方向の張力が強すぎます。印字圧設定レバーの目盛りを1目盛り増してください。
- B. 用紙送り穴が(B)のように横方向に広げられている場合は、横方向の張力が強すぎます。右トラクターのロックを外し、トラクター位置を調整して用紙の張りをやや弱くしてください。

送り穴が縦にも横にも広がらず、用紙がたるまない状態が正常です。

2.10 テスト印刷

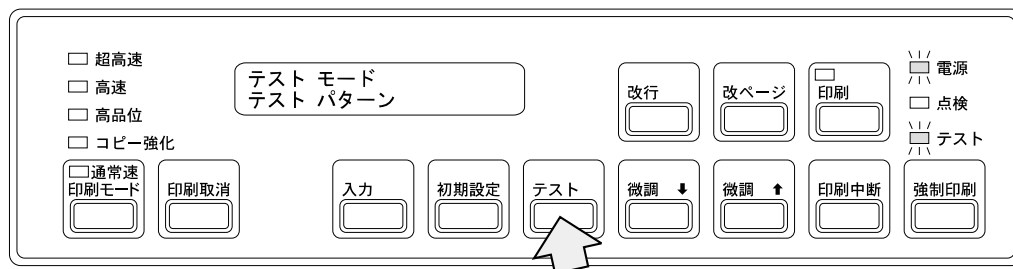
設置時、始業点検時、および印字品質が不良の場合にはテスト印字を行い、印刷機能や印字品質を確認します。テスト印字の手順は以下のとおりです。

- 1 印刷ライトが点灯していたら、**印刷中断** を押し、印刷ライトを消してください。



- 2 セットされている印刷用紙が15インチ幅の用紙であることを確認してください。幅の狭い用紙がセットされていたら、15インチ幅の用紙と交換してください。（2.6、『印刷用紙の取り外しとセット』参照）

- 3 **テスト** を押してください。テスト・ライトが点灯し、メッセージ表示部に以下のメッセージが表示されます。

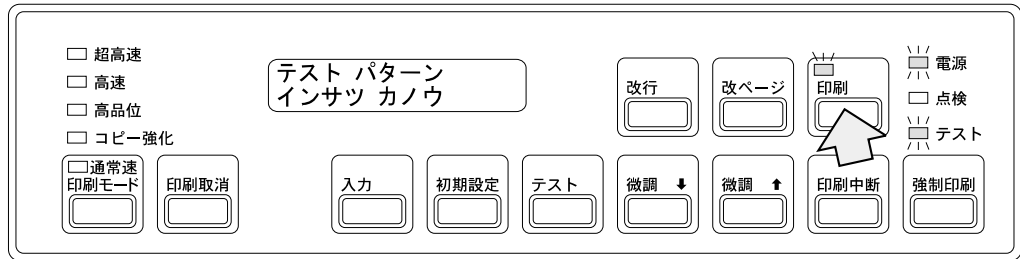


注: この状態で **微調** または **微調** を押すと、次のメッセージに変わります。

テスト モード
ゼンモジ インサツ

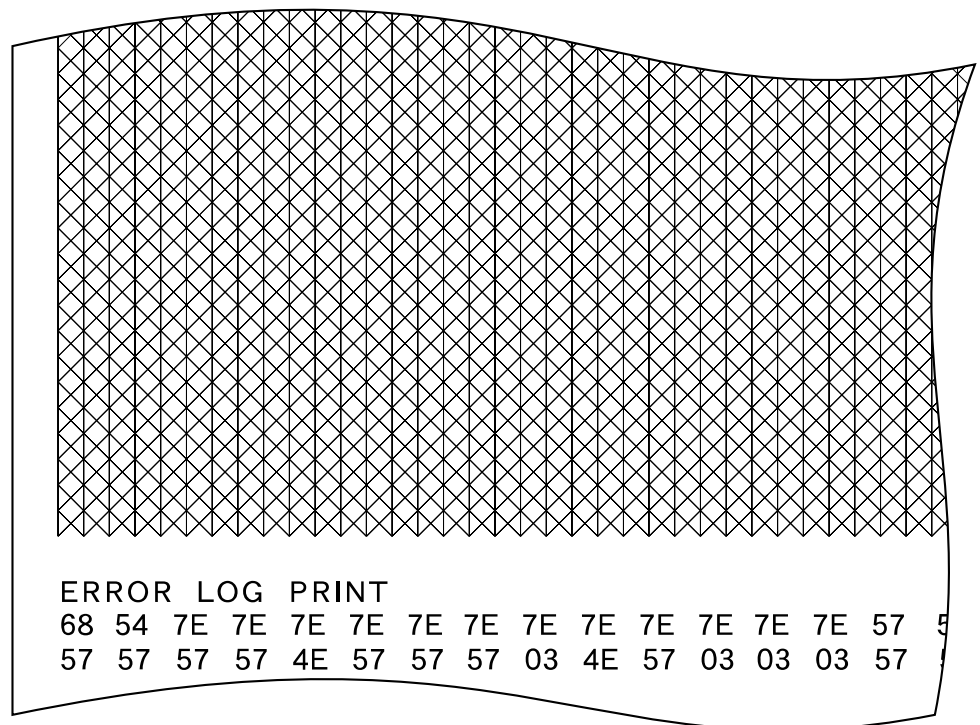
ここで **印刷** を押すと、現在設定されているエミュレーションでの全文字が印刷されます。テストを終了させるときは、**印刷中断** を押してから **印刷取消** を押してください。

4 **印刷** を押してください。印刷ライトが点灯し、テスト・パターンが印字されます。



注: テスト印字は長さ11インチ(279mm)の用紙1ページ分を印字すると自動的に停止します。テスト印字を途中で中止させるときは**印刷中断**を押してください。ただし、テスト印字を途中で中止させると、先頭行位置がずれます。

5 下のテスト・パターンを参考に印字品質を確認してください。不良であれば第3章、『故障回復手順』に進んでください。



6 **印刷中断** を押してから **印刷取消** を押し、テストを終了してください。

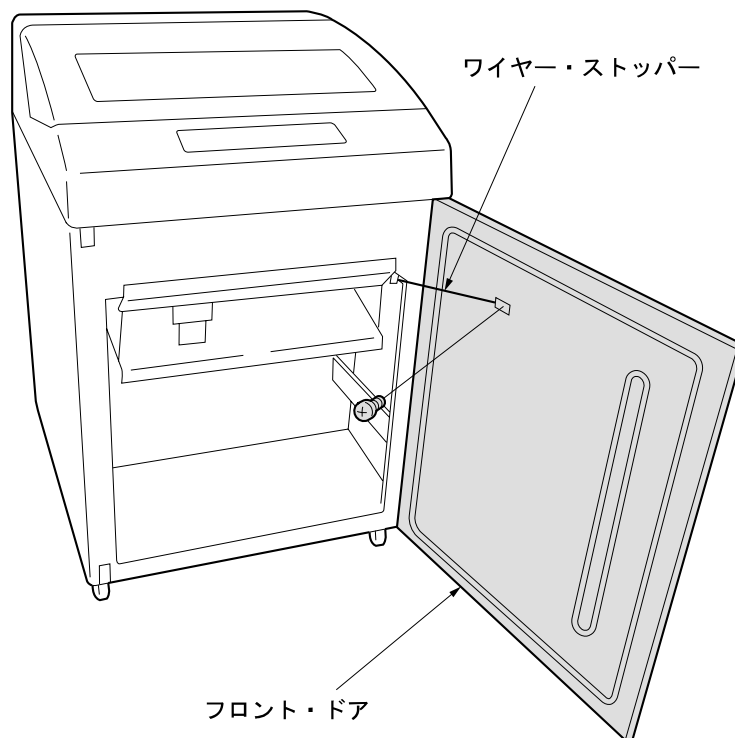
2.11 ドア開閉方向の変更

フロント・ドアおよびリア・ドアは、ヒンジ部分を取り換えることによってお客様が開閉方向を変えることができます。

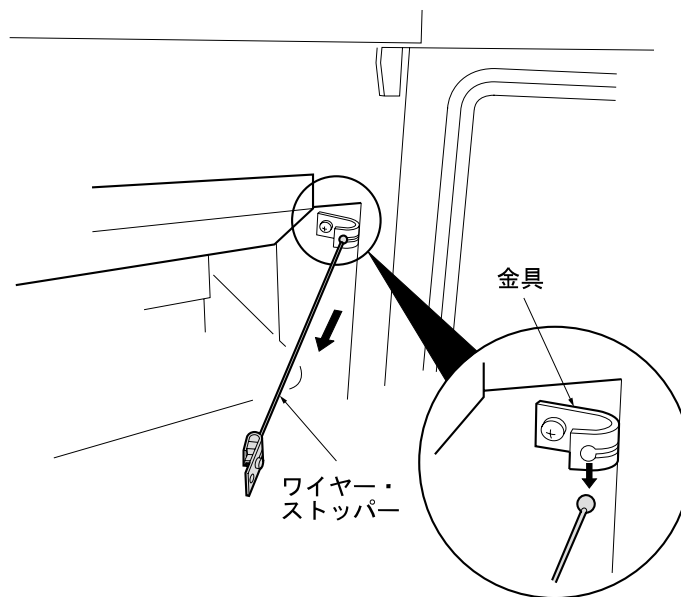
注: プラス・ドライバー (2号) を使いますのでご注意ください。作業中は、ネジを紛失しないように注意してください。

2.11.1 フロント・ドアの変更

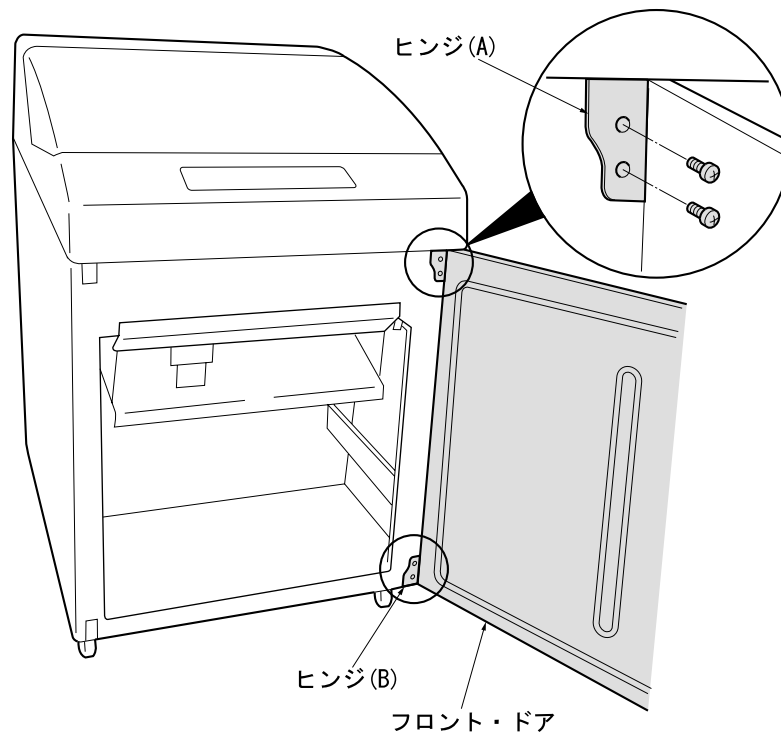
- 1 電源を切ってください。
- 2 フロント・ドアを開けてください。
- 3 ネジを外してワイヤー・ストッパーを固定しているフロント・ドア側の金具を外してください。



4 図のように金具からワイヤー・ストッパーを取り外してください。

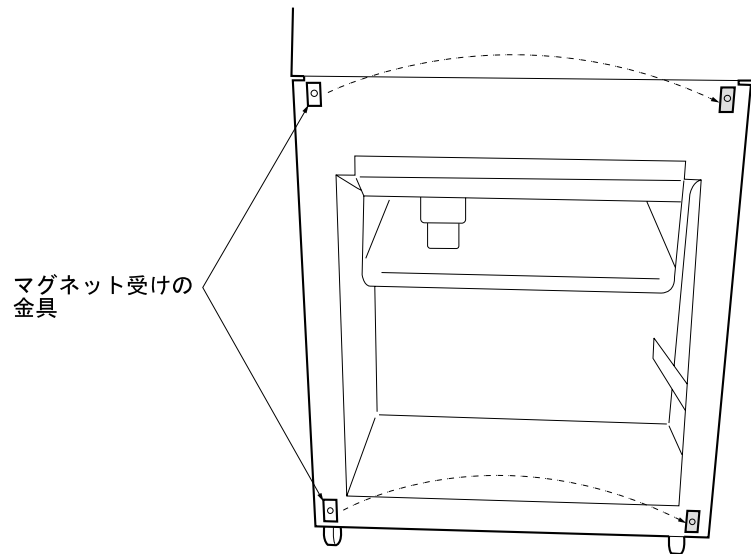


5 フロント・ドアをささえながら、2本のネジを外して上部のヒンジ(A)とフロント・ドアを取り外してください。

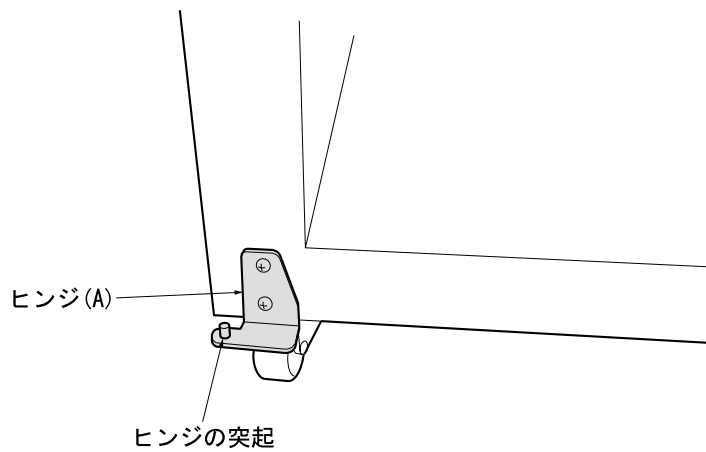


6 同様に2本のネジを外して下部のヒンジ(B)を取り外してください。

7 マグネット受けの金具 (ネジ1本で固定) を外して反対側に付け替えてください。

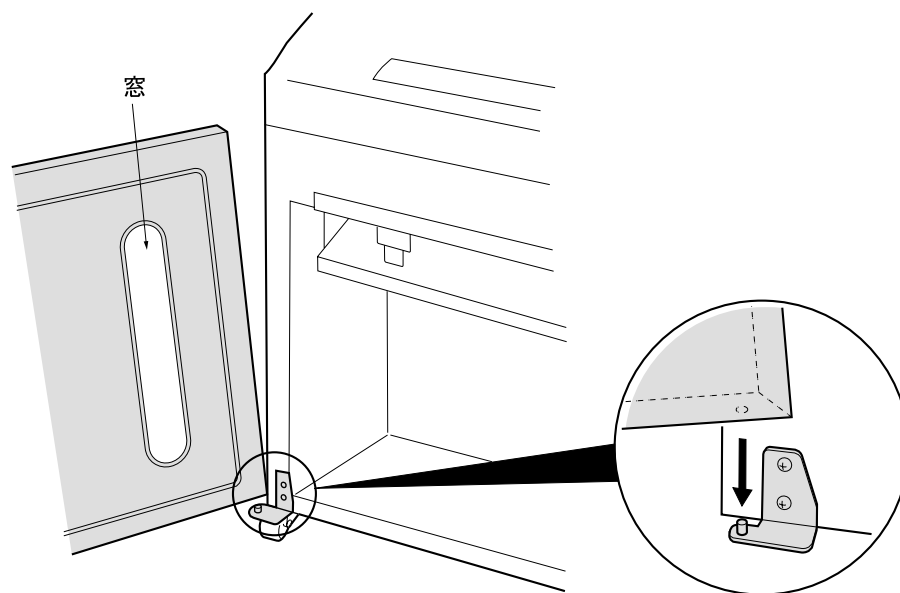


8 ヒンジ(A) を反対側の下部に2本のネジで固定してください。このとき、ヒンジの突起が左側にくることを確認してください。

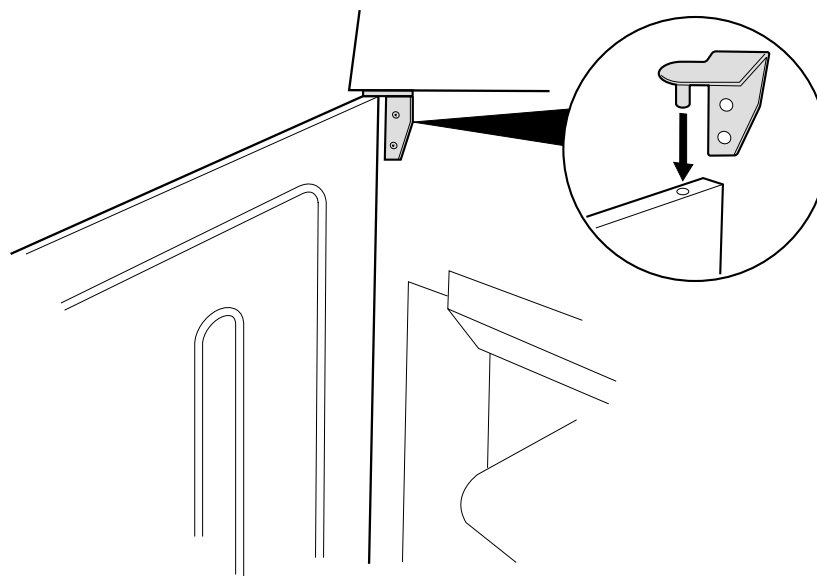


9 下側のヒンジの突起に、フロント・ドアの下側の穴をはめ込んでください。

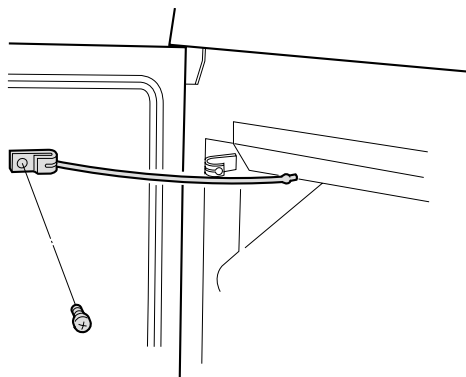
注: フロント・ドアを閉めたとき、窓が左側になるようにします。



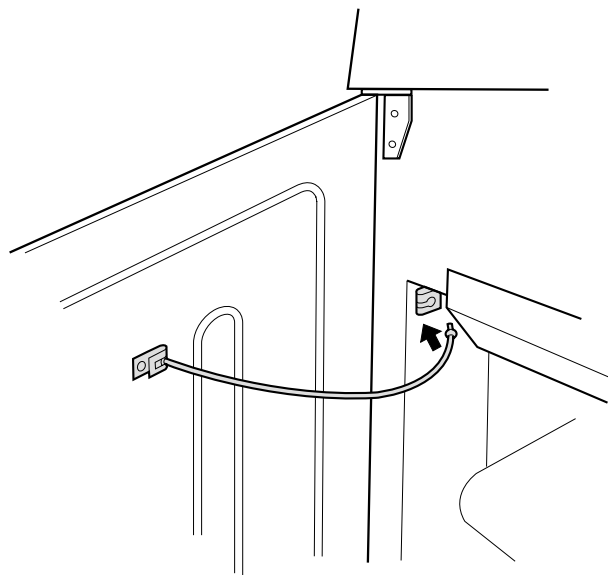
10 フロント・ドア上側の穴にヒンジ(B)の突起を差し込み、2本のネジでヒンジを固定してください。



- 11** ステップ3、4で取り外したワイヤー・ストッパーの金具を図のように反対側に取り付けてください。



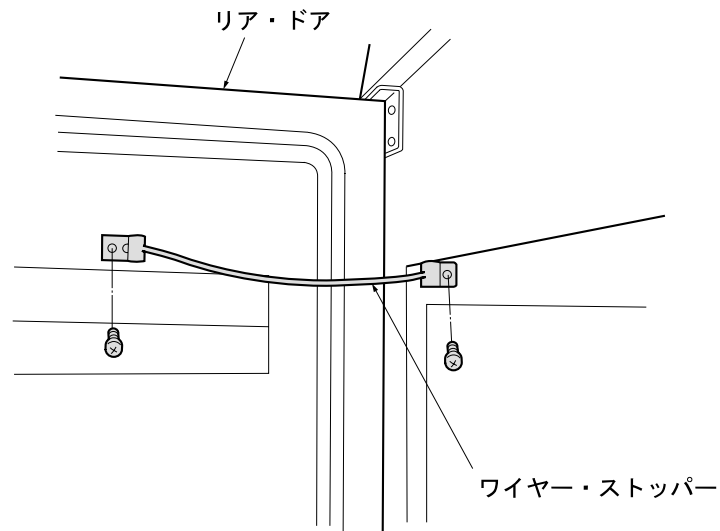
- 12** ワイヤー・ストッパーの先端を図のように金具の穴に入れてください。



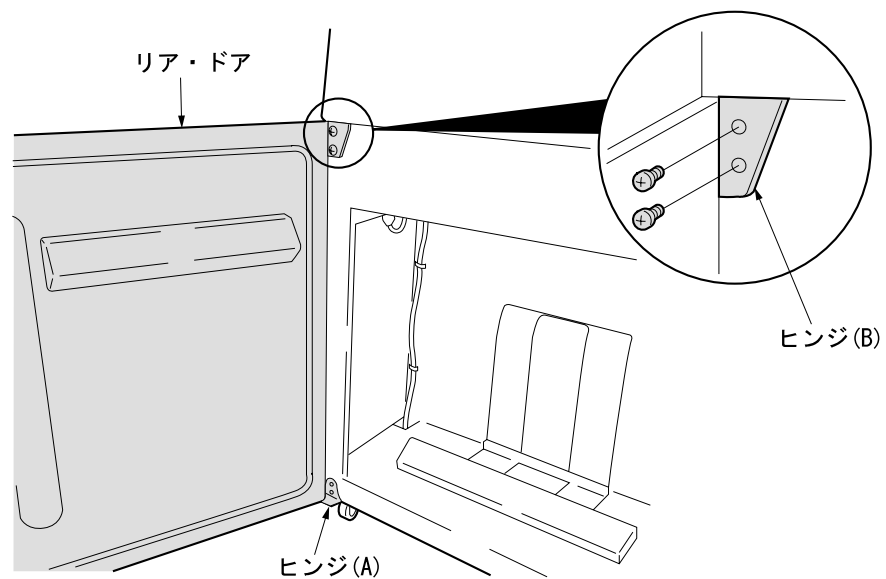
以上でフロント・ドアの開閉方向の変更は終了です。フロント・ドアがスムーズに開閉できることを確認してください。スムーズに開閉できない場合はヒンジの固定位置を調整してください。

2.11.2 リア・ドアの変更

- 1 電源を切ってください。
- 2 リア・ドアを開けてください。
- 3 2本のネジを外してワイヤー・ストッパーの金具(2個)を外してください。

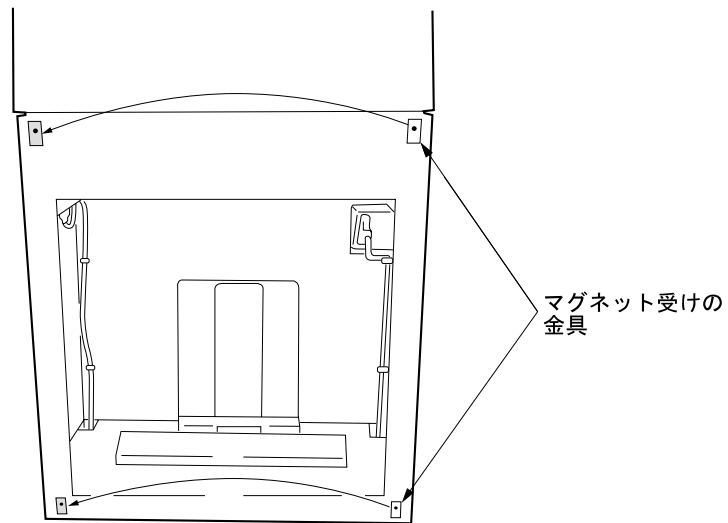


- 4 リア・ドアをささえながら、2本のネジを外して、上部のヒンジ(B)とリア・ドアを取り外してください。

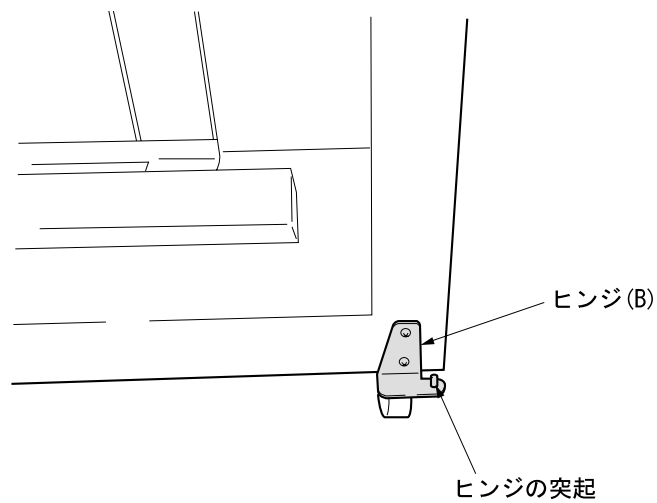


- 5 同様に2本のネジを外して下部のヒンジ(A)を取り外してください。

6 マグネット受けの金具を外して反対側に付け替えてください。

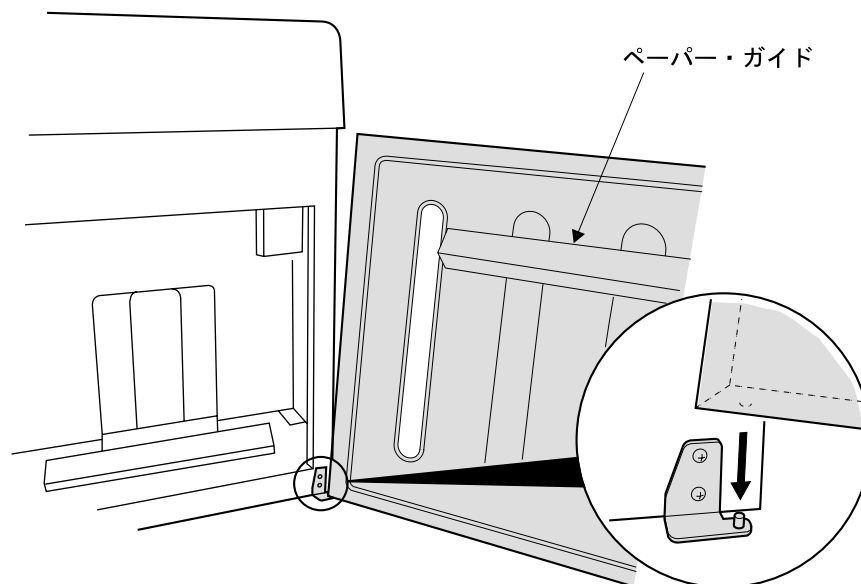


7 ヒンジ(B) を反対側の下部に2本のネジで固定してください。このとき、ヒンジの突起が右側にくることを確認してください。

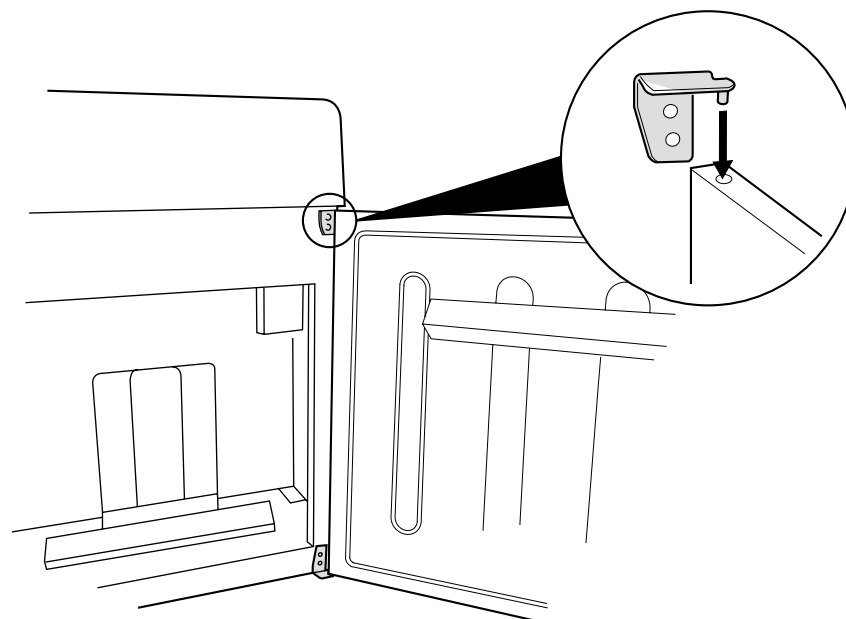


8 下側のヒンジの突起に、リア・ドアの下側の穴をはめ込んでください。

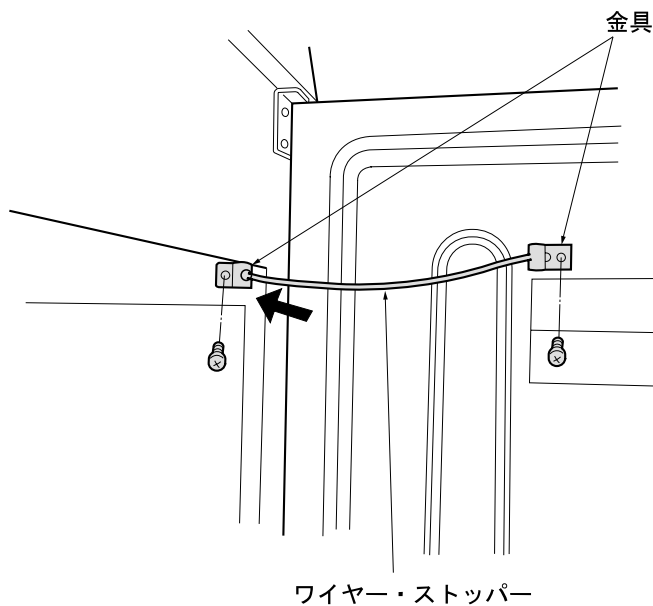
注: このとき、リア・ドアのペーパー・ガイドが上部にくることを確認してください。



9 リア・ドア上側の穴にヒンジ(A)の突起を差し込み、2本のネジで固定してください。



- 10** ワイヤー・ストッパーの金具をネジで固定してください。その後、ワイヤー・ストッパーの先端を図のように金具の穴に入れてください。



以上でリア・ドアの開閉方向の変更は終了です。リア・ドアがスムーズに開閉できることを確認してください。スムーズに開閉できない場合はヒンジの固定位置を調整してください。

2.12 初期設定

IBM 5400-006では、操作パネルの初期設定スイッチと入力スイッチを使って、印刷モード、フォント・スタイル（字体）などをあらかじめ設定できます。

2.12.1 初期設定で使用するスイッチとその機能

以下に初期設定で使用するスイッチについて説明しています。

スイッチ	機能
初期設定	<ul style="list-style-type: none"> 初期設定モードに入ります。 初期設定項目を選択します。スイッチを押すごとに、初期設定項目の一覧表の項番の順に初期設定項目が表示されます。
微調	<ul style="list-style-type: none"> 初期値を選択します。スイッチを押すごとに、初期値の一覧表の順に初期値が表示されます。
微調	<ul style="list-style-type: none"> 初期値を選択します。スイッチを押すごとに、初期値の一覧表と逆の順に初期値が表示されます。
入力	<ul style="list-style-type: none"> 現在表示されている初期設定項目の初期値を書き込むことを決定します。ただし、この時点では、実際の書き込み動作は行いません。 変更する初期設定項目を選択/変更します。
印刷取消	<ul style="list-style-type: none"> 初期設定を終了します。 終了時、初期値が変更されていればIBM 5400-006のメモリーに書き込みます。書き込み中は、「シヨキセツテイカキコミチュウ シバラクオマチクダサイ」が表示されます。 <p>注: 入力 で書き込みが選択されている場合、IBM 5400-006のメモリーに初期値を書き込んだあと自己診断テストに入ります。書き込みが選択されていない場合は、初期設定 が押される前の状態に戻ります。</p>
改行	<ul style="list-style-type: none"> 初期設定項目を選択します。スイッチを押すごとに、初期設定項目の一覧表と逆の順に初期設定項目が表示されます。

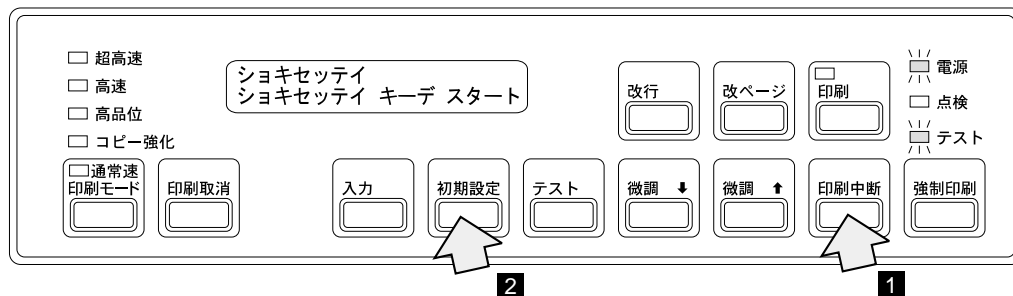
2.12.2 初期設定の手順例

以下に、初期設定の手順例を示します。

ここでは、印刷モードを通常速モードから高速モードに設定変更するものとします。

注：ここで使用される各スイッチの機能については、2-66ページの2.12.1、『初期設定で使用するスイッチとその機能』を参照してください。

- 1** **印刷中断** を押してから、**初期設定** を押してください。次のメッセージが表示されます。



もう一度、**初期設定** を押すと初期設定がはじまります。

メッセージの上段は初期設定項目を表し、下段は初期値を表します。

- 初期設定項目を変えるには、**初期設定** を押します。**改行** を押すと前の初期設定項目になります。
- 初期値を変えるには、**微調** または **微調** を押します。

- 2** **初期設定** を押して、設定を変更したい初期設定項目を表示させます。

初期設定 を押すごとに、表示パネルの上段の初期設定項目が変わります。印刷モードの変更をするので「インサツ モード」を表示させてください。

すでに何れかの初期値に設定されていますが、ここでは通常速モードに設定されているので、次のメッセージが表示されます。

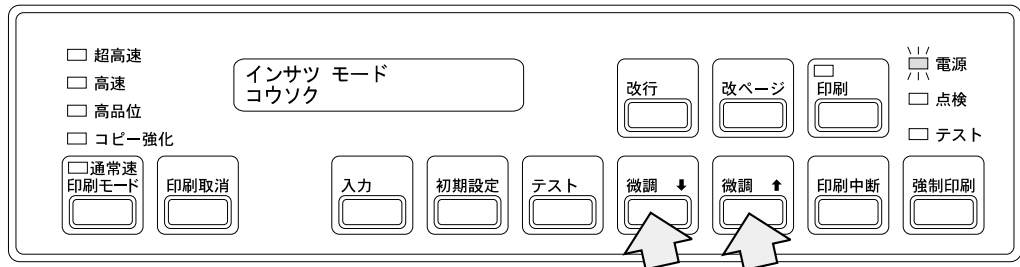
インサツ モード
ツウジョウソク

注：表示パネル上の初期設定項目は2-69ページの2.12.3、『初期設定項目』を参照してください。

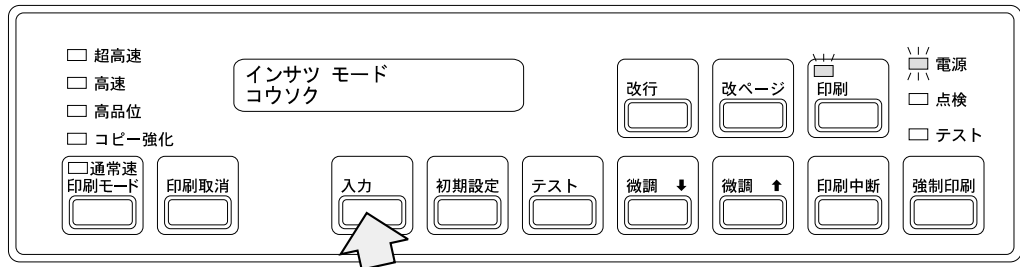
3 **微調** または **微調** を押して、初期値を表示させます。

微調 または **微調** を押すごとに、表示パネルの下段の初期値が変わります。高速モードを設定しますので「コウソク」が表示されたところで微調スイッチを押すのを止めます。

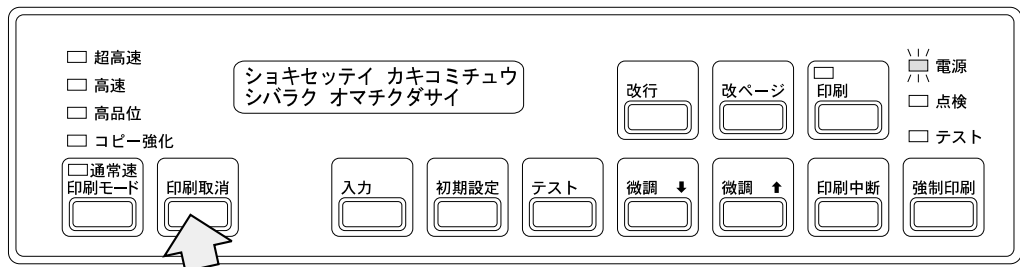
注：表示パネル上の初期値は、2-69ページの2.12.3、『初期設定項目』を参照してください。



4 設定する初期設定項目と初期値を合わせたら **入力** を押し、初期値を5400-006のメモリーに書き込むことを決定します。このとき、印刷ライトが点灯します。



5 変更内容を実際にプリンターのメモリーに書き込むため、**印刷取消** を押します。メッセージ表示部は以下のように変わります。



初期設定が終了すると、5400-006は電源を入れた直後の状態に戻ります。しばらくお待ちください。（2-10ページの2.3.1、『電源オン』を参照）

2.12.3 初期設定項目

初期設定が開始されると、最初に共通のインターフェース設定項目が表示されます。

標準モデルの場合:

- パラレル・ポートを選択すると、パラレル・ポートに共通な設定項目に移り、さらに共通項目で選択されたエミュレーション・モードの設定項目に進みます。
- システム・ポートを選択すると、システム・ポートの設定項目に進みます。

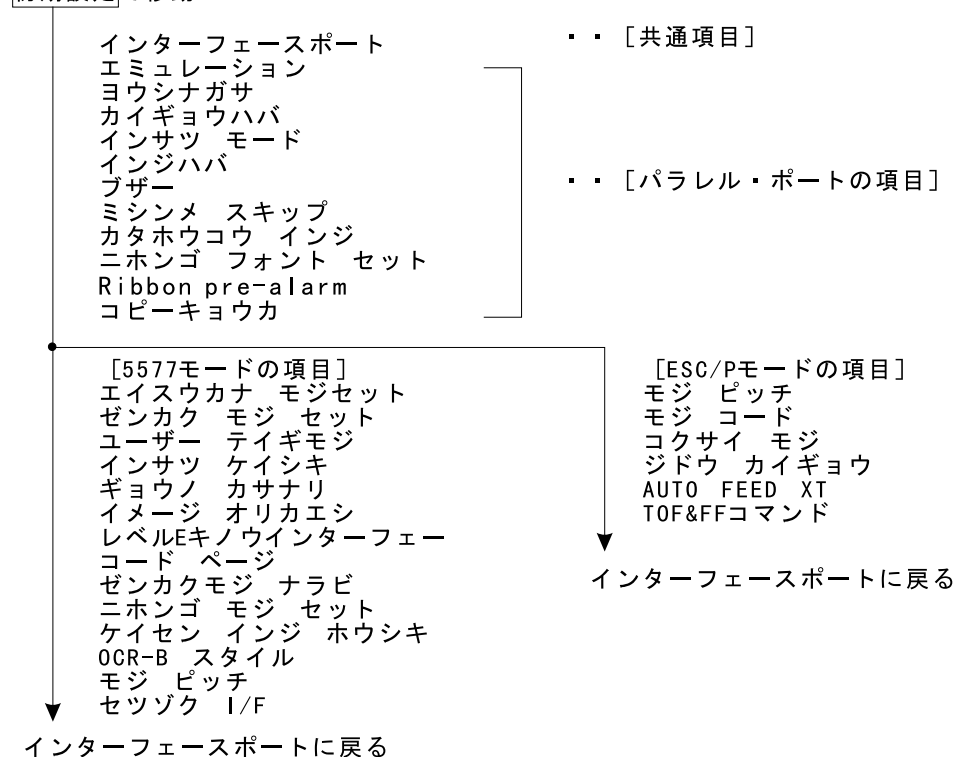
LAN フィーチャーの場合:

- TELNET5250 を選択すると、Telnet5250の設定項目に進みます。
- LPRおよびパラレル・ポートを選択すると、パラレル・ポート/LPRの共通項目に移り、さらに共通項目で選択されたエミュレーション・モードの設定項目に進みます。

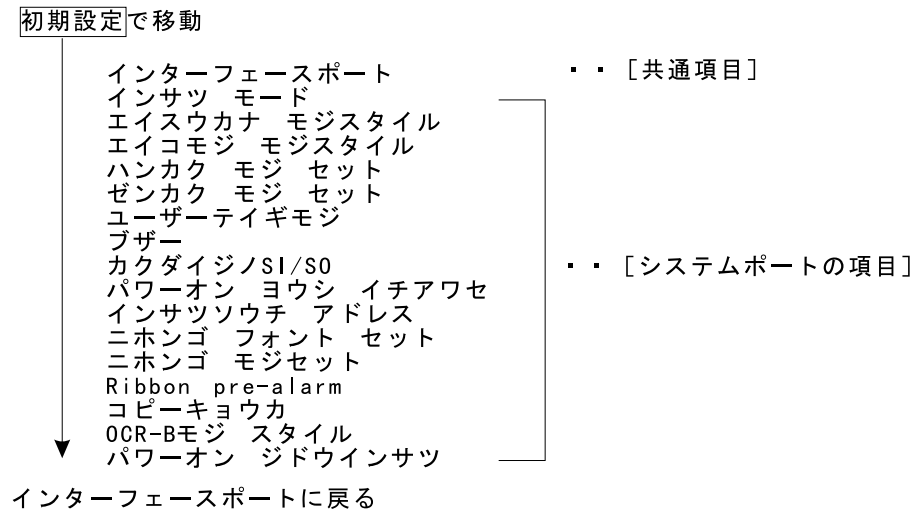
構成図

インターフェース・ポートでパラレル・ポート接続選択の場合

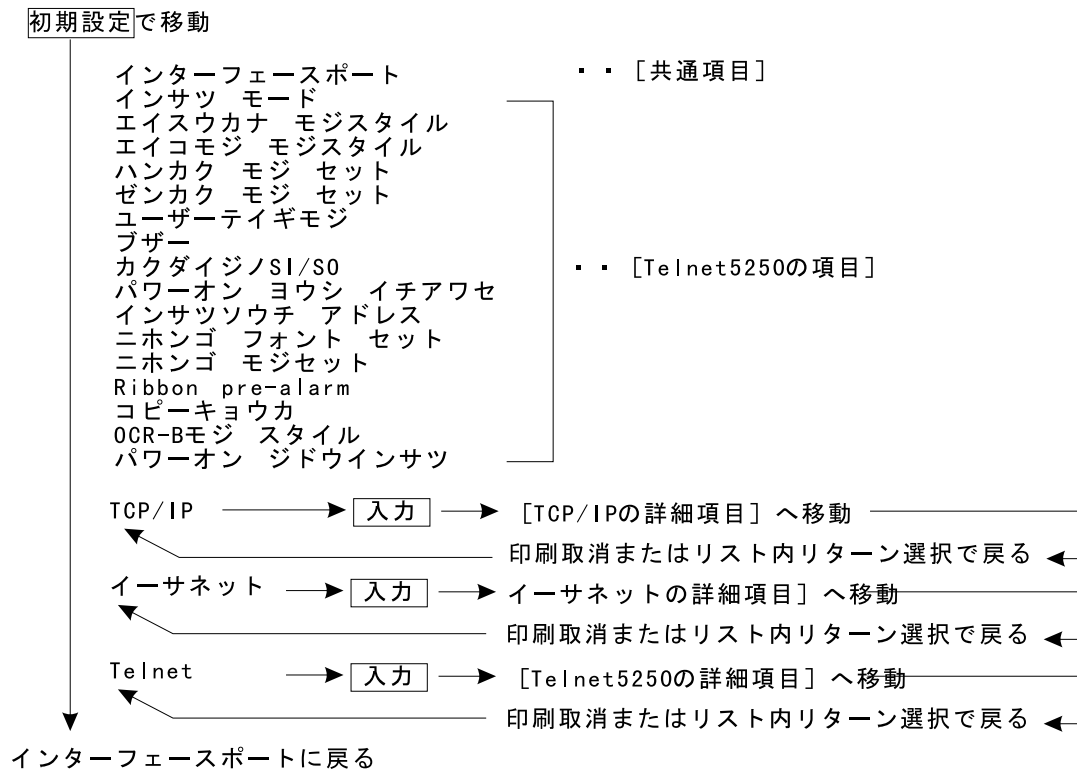
初期設定で移動



インターフェース・ポートでシステム・ポート接続選択の場合



インターフェース・ポートで Telnet5250 接続選択の場合

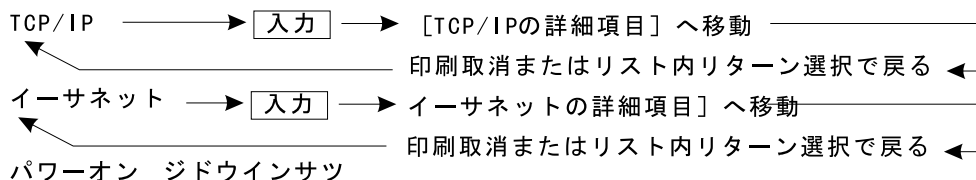


インターフェース・ポートで LPR 接続選択の場合

初期設定で移動

- | | |
|------------------|--------------|
| インターフェースポート | ・ ・ [共通項目] |
| エミュレーション | |
| ヨウシナガサ | |
| カイギョウハバ | |
| インサツ モード | |
| インジハバ | |
| ブザー | ・ ・ [LPRの項目] |
| ミシンメ スキップ | |
| カタハウコウ インジ | |
| ニホンゴ フォント セット | |
| Ribbon pre-alarm | |
| コピーキョウカ | |

- | | |
|---------------|---------------|
| [5577モードの項目] | [ESC/Pモードの項目] |
| エイスイカナ モジセット | モジ ピッチ |
| ゼンカク モジ セット | モジ コード |
| ユーザー テイギモジ | コクサイ モジ |
| インサツ ケイシキ | ジドウ カイギョウ |
| ギョウノ カサナリ | AUTO FEED XT |
| イメージ オリカエシ | TOF&FFコマンド |
| レベルEキノウ | |
| コード ページ | |
| ゼンカクモジ ナラビ | |
| ニホンゴ モジ セット | |
| ケイセン インジ ホウシキ | |
| OCR-B スタイル | |
| モジ ピッチ | |
| セツゾク I/F | |



パワーオン ジドウインサツ
インターフェースポートに戻る

初期設定

以下に初期設定の項目の一覧表を示します。下線のあるのが出荷時の設定です。

共通項目

表示パネル 上段		意味	表示パネル 下段	意味
項番	初期設定項目		初期値	
1	インターフェース ポート	インターフェース	パラレル ポート <u>システム ポート</u>	パラレル・ポート <u>システム・ポート</u>
1	インターフェース ポート (LAN フィーチャー)	インターフェース	<u>TELNET5250</u> LPR パラレル ポート	<u>Telnet5250</u> LPR パラレル・ポート

パラレル・ポート/LPRの項目

表示パネル 上段		意味	表示パネル 下段	意味
項番	初期設定項目		初期値	
1	エミュレーション	エミュレーション	<u>5577</u> ESC/P	<u>5577モード</u> ESC/Pモード
2	ヨウシナガサ	用紙長さ (ページ長)	3インチ 3 2/3インチ 4インチ 4.5インチ 5インチ 5.5インチ 5 2/3インチ 6インチ 7インチ 8インチ 8.5インチ 9インチ 10インチ <u>11インチ</u> 12インチ 14インチ	3インチ (76mm) 3 2/3インチ (93mm) 4インチ (102mm) 4.5インチ (114mm) 5インチ (127mm) 5.5インチ (140mm) 5 2/3インチ (144mm) 6インチ (152mm) 7インチ (178mm) 8インチ (203mm) 8.5インチ (216mm) 9インチ (229mm) 10インチ (254mm) <u>11インチ (279mm)</u> 12インチ (305mm) 14インチ (356mm)
3	カイギョウハバ	改行幅	2 LPI 3 LPI 4 LPI 5 LPI <u>6 LPI</u> 7.5 LPI 8 LPI	2 lpi : 1/2インチ(12.7mm) 3 lpi : 1/3インチ(8.5mm) 4 lpi : 1/4インチ(6.4mm) 5 lpi : 1/5インチ(5.1mm) <u>6 lpi : 1/6インチ(4.2mm)</u> 7.5 lpi : 1/7.5インチ(3.4mm) 8 lpi : 1/8インチ(3.2mm)
4	インサツ モード	印刷モード	<u>ソウジョウソク</u> コピーキョウカ コウヒンイ コウソク チョウコウソク コピーキョウカ+コウヒンイ コピーキョウカ+コウソク コピーキョウカ+チョウコウソク	<u>通常速モード</u> コピー強化モード 高品位モード 高速モード 超高速モード コピー強化 + 高品位モード コピー強化 + 高速モード コピー強化 + 超高速モード
5	インジハバ	最大印字幅	サイダイ8インチ <u>サイダイ13.2インチ</u> サイダイ13.6インチ	最大8インチ <u>最大13.2インチ</u> 最大13.6インチ

表示パネル 上段		意味	表示パネル 下段	意味
項番	初期設定項目		初期値	
6	ブザー	ブザー	レンゾクオン カンケツオン ナラナイ	連続音 間欠音 鳴らない
7	ミシンメ スキップ	ミシン目スキップ	スキップ シナイ スキップ スル	スキップしない スキップする
8	カタホウコウ インジ	片方向印字 コマンド受付	ウケツケル ウケツケナイ	コマンドを受け付ける コマンドを受け付けない
9	ニホンゴ フォント セット	日本語フォントセット	ミンチョウ (注) ヘイセイミンチョウ	明朝体 平成明朝体
10	Ribbon pre-alarm	リボン交換表示までの 印字回数	50% . . 100% . . 200%	正規の50% . 10%刻み . 100% . . 正規の200%
11	コピーキョウカ	コピー強化	ヒョウジュン チュウ キョウ ダンサシ ダンサシ キョウ	標準 中 強 段差紙 段差紙 強

注:

1. パラレル・ポートとLPRの初期設定項目は同じです。
2. 設定項番2のエミュレーションで、5577 に設定した場合は「ミンチョウ」が選択され、ESC/P に設定した場合は「ヘイセイミンチョウ」が選択されます。

初期設定

5577モードの項目

表示パネル 上段		意味	表示パネル 下段	意味
項番	初期設定項目		初期値	
1	エイヌカナ モジセット	英数カナ文字セットの フォント・スタイル	<u>ミンチョウ (12CPI)</u> ミンチョウ (10CPI) ミンチョウ (タカサ18ドット) ゴシック OCR-B ヨコハバシユクショウモジ クーリエ エリート DP ゴシック	<u>明朝体 (12 cpi)</u> 明朝体 (10 cpi) 明朝体 (高さ18ドット) ゴシック OCR-B コンデンス (18 cpi) クーリエ エリート DP ゴシック
2	ゼンカク モジ セット	全角文字高さ	<u>タカサ24ドット</u> タカサ18ドット	<u>高さ24ドット</u> 高さ18ドット
3	ユーザー テイギモジ	ユーザー定義文字高さ	<u>タカサ24ドット</u> タカサ18ドット	<u>高さ24ドット</u> 高さ18ドット
4	インサツ ケイシキ	印刷形式	<u>ヨコガキ</u> タテガキ	<u>横書き</u> 縦書き
5	ギョウノ カサナリ	行の重なり	<u>サクジョシテ インサツ</u> カサネテ インサツ	<u>削除して印刷</u> 重ねて印刷
6	イメージ オリカエシ	イメージ折り返し	<u>オリカエス</u> オリカエサナイ	<u>イメージ折り返す</u> イメージ折り返さない
7	レベルEキノウ	レベルE機能	<u>セツテイ</u> カイジョ	<u>レベルE設定</u> レベルE解除
8	コード ページ	コード・ページ	<u>932</u> 942 943	<u>コード・ページ932</u> コード・ページ942 コード・ページ943
9	ゼンカクモジ ナラビ	全角文字並び	<u>キュウJIS</u> シンJIS	<u>旧 JIS</u> 新 JIS
10	ニホンゴ モジ セット	IBM日本語文字セット	<u>90 ネンカイトイ テキヨウナシ</u> 90 ネンカイトイ テキヨウアリ	<u>90年改訂を適用しない</u> 90年改訂を適用する
11	ケイセン インジ ホウシキ	罫線印字方式	<u>5577-F01</u> 5577-F02	<u>5577-F01</u> 5577-F02
12	OCR-B スタイル	OCR-Bスタイル	<u>5327/5427 スタイル 1</u> スタイル 3	<u>5327/5427 スタイル 1</u> スタイル 3
13	モジ ピッチ	文字ピッチ	10CPI 12CPI 13.3CPI 15CPI <u>PC コマンド</u>	10 cpi 指定 12 cpi 指定 13.3 cpi 指定 15 cpi 指定 <u>PC コマンド指定</u>
14	セツゾク I/F	パラレル・ポート I/F	<u>PS/55</u> PS/2	<u>PS/55</u> PS/2

ESC/Pモードの項目

表示パネル 上段		意味	表示パネル 下段	意味
項番	初期設定項目		初期値	
1	モジ ピッチ	文字ピッチ	10 CPI 12 CPI 15 CPI 17.1 CPI 20 CPI PROPORTIONAL	10 cpi 指定 12 cpi 指定 15 cpi 指定 17.1 cpi (10 cpi 縮小) 20 cpi (12 cpi 縮小) プロポーショナル指定
2	モジ コード	文字コード	<u>カタカナ</u> カクチョウ グラフィックス	<u>カタカナ・コード</u> 拡張グラフィックス・コード
3	コクサイ モジ	国際文字	USA FRANCE GERMANY UK DENMARK 1 SWEDEN ITALY SPAIN 1 JAPAN NORWAY DENMARK 2 SPAIN 2 LATIN AMERICA KOREA LEGAL	USA フランス ドイツ イギリス デンマーク スウェーデン イタリア スペイン <u>日本</u> ノルウェー デンマークII スペインII ラテンアメリカ 韓国 リーガル
4	ジドウ カイギョウ	自動改行	オフ オン	<u>自動改行しない</u> 自動改行する
5	AUTO FEED XT	AUTO FEED XT	DISABLE ENABLE	AUTO FEEDを行わない AUTO FEEDを行う
6	TOF&FFコマンド	TOF での FF コマンド の実行	ENABLE DISABLE	<u>コマンドを実行する</u> コマンドを実行しない。

システム・ポート/Telnet5250の項目

表示パネル 上段		意味	表示パネル 下段	
項番	初期設定項目		初期値	意味
1	インサツ モード	印刷モード	ツウジョウソク コピーキョウカ コウヒンイ コウソク チョウコウソク コピーキョウカ+コウヒンイ コピーキョウカ+コウソク コピーキョウカ+チョウコウソク	通常速モード コピー強化モード 高品位モード 高速モード 超高速モード コピー強化+高品位モード コピー強化+高速モード コピー強化+超高速モード
2	エイスウカナ モジスタイル	英数カナ文字セットの フォント・スタイル	ミンチョウ (12CPI) ミンチョウ (10CPI) ミンチョウ (タカサ 18ドット) ゴシック OCR-B タテガキ ヨコハバシユクショウモジ クーリエ エリート	明朝体 12 cpi 用 明朝体 10 cpi 用 明朝体高さ 18ドット用 ゴシック OCR-B 縦書き用 1バイト文字 コンデンス印刷用 (18 cpi) クーリエ エリート
3	エイコモジ モジスタイル	英数小文字セットの フォント・スタイル	ミンチョウ (12CPI) ミンチョウ (10CPI) ミンチョウ (タカサ 18ドット) ゴシック OCR-B タテガキ ヨコハバシユクショウ クーリエ エリート	
			明朝体 12 cpi 用 明朝体 10 cpi 用 明朝体高さ 18ドット用 ゴシック OCR-B 縦書き用 1バイト文字 コンデンス印刷用 (18 cpi) クーリエ エリート	
4	ハンカク モジ セット	半角 (EBICDIC) 文字 セット	エイスウカナ モジ セット エイ コモジ セット	英数カナ文字セット 英数小文字セット
5	ゼンカク モジ セット	全角文字の高さ	タカサ 24ドット タカサ 18ドット	高さ 24ドット 高さ 18ドット
6	ユーザーテイギモジ	全角文字高さ 18ドット 選択時のユーザー定義 文字の扱い	タカサ 24ドット タカサ 18ドット	高さ 24ドット 高さ 18ドット
7	ブザー	ブザー音	レンゾクオン カンケツオン ナラナイ	連続音 間欠音 鳴らない
8	カクダイジノSI/SO	文字の拡大時の SI/SOの処理	カクダイ スル カクダイ シナイ	拡大する 拡大しない

表示パネル 上段		意味	表示パネル 下段	意味
項番	初期設定項目		初期値	
9	パワーオン ヨウシ イチアワセ	POR時の用紙位置調整	<u>OFF</u> 6 LPI (6ドット) 4 LPI (21ドット) 3 LPI (36ドット) 2 LPI (66ドット)	<u>調整しない</u> 6 lpi に調整 4 lpi に調整 3 lpi に調整 2 lpi に調整
10	インサツソウチ アドレス (システム・ポート)	印刷装置アドレス	<u>0</u> 1 2 3 4 5 6	<u>アドレス0</u> 1 2 3 4 5 6
11	ニホンゴ フォント セット	日本語フォントセット	<u>ミンチョウ</u> ヘイセイミンチョウ	<u>明朝体</u> 平成明朝体
12	ニホンゴ モジセット	IBM日本語文字セット	<u>90 ネンカイテイ テキヨウナシ</u> 90 ネンカイテイ テキヨウアリ	<u>90年改訂を適用しない</u> 90年改訂を適用する
13	Ribbon pre-alarm	リボン交換表示までの 印字回数	50% ・ ・ <u>100%</u> ・ ・ 200%	50% ・ 10%刻み ・ <u>100%</u> ・ ・ 200%
14	コピーキョウカ	コピー強化	ヒョウジュン チュウ キョウ ダンサシ ダンサシ キョウ	標準 中 強 段差紙 段差紙 強
15	OCR-B モジ スタイル	OCR-B スタイル	<u>5327/5427 スタイル 1</u> スタイル 3	<u>5327/5427 スタイル 1</u> スタイル 3
16	パワーオン ジドウインサツ	Power On 自動印刷 (システム・ポート)	<u>オフ</u> オン	<u>印刷不可</u> 印刷可能
16	パワーオン ジドウインサツ	Power On 自動印刷 (Telnet5250)	<u>オフ</u> オン (5 フン) オン (10 プン) オン (15 フン) オン (20 プン) オン (25 フン) オン (30 プン)	<u>オフ</u> 5分毎に接続 10分毎に接続 15分毎に接続 20分毎に接続 25分毎に接続 30分毎に接続

TCP/IP の詳細項目 (Telnet5250/LPR)

表示パネル 上段		意味	表示パネル 下段	
項番	初期設定項目		初期値	意味
1	インサツソウチ	印刷装置名	<u>PRINTERNAME</u> A~Z a~z 0~9 - / @ # \$	英大文字のA~Z、 英小文字a~z、数字0~9 ならびに記号 "-","/","@","#","\$"が 入力可能です。
2	IP アドレス	印刷装置の IP アドレス	<u>192.168.1.4</u> 0~9	0~9が入力可能です。
3	サブネット・マスク	ローカル・サブネット・ マスク	<u>255.255.255.0</u> 0~9	0~9が入力可能です。
4	デフォルト・ゲートウェイ・ アドレス	デフォルト・ ゲートウェイの IP アドレス	<u>192.168.1.1</u> 0~9	0~9が入力可能です。
5	リターン	リターン	ニュウリョクキーデ リターン	本項目を終了します。

イーサネットの詳細項目 (Telnet5250/LPR)

表示パネル 上段		意味	表示パネル 下段	
項番	初期設定項目		初期値	意味
1	MAC アドレス	MAC アドレス	イーサネットのMAC アドレス を表示	読取専用
2	リターン	リターン	ニュウリョクキーデ リターン	本項目を終了します。

Telnet5250 の詳細項目

表示パネル 上段		意味	表示パネル 下段	
項番	初期設定項目		初期値	意味
1	ホスト IP アドレス	AS/400 の IP アドレス	<u>表示なし</u>	0~9が入力可能です。
2	デバイスメイ	デバイス名	<u>表示なし</u> A~Z 0~9	A~Zと0~9が入力可能です。
3	ポートバンゴウ	TCP ポート番号	<u>23</u> 0~9	0~9が入力可能です。
4	IGC フィーチャー	IGC フィーチャー	ハイ <u>イイエ</u>	ハイ <u>イイエ</u>
5	ジュシンバッファー	受信バッファー	サイダイ <u>ヒョウジュン</u>	最大 標準
6	リターン	リターン	ニュウリョクキーデ リターン	本項目を終了します。

LPRの項目

表示パネル 上段		意味	表示パネル 下段	
項番	初期設定項目		初期値	意味
1	パワーオン ジドウインサツ	Power On 自動印刷	オフ オン	印刷不可 印刷可能

初期設定項目を項番順に説明します。

共通項目

1. インターフェース・ポート： ハードウェアの接続形式としてパラレル接続、システム接続、Telnet5250 (LAN フィーチャー)、LPR (LAN フィーチャー) を選択します。

パラレル・ポート:

IBM PC に接続して使用する場合に指定します。

システム・ポート:

IBM AS/400 に接続して使用する場合に指定します。

Telnet5250:

LAN 経由で IBM AS/400 に接続して使用する場合に指定します。

LPR:

LAN 経由で IBM PC、RS/6000 に接続して使用する場合に指定します。

パラレル・ポート/LPRの項目

2. エミュレーション： 印刷装置側で使用される制御コードを設定します。

5577モード: IBM 5577印刷装置と同じ制御コードが使われます。通常はこのモードで使用します。

ESC/Pモード: ESC/Pをエミュレートするモードです。このモードで使用するときには、ESC/Pプリンター・ドライバーを導入する必要があります。詳しくは、使用するオペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。

3. 用紙長さ： 改ページ時に送られる1ページ分の用紙の長さを設定します。連続紙モードで最小3インチ(76mm)から最大14インチ(356mm)まで設定することができます。

注: アプリケーションの用紙長と印刷する用紙の用紙長を合わせてください。

4. 改行幅： 1回の改行で送られる用紙の長さを設定します。設定値が6 lpiの場合は、1回の改行で1/6インチ(4.2mm)用紙が送られます。

5. 印刷モード： 印字速度、印字方式を選択します。

通常速: 通常の速さで印刷するモードです。

コピー強化: 複写紙の印字濃度を濃くするためにコピー強化の設定に従い印刷するモードです。

高品位: 片方向で印刷し、通常速モードよりきれいに印刷するモードです。

高速: 通常速より速く印字したいときに設定するモードです。印字品質は通常速より低下しますので、印字品質の問題となるアプリケーションでは、あらかじめ印字確認してお使いください。

超高速: 高速よりさらに速く印字したいときに設定するモードです。印字品質は高速よりさらに低下しますので、印字品質の問題となるアプリケーションでは、あらかじめ印字確認してお使いください。

コピー強化 + 高品位:
高品位でコピー強化の設定に従い印刷するモードです。

コピー強化 + 高速:
高速でコピー強化の設定に従い印刷するモードです。

コピー強化 + 超高速:
超高速でコピー強化の設定に従い印刷するモードです。

印刷モードの詳細については、2-16ページの2.5.3、『印刷モード』を参照してください。

6. 最大印字幅: 印刷できる水平方向の長さの最大値を選択します。

注: 初期設定で 13.6インチを指定していても、ソフトウェアがサポートしていないときは、13.6インチまで印字することはできません。

7. ブザー: 用紙切れ、用紙ジャム、プラテン開放時などに、ブザーを連続音か間欠音で鳴らすか、ブザーを鳴らさないかを選択します。

8. ミシン目スキップ: ミシン目を飛び越すかどうかを選択します。

注: ミシン目スキップをする場合は、初期設定値のページ長を使用している用紙の長さに合わせてください。

連続紙モードの場合のミシン目スキップとは、設定されているページ長で、用紙の後端から次のページの先頭行位置までスキップする機能です。スキップする量は、12.7mm (0.5インチ) です。

ミシン目スキップを選択すると、印字可能な上下方向の長さは短くなりますが、書式送り(改ページ)の制御コードが含まれない連続したページを印刷するときに、ミシン目に印字することを避けることができます。

注: ミシン目に印字すると故障の原因になることがあります。

9. 片方向印字: 片方向印字の制御コードを受け付けるかどうかを選択します。「ウケツケナイ」に設定した場合、使用しているソフトウェアによらず、両方向印字モードで印刷します。

10. 日本語フォント・セット: 印刷される日本語文字書体(明朝体または平成明朝体)を指定します。

注: 平成明朝体の書体は、(財)日本規格協会と使用許諾契約を締結して使用しているものです。なお、フォントの一部には、弊社でデザインした外字を含みません。

平成明朝体™ W3

11. Ribbon pre-alarm: リボンの交換を勧めるメッセージ表示までの印字文字数を 50% から 200%までの間で 10%刻みで設定します。

12. コピー強化: 複写紙印刷時のコピー濃度を向上させるための設定を選択します。詳しくは、2-16ページの『コピー強化印刷モード』を参照してください。

5577モードの項目

13. 英数カナ文字セットのフォント・スタイル： 9種類のフォントから選択できます。
14. 全角文字高さ： 全角文字の高さを設定します。高さ24ドットまたは高さ18ドットのどちらかを選択します。ただし、縦書きモードのときは高さ24ドットになります。
15. ユーザー定義文字高さ： 全角文字高さを18ドットに選択した場合に、ユーザー定義文字の印刷方法（18ドットまたは24ドット）を設定します。
- 注： 高さ18ドットのときは、ユーザー定義文字の上4ドットと下2ドットが空白で埋められて使用されます。高さ18ドットを選んだときは、上4ドットと下2ドットに文字をデザインしないように注意してください。
16. 印刷形式： IBM 5400-006は縦書き印刷も可能です。詳細は、4-22ページの4.4.5、『印刷形式（横書き、縦書き）』を参照してください。
17. 行の重なり： 7.5 lpiより狭い8 lpiを設定したときに、文字イメージの行の重なり処理を指定します。「削除して印刷」のときは、文字イメージの上部を削除します。「重ねて印刷」はそのまま重ねます。
18. イメージ折り返し： イメージ・データが最大印字位置を超えたときに、自動的に改行を実行して残りを印字するか、超えるデータを捨てるかを選択します。
19. レベルE機能： 使用するソフトウェアがレベルE機能に対応していない場合は、レベルE機能を解除してください。通常は必ず「レベルE設定」にしてください。
20. コード・ページ： 半角文字のコード・テーブルを設定します。コード・ページ932、942、または943のいずれかを選択します。
- 注： コード・ページ943が選択された場合、全角文字並びは新JISに、IBM日本語文字セットは「90年改訂適用有り」に選択固定されます。

21. 全角文字並び： JIS規格に従い、文字並びを選択します。
22. IBM日本語文字セット： IBM日本語文字セットに対する下記の90年改訂内容を適用するか否かを選択します。改訂内容は以下のとおりです。

文字コード	適用無し	適用有り
8C9D	拳	拳
8DD1	采	采
8F8C	曙	曙
91E1	黛	黛
91ED	啄	啄
9246	巽	巽
93B2	憧	憧
9541	柊	柊
9551	媛	媛
9651	鵬	鵬
9773	耀	耀
E0A0	燿	燿
928F	衷	衷
969A	繭	繭
EAA3	--	凜
EAA4	--	熙
E086	熙	熙
EAA4	熙	熙

文字追加
文字追加（旧 J I S）
（新 J I S）
（新 J I S）

従来のIBM日本語文字セットに対し、1990年のJIS X0208 改訂に対応して、上記2文字の追加および14文字の字形の変更を行ったものです。「適用無し」を選択した場合には、従来のIBM日本語文字セットが選ばれます。なお、上記の印刷結果は、日本語フォント・セット「明朝」が選ばれているときのみ得られます。

- 23. 罫線印字方式：罫線位置計算の切り上げか切り捨てを選択します。5577-F01方式にしてください。
- 24. OCR-B スタイル： スタイル1が使用できます。
- 25. 文字ピッチ： 印刷装置のCPIをPCからの制御命令に従うか、10/12/13.3/15CPIのいずれかに固定するかを選択します。固定するCPIの半分の文字ピッチが全角文字の文字ピッチとなります。
- 26. 接続インターフェース：パラレル・ポートの I/F を設定します。

ESC/Pモードの項目

- 13. 文字ピッチ： 半角文字の文字ピッチを選択します。6種類の文字ピッチから選択できます。
- 14. 文字コード： 文字コード表がカタカナ・コード表か拡張グラフィック・コード表かを選択します。
- 15. 国際文字： 各国に割り当てられている国際文字を選択します。この指定により英数コード表の一部の文字が切り替わります。
- 16. 自動改行： 制御コードの復帰命令に改行を付加するかどうかを設定します。「オン」に設定した場合、復帰コード（CR）を受信すると自動的に改行します。
- 17. AUTO FEED XT： インターフェース信号のAUTO FEED XTを参考にAUTO FEEDを行うかどうかを選択します。
- 18. TOF&FF コマンド： TOF (Top of Form) 位置で受信した改ページ コマンドを実行するかしないかを選択します。

システム・ポート/Telnet5250の項目

- 2. 印刷モード： 印字速度、印字方式を選択します。

通常速: 通常ので速さで印刷するモードです。

コピー強化: 複写紙の印字濃度を濃くするためにコピー強化の設定に従い印刷するモードです。

高品位: 片方向で印刷し、通常速モードよりきれいに印刷するモードです。

高速: 通常速より速く印字したいときに設定するモードです。印字品質は通常速より低下しますので、印字品質の問題となるアプリケーションでは、あらかじめ印字確認してお使いください。

超高速: 高速よりさらに速く印字したいときに設定するモードです。印字品質は高速よりさらに低下しますので、印字品質の問題となるアプリケーションでは、あらかじめ印字確認してお使いください。

コピー強化 + 高品位: 高品位でコピー強化の設定に従い印刷するモードです。

コピー強化 + 高速:

高速でコピー強化の設定に従い印刷するモードです。

コピー強化 + 超高速:

超高速でコピー強化の設定に従い印刷するモードです。

印刷モードの詳細については、2-16ページの2.5.3、『印刷モード』を参照してください。

3. 英数カナ文字セットのフォント・スタイル： 英数カナ文字の文字スタイルを設定します。9種類のフォントから選択できます。
4. 英数小文字セットのフォント・スタイル： 英字小文字の文字スタイルを設定します。
5. 半角文字 (EBICDIC文字) セット： 英数カナ文字セットと英数小文字セットのどちらを使用するかを設定します。
6. 全角文字高さ： 全角文字の高さを設定します。高さ24ドットまたは高さ18ドットのどちらかを選択します。ただし、縦書きモードのときは高さ24ドットになります。
7. ユーザー定義文字高さ： 全角文字高さを18ドットに選択した場合に、ユーザー定義文字の印刷方法 (18ドットまたは24ドット) を設定します。

注： 高さ18ドットのときは、ユーザー定義文字の上4ドットと下2ドットが空白で埋められて使用されます。高さ18ドットを選んだときは、上4ドットと下2ドットに文字をデザインしないように注意してください。
8. ブザー： 用紙切れ、用紙ジャム、プラテン開放時などに、ブザーを連続音か間欠音で鳴らすか、ブザーを鳴らさないかを選択します。
9. 文字の拡大時のSI/SOの処理： 文字を拡大するときにSI/SOを拡大するかどうかを設定します。
10. POR時の用紙位置調整： 電源投入時の用紙送り量を指定します。
11. 印刷装置アドレス： システム・ポート接続時のIBM 5400-006のアドレスを設定します。0～6の間に設定します。設定する値については、ホスト・システムの操作員または管理者と相談してください。
12. 日本語フォント・セット： 印刷される日本語文字書体 (明朝体または平成明朝体) を指定します。

注： 平成明朝体の書体は、(財)日本規格協会と使用許諾契約を締結して使用しているものです。なお、フォントの一部には、弊社でデザインした外字を含みます。

平成明朝体™ W3
13. IBM日本語文字セット： IBM日本語文字セットに対する下記の90年改訂内容を適用するか否かを選択します。改訂内容は以下のとおりです。

文字コード	適用無し	適用有り
5 0 8 D	拳	拳
5 3 B F	采	采
5 1 5 2	曙	曙
5 1 D D	黛	黛
5 3 8 3	啄	啄
4 E 4 6	巽	巽
5 3 C 2	懂	懂
5 2 D 9	柊	柊
4 8 5 5	媛	媛
5 1 8 A	鵬	鵬
5 2 A 0	耀	耀
5 E 5 B	耀	耀
5 2 E 9	哀	哀
4 D 9 A	繭	繭
6 8 8 4	-	凜
6 8 8 5	-	熙

従来のIBM日本語文字セットに対し、1990年のJIS X0208 改訂に対応して、上記2文字の追加および14文字の字形の変更を行ったものです。「適用無し」を選択した場合には、従来のIBM日本語文字セットが選ばれます。なお、前ページのような印刷結果は、日本語フォント・セット「明朝」が選ばれているときのみ得られます。

14. Ribbon pre-alarm : リボンの交換を勧めるメッセージ表示までの印字文字数を 50% から 200%までの間で 10%刻みで設定します。

15. コピー強化 : 複写紙印刷時のコピー濃度を向上させるための設定を選択します。詳しくは、2-16ページの『コピー強化印刷モード』を参照してください。

16. OCR-B スタイル : OCR-B のスタイルを選択します。

17. Power On 自動印刷 : 「ENABLE」に設定した場合、次のように作用します。

- AS/400と未接続状態のときに印刷装置側の印刷スイッチが押された場合、その状態では印刷可能にならないが、AS/400と接続完了すると自動的に印刷可能となります。
- 印刷可能時にAS/400と接続状態が中断した場合、再接続されると自動的に印刷可能となります。
- Telnet5250では、未接続状態となったときに再接続を試みる時間間隔を含めて設定できます。

TCP/IP の詳細項目 (Telnet5250/LPR)

1. 印刷装置名 : これは印刷装置に割り当てられる固有な名前です。最大 16 文字の英数字で指定されます。

2. IP アドレス : 印刷装置のインターネット・プロトコル(IP)アドレスを小数点付き10進数で指定します。

3. サブネット・マスク：ローカル・サブネットを識別するマスクを小数点付き 10 進数で指定します。
4. デフォルト・ゲートウェイ・アドレス：デフォルト・ゲートウェイの IP アドレスを小数点付き 10 進数で指定します。

イーサネットの詳細項目

1. MACアドレス：イーサネットのMACアドレスです。この値は、読取専用で変更できません。

Telnet5250の詳細項目

1. ホストIPアドレス：接続される AS/400 の IP アドレスを指定します。
2. デバイス名：接続機構のデバイス名を指定します。指定しない場合は、AS/400から自動的に割り当てられます。
3. ポート番号：接続機構の TCP ポート番号を指定します。この値は、AS/400 で指定されている番号と一致しなければなりません。
4. IGCフィーチャーの指定：接続機構の IGC フィーチャーを印刷装置側から指定するか、AS/400 上で指定するかを設定します。*イエエを指定してください。
5. 受信バッファ：プリンターの受信バッファ・サイズを指定します。

LPRの詳細項目

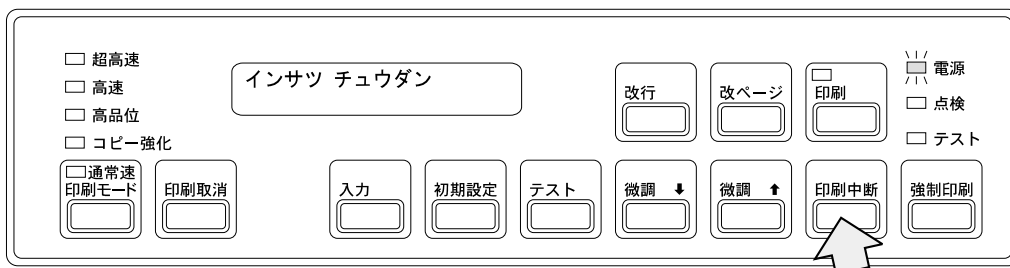
1. **Power On** 自動印刷：電源投入後、印刷装置が印刷可能で立ちあがるか印刷不可で立ちあがるかを選択します。

2.13 ホスト・トレース印字

アプリケーション開発時に、印刷装置に送られるデータの確認に使用します。ホスト・システムから送られるデータおよびコマンドは16進数で印字されます。

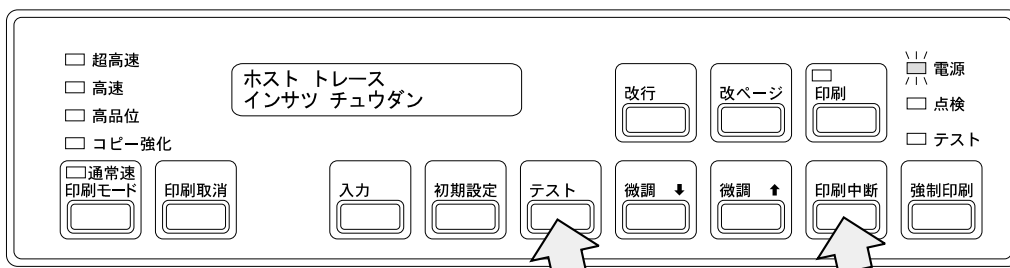
ホスト・トレース・モードに入る

- 1 印刷ライトが点灯していたら、**印刷中断** を押し、印刷ライトを消してください。

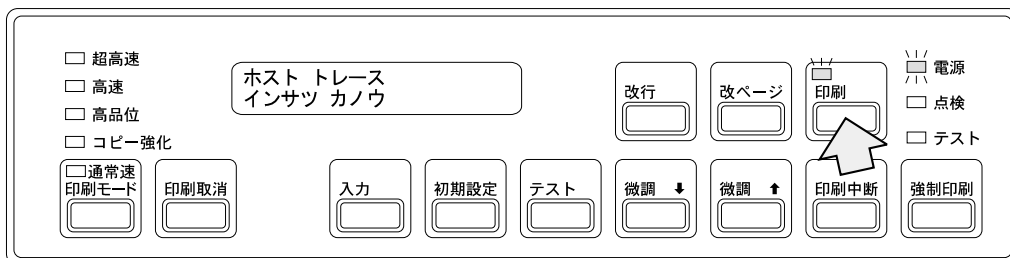


- 2 セットされている印刷用紙が15インチ幅の用紙であることを確認してください。幅の狭い用紙がセットされていたら、15インチ幅の用紙と交換してください。（2-19ページの2.6、『印刷用紙の取り外しとセット』参照）

- 3 **印刷中断** を押しながら **テスト** を押してください。メッセージ表示部に「ホストトレース」が表示されます。



- 4 **印刷** を押してください。印刷ライトが点灯し、ホスト・トレースのデータ受信が可能になります。



- 5 ホスト・トレースを終了するときは、**印刷中断** を押してから **印刷取消** を押してください。電源投入直後の状態に戻ります。

2.14 IBM 5400-006の移動

IBM 5400-006を移動する場合の手順は以下のとおりです。

注: 詳しくは第1章を参考にしてください。

- 1** IBM 5400-006の電源を切ってください。
- 2** IBM 5400-006の電源コードのプラグをコンセントから外してください。
- 3** IBM 5400-006に接続されているインターフェース・ケーブルを外してください。
- 4** キャスターのロックをすべて解除してください。
- 5** オフィス内の移動の場合は、この状態で2人以上で押しながら移動させてください。

オフィス外へ移動する場合は、さらに以下の手順を行ってください。

- 6** 印刷用紙を取り外してください。(2-19ページの2.6.1、『印刷用紙の取り外し』を参照)
- 7** リア・ドアの中にカール・コレクターとリア・フェンスをテープで固定してください。
- 8** 長距離の移動をする場合は、さらに以下の手順が必要です。
 - リボン・カセット・カバーをテープで固定してください。
 - 印字圧設定レバーを後ろに倒してテープで固定してください。
 - プラテン開閉レバーを閉じた後、テープで固定してください。
 - トラクター部をテープで固定してください。

必ず以上の作業をした後、装置を梱包してください。梱包方法については販売店にご相談ください。

以上で移動の準備は完了しました。

移動後、再び設置するときは、第1章、『設置手順』に従って作業を進めてください。

